

市町村組合又ハ町村組合ノ設置、組織變更若ハ解散アリタル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ルヘシ町村制ヲ施行セサル地域ニ於ケル町村ニ準スヘキ公共團體、其ノ組合及小學校設置區域ニ付亦同シ

第七條 地方長官ハ國庫支出金ヲ交付シタルトキハ市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ交付金ニ付テハ

第四號表ノ様式、第四條及第五條ノ交付金ニ付テハ第五號表ノ様式ニ依リ交付年月日ヲ具シ滯滞ナク之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

様式 省 署

○市町村立小學校教育費國庫補助法 法律六三(明三三三三)

第一條 市町村立小學校教育費ヲ補助スル爲國庫ハ毎年豫算ヲ以テ定ムル所ノ金額ヲ支出ス

第二條 前條ノ補助金ハ市町村立小學校教員ノ年功加俸及市町村立尋常小學校教員ノ特別加俸ニ充テ其ノ加俸ニ關スル方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 第一條ノ補助金ハ其ノ半額ハ市町村立小學校ノ本科正教員數ニ他ノ半額ハ市町村立小學校ノ本科正教員ニシテ五年以上同一府縣内ニ勤続スル者ノ數ニ比例シテ之ヲ北海道及府縣ニ配賦ス

附 則

第四條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第五條 市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法及小學校教育費國庫補助法ハ之ヲ廢止ス

第六條 本法施行ノ際市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法ニ依リ現ニ年功加俸ヲ受クル者ニハ同一學校ニ勤続スル間仍其ノ加俸ニ相當スル金額ヲ支給ス但本法ニ依リ年功加俸ヲ受クル者ハ此限ニ在ラス
前項ニ依リ支給スル金額ハ第三條ノ配賦金ヨリ支出ス

○市町村立小學校教育費國庫補助法ニ依ル小學校本科正

教員調査方ノ件 文省九(明四二二三)

市町村立小學校教育費國庫補助法第三條ノ市町村立小學校ノ本科正教員數及市町村立小學校ノ本科正教員ニシテ五年以上同一府縣内ニ勤続スル者ノ數ハ補助金ヲ配賦スヘキ年ノ前年三月末日ニ於ケル現在數ニ依ルモノトス

○短期現役小學校教員俸給費國庫負擔法 法律一七(六一〇三三)

第一條 市町村立小學校正教員ニシテ兵役法第十條ノ規定ニ依リ短期現役兵トシテ現役ニ服スル者ノ服役中ノ俸給ノ爲市町村ニ於テ要スル費用ハ國庫之ヲ負擔ス

第二條 前條規定ニ依リ國庫ノ負擔スル金額ハ毎年度之ヲ市町村ニ交付ス

第三條 本法ノ適用ニ付テハ市町村組合又ハ町村組合ハ之ヲ市町村ト看做ス市制又ハ町村制ヲ施行セサル地域ニ

於ケル市町村ニ準スヘキ公共團體、其ノ組合又ハ小學校設置區域亦同シ

第四條 本法ニ依リ俸給費ヲ國庫ニ於テ負担スル小學校正教員ハ市町村義務教育費國庫負担法ノ適用ニ付テハ同法第三條ノ正教員ノ數ニ之ヲ算入セス

○短期現役小學校教員俸給費國庫負担法施行ニ關スル

規程 文訓一〇(大一〇、一一)

第一條 地方長官ハ毎年四月一日現在ニ依リ市町村立小學校正教員ニシテ短期現役兵トシテ現役ニ服スル者ノ服役中ノ俸給ノ爲當該年度市町村ニ於テ要スヘキ費用ヲ調査シ第一號様式ニ依リ四月末日限之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

第二條 地方長官ハ傷病疾病其ノ他事故ニ依ル除隊又ハ死亡等ノ爲前條ノ規定ニ依ル報告ニ異動ヲ生シタルトキハ第二號様式ニ依リ調査シ其ノ都度之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

第三條 地方長官ハ短期現役小學校教員俸給費國庫負担法第一條ノ規定ニ依ル國庫負担金ニ付小切手振出ノ委任ヲ受ケタルトキハ還滯ナク之ヲ市町村ニ交付スヘシ

第四條 地方長官ハ短期現役兵トシテ現役ニ服スル小學校正教員ノ在職スル市町村ニ變更アリタル場合ハ其ノ俸給

費國庫負担金ハ日割計算法ニ依リ之ヲ關係市町村ニ交付スヘシ

第五條 地方長官ハ短期現役小學校教員俸給費國庫負担金ヲ市町村ニ交付スルトキハ概算簿ノ方法ニ依ルヘシ

第六條 地方長官ハ毎年前年度ニ於ケル國庫負担金交付額ヲ市町村別ニ調査シ第三號様式ニ依リ五月末日限之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

第七條 地方長官ハ毎年其ノ施行シタル短期現役兵タルヘキ者ノ徵兵検査ノ成績ヲ調査シ第四號様式ニ依リ四月末日限之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

第八條 本令ノ適用ニ付テハ市町村組合又ハ町村組合ハ之ヲ市町村ト看做ス市制又ハ町村制ヲ施行セサル地域ニ於ケル市町村ニ準スヘキ公共團體其ノ組合又ハ小學校設置區域亦同シ

様式 (省略)

○市町村立小學校教員住宅費補助ニ關スル規程 文省三〇(明四〇、九)

第一條 明治四十年勅令第二百十七號第二條ニ依リ北海道地方費及府縣ニ於テ市町村立小學校教員住宅費ニ補助スル場合ハ本令ノ規定ニ依ルヘシ

第二條 住宅費補助ハ教員ノ住宅ヲ建設シ又ハ教員ニ住宅料ヲ給與シ若ハ教員ニ住宅ヲ供給スル爲貸借料ヲ支拂

フ場合ニ於テ市町村、町村學校組合又ハ其ノ區ニ對シ之ヲ爲スモノトス
 前項補助ノ歩合及條件並ニ補助金交付ノ方法ハ地方長官之ヲ定ム
 第三條 住宅費補助金ノ殘餘ハ市町村立小學校教員加俸令ニ依ル加俸資金ニ編入スヘシ
 第四條 本令中市町村、町村學校組合及其ノ區ニ關スル規定ハ市町村制ヲ施行セサル地方ノ小學校設置區域ニ適用ス

○市町村立小學校教員住宅費補助規程 縣令一(明四二、一)

第一條 市町村、町村學校組合、市町村學校組合又ハ其ノ學區ニ於テ教員住宅ヲ設置シタルトキハ審査ノ上等級ヲ定メ左表ニ依リ補助ス但シ敷地ニ對スル補助ハ購入シタル場合ニ限ル

甲	建坪		階	付坪	敷地
	一坪	二坪			
甲	四拾	五拾	二階	二付	七圓五拾錢
乙	參拾	四拾	拾	圓	四圓五拾錢
丙	貳拾	參拾	拾	圓	參圓
丁	拾	貳拾	貳	圓	壹圓五拾錢
戊	拾	拾	四	圓	七拾五錢

本條ニ依ル補助金額ノ計算ニハ圓位未満ノ端數ヲ計上セス

第二條 市町村、町村學校組合、市町村學校組合又ハ其ノ學區ニ於テ教員住宅ヲ賃借シテ供給シ又ハ教員ニ住宅料ヲ給與スルトキハ審査ノ上賃借料及住宅料ノ二分ノ一以テ補助ス

第三條 教員住宅ヲ設置セントスルトキハ住宅ノ平面圖、側面圖設計書、建築費豫算書及住宅ノ位置學校トノ距離並其ノ附近ノ情況ヲ知ルニ足ルヘキ地圖ヲ添付シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ於テ在來ノ建物ヲ以テ教員住宅ニ充ツル場合ニハ該建築物ノ建築後經過年數ヲ記スヘシ

教員住宅ヲ賃借シテ供給セントスルトキハ住宅ノ平面圖賃借契約書寫及住宅ノ位置學校トノ距離並其ノ附近ノ情況ヲ知ルニ足ルヘキ地圖ヲ添付シ知事ノ認可ヲ受クヘシ教員住宅料ヲ給與セントスルトキハ其ノ支給スヘキ金額人員ヲ具シ豫メ知事ニ開申スヘシ

認可ヲ受ケテ設置シタル教員住宅ヲ廢止又ハ處分シ若ハ模様換ヲ爲サントスルトキハ其ノ事情ヲ詳具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ住宅ノ賃借ヲ廢止セントスルトキ若ハ住宅料ノ給與額ヲ變更シ又ハ給與ヲ廢止シタルトキハ其ノ都度知事ニ開申スヘシ

賃借契約ノ要件ヲ變更シタルトキハ改メテ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 教員住宅ハ一教員ニ對シ建坪凡十坪以上二十坪以下トシ成ルヘク十坪乃至二十坪ノ圍地ヲ附屬セシムルヲ要ス

第五條 教員住宅ヲ教員ニ供給スルニ當リ土地ノ情況ニ依リテハ修繕料ノ幾分ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ額ヲ定メ知事ノ認出ヲ受クヘシ

第六條 第一條ノ補助金ハ市町村、町村學校組合、町村學校組合又ハ其ノ學區ノ申請ニ依リ其ノ都度之ヲ交付ス但シ補助スヘキ金額其ノ年度豫算ノ定額ヲ超過スルトキハ順次次年度へ繰延フルモノトス

第七條 第二條ノ補助金ハ市町村、町村學校組合、市町村學校組合又ハ其ノ學區ノ申請ニ依リ毎年四月其ノ前年度ノ精算額ニ對シテ之ヲ交付ス

前項ノ補助金交付ヲ申請スルトキハ賃借料及住宅料ノ支出精算書ヲ添付スヘシ

第八條 本令ニ教員トアルハ正教員准教員代用教員ヲ謂フ

○學校基本財産ヲ設クル必要ノ件 縣訓三八(明二八、一〇)

方今縣下ノ教育事業稍々進歩ノ狀ヲ呈シ漸次就學兒童ヲ増加シ設備ノ擴張ヲ要スルヨリ年々教育費ノ増加ヲ來キノ勢アリ加之ナラス一般ニ市町村費ノ賦課重キニ傾クノ際ナレハ若シ一朝天災地變等ニ遭遇セハ忽チ教育上ニ影響及シ設備ノ擴張ヲ阻遏スルノミナラス或ハ其ノ經常費ニモ差支ヲ生シ中途挫折スルノ虞ナシトセス然レハ將來増加スヘキ教育費ニ堪ヘ天災地變ヲ免レ學校維持ノ基礎ヲ鞏固ニシ愈々教育ノ進歩ヲ企圖セント欲セハ學校基本財産ヲ設クルヲ必要トス然ルニ縣下其ノ法ヲ設ケタル市町村甚々多カラス是レ詢ニ教育上遺憾トスル所ナリ抑基本財産増殖ノ方法タル一ニシテ足ラスト雖モ山林ヲ以テ之レニ充ツルハ頗ル適宜ナルヲ見ル殖林ノ事タル假令目下ノ急ニ應スル能ハサルモ最モ永遠ノ長計ニシテ其ノ利益モ亦巨大ナリ願フニ山林ハ資力ヲ費ス少ク利益ヲ收

ル多キノミナラス年々其ノ繁茂セル景況ヲ親シク目撃スル父兄及生徒等ハ其ノ快樂ト其ノ利益トニ感シ益々其ノ愛護増殖ノ必要ヲ認知シ或ハ學校親愛ノ度ヲ増シ愈々其ノ隆盛ヲ希望シ或ハ愛郷心ノ增長ヨリ忠君愛國ノ心情ヲ煥發スル等國家經濟上及教育上鮮少ナラサル利益ヲ舉クルコトヲ得ン依テ森林ヲ有スル地方ニ在テハ將來成ルヘク山林ヲ以テ學校基本財産ニ充ツルノ方針ヲ採リ訓令乙第三十七號ト關連シテ盛ニ樹木ヲ栽植シ其ノ收益ヲ貯蓄シ以テ學校維持ノ基礎ヲ鞏固ニ益々教育ノ隆昌ヲ圖ルヘシ

○教育資金使用ニ關スル規則 縣令四五(明四三、七)

第一條 教育資金ハ左ノ各號ノ費用ニ使用ス

一、市町村立小學校設備費ノ貸付

二、市町村若ハ其ノ他ノ團體、市町村立小學校、市町村立小學校教員、市町村吏員、市町村立小學校醫及篤志者ノ賞與

三、小學校教員ノ講習

四、通俗教育ノ施設獎勵

五、公立小學校教員ノ疾病療治料

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル市町村立尋常小學校ニシテ必要アリト認ムルトキハ教育基金令第五條ニ依リ其ノ設備費ヲ市町村ニ貸付ス

- 一、校地校舍ノ設備不完全ニシテ新設、改修、新築、改築等ヲ要スルモ其ノ費額市町村ノ負担ニ耐ヘスト認ムルモノ
 - 二、非常ノ災害ニ依リ復舊ヲ要スルモ其ノ費額市町村ノ負担ニ耐ヘスト認ムルモノ
 - 三、市町村立高等小學校ニシテ前項第二號ニ該當スルモノハ前項ノ規定ヲ準用ス
 - 三條 尋常高等小學校ノ設備費ヲ貸付スル場合ハ前條第一項第二號ノ場合ヲ除キ其ノ總費額ノ五分ノ四ヲ以テ尋常小學校ノ設備費ト見做シ之ニ對シ貸付金額ヲ定ム
 - 三條ノ二 貸付金ノ償還期間ハ五箇年以内トシ年賦ヲ以テ償還セシム
 - 四條 市町村町村組合市町村學校組合ニ於テ小學校設備費ノ貸付ヲ受ケムトスルトキハ市町村會又ハ組合會ノ議決ヲ經テ左ノ事項ヲ具シ毎年五月末日限り知事ニ申請スヘシ但第一條第二號ニ該當スルモノハ隨時申請スルコトヲ得
 - 一、借用金額
 - 二、償還期限
 - 三、元利償還ノ日途
 - 四、新ニ設備スヘキ校地若ハ校舍ノ平面圖
 - 五、當該年度ニ屬スル收支豫算表
- 第五條 貸付金額ハ百圓ヲ以テ最下額トス

第六條 貸付金ノ年賦償還額ハ毎年六月ニ於テ償還セシメ利子ハ毎年六月及十二月ノ二期ニ於テ徵收シ貸付ノ當月ヨリ徵收ノ前月マテ之ヲ附セシム但シ第四條ノ但書ニ係ル貸付金ノ利子ハ償還金ノ徵收ハ此期月ニ依ラサルコトヲ得

第七條 償還期限内ニ於テ貸付金ノ償還ヲ完了セムトスルトキハ其ノ理由ヲ具シ償還ノ期日ヲ定メテ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 小學校教育効績狀規程ニ依リ選奨セラレタル者ニハ賞金ヲ授與ス

第九條 左ノ各號ノ一若ハ二以上ニ該當スル者ニハ其ノ成績ヲ審査シ賞金若ハ賞品ヲ授與ス

- 一、小學校基本財産蓄積ノ實績顯著ナル市町村若ハ主トシテ其ノ實績ヲ顯著ナラシメタル團體
- 二、學齡兒童ノ就學並出席獎勵ニ關シ特別ノ方法ヲ設ケ其ノ効果ノ顯著ナル市町村若ハ其ノ他ノ團體
- 三、成績優良ニシテ他ノ模範トナルヘキ市町村立小學校
- 四、補習教育ノ成績優良ニシテ他ノ模範トナルヘキ市町村若ハ其ノ他ノ團體
- 五、普通教育ノ進歩發達上特ニ成績顯著ナル市町村立小學校教員市町村吏員及篤志者
- 六、職務ニ勉勵シ特ニ功勞アル市町村立小學校醫

第十條 郡市長ニ於テ前條各號ニ該當スル者アリト認メタルトキハ詳細事情ヲ具シ知事ニ上申スヘシ

第十一條 本則ニ依リテ開設スル講習員ノ資格ハ尋常小學校本科正教員又ハ小學校本科正教員トシ講習ノ場所、期間、學科目、講習員ノ資格及選抜方法等ハ開設ノ都度告示スルモノトス

第十二條 前條ノ講習員ニハ學費ヲ補助スルコトアルヘシ

第十三條 通俗教育ノ施設ニ對シ獎勵金ヲ交付スヘキモノハ縣郡市等ノ教育會トス
但シ特別ノ事情アルモノハ此限ニ在ラス

第十四條 前條教育會等ニ於テ左ノ各號ノ一若ハ二以上ノ事業ヲ施設シ成績優良ナルモノニハ獎勵金ヲ給與ス

一、通俗圖書館及巡回文庫ノ設置

二、通俗講演及講談ノ開催

三、幻燈會及活動寫真會等ノ開催

四、其ノ他通俗教育上最モ適切ナル事業

第十五條 通俗教育ニ關シ獎勵金ヲ受ケントスル者ハ其施設事項及方法等ヲ詳具シ郡市長ヲ經テ知事ニ申請スヘシ

第十六條乃至第二十條ハ第四編疾病療治料給與準則ニ同シ依テ省ク

○學齡兒童就學獎勵規程 文訓一六(昭三、一〇)

學齡兒童ノ就學ヲ獎勵シ國民教育ノ普及徹底ヲ期スルハ國運ノ進展上喫緊ノ要務ナリ仍テ今般學齡兒童就學獎勵ノ爲毎年國庫ヨリ補助金ヲ支出シ貧困ノ爲就學困難ナル者ニ對シ其ノ就學ヲ獎勵センカ爲茲ニ學齡兒童就學獎勵規程ヲ左ノ通り定ム地方長官ハ宜シク本趣旨ヲ體シ最モ適切ナル施設ヲ講シ以テ學齡兒童就學ノ徹底ヲ期セラルヘシ

學齡兒童就學獎勵規程

第一條 國庫ハ貧困ノ爲就學困難ナル學齡兒童ノ就學ヲ獎勵スル爲毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ補助金ヲ支出ス

第二條 國庫補助金ハ前々年度三月一日現在ニ於ケル學齡兒童數ニ比例シテ北海道府縣ニ交付ス

第三條 北海道府縣ハ前條ノ交付金ニ成ルヘク相當ノ支出金ヲ加ヘ之ヲ適當ノ方法ニ依リ市町村ニ交付スヘシ

第四條 市町村ハ前條ノ交付金ニ成ルヘク相當ノ支出金ヲ加ヘ貧困ノ爲就學困難ナル學齡兒童ノ就學ヲ獎勵スル爲教科書、學用品、被服食料其ノ他生活費ノ一部又ハ全部ヲ支辨又ハ給與スヘシ

學齡兒童中盲者又ハ聾啞者ニシテ貧困ノ爲盲學校又ハ聾啞學校ノ初等部ニ入學困難ナル者ニ付テモ亦同シ

第五條 市町村ハ第四條ノ規定ノ支出金ノ一部ヲ貧困兒童就學獎勵ヲ目的トスル基礎鞏固ナル公益團體ニ補助スルコトヲ得

第六條 地方長官ハ本規程實施上必要ナル規程ヲ定メ文部大臣ニ開申スヘシ

附 則

第二條規定ノ前々年度三月一日現在ニ於ケル學齡兒童數ハ昭和三年度及昭和四年度ノ交付金ニ限り前々年度末現在ニ於ケル學齡兒童數トス

○岡山縣兒童就學獎勵資金設置及管理規則 縣令六三(大二三、一〇)

第一條 皇太子殿下御慶事ニ付キ配付セラレタル御下賜金及縣費ヨリノ編入金又ハ寄附金等ヲ以テ岡山縣兒童就學獎勵資金ヲ設置ス

第二條 資金ヨリ生スル收入ハ毎年市町村ニ交付シテ貧困兒童就學獎勵ノ資ニ充ツ

- 第三條 資金ハ特別會計トス
- 第四條 資金ハ國庫証券地方債証券勸業債券農工債券トシ又ハ郵便官署ニ預入レ若ハ確實ナル銀行ニ担保ヲ提供セシメ利付預トス
- 第五條 本則施行ニ關シ必要ナル細則ハ知事之ヲ定ム

○岡山縣兒童就學獎勵資金使用規則 縣令六四(大二三、一〇)

- 第一條 岡山縣兒童就學獎勵資金ハ本規則ニ據リ之ヲ使用ス
- 第二條 本資金ヨリ生スル收入縣費補充金及寄附金等ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ就學獎勵ノ爲之ヲ市町村ニ交付ス
- 第三條 本交付金ハ其ノ年度始メニ於ケル貧困ノ爲就學困難ト認ムヘキ兒童數ニ學齡兒童數及就學獎勵ニ關スル市町村豫算額等ヲ斟酌シテ之ヲ定ム
- 第四條 市町村ハ第二條ノ交付金ニ支出金寄附金ヲ加ヘ就學獎勵費トシ貧困ノ爲就學困難ト認ムル學齡兒童ニ對シ其ノ程度ニ應シテ教科用圖書學用品被服食料生活費ノ一部若ハ全部ヲ給與又ハ支辨スルモノトス
- 學齡兒童中盲者又ハ聾啞者ニシテ貧困ノ爲盲學校又ハ聾啞學校初等部ニ入學困難ナル者ニ付亦同シ(昭和四年二月九日追加)
- 第五條 市町村ハ學齡兒童ノ就學獎勵ヲ目的トスル基礎鞏固ナル公益團體ニ對シ知事ノ認可ヲ經テ前條ノ獎勵費ノ一部又ハ全部ヲ補助スルコトヲ得

第六條 市町村長ハ左ノ事項ヲ具シ其ノ年五月十五日迄ニ知事ニ報告スヘシ

- 一、其ノ年四月三十日ニ於ケル貧困ノ爲就學困難ト認ムヘキ兒童數及學齡兒童數
 - 一、其ノ年度ニ於ケル就學獎勵費豫算書
 - 一、其ノ前年度ニ於ケル就學獎勵ノ方法並獎勵兒童數
 - 一、前々年度就學獎勵費決算書
- 第七條 本規則ニ於テハ市町村學校組合町村學校組合ハ之ヲ一市町村ト見做ス

○小學校教員勤務年限及教員住宅等ニ關スル調査ノ件

學第三七四七號學務部長通牒(昭三、四、一〇)

阿 哲 支 村 長 宛
市 町 長 宛
(阿哲支廳管内ヲ除ク)

標記ノ件所要有之候條左記様式ニ依リ御取調ノ上毎年四月末日迄ニ無遲滯御回報相成度

記

一、小學校教員數調 (其ノ年三月末現在)

種 別	勤続年數五ヶ年未滿	勤続年數五ヶ年以上十ヶ年未滿	勤続年數十ヶ年以上	五ヶ年以上勤続者計	五ヶ年以上勤続者中 年功加俸受給者數
本科正教員					

教育費

三四二ノ三

専科正教員	
准教員	

二、本年度中ニ於ケル小學校教員住宅ノ新築、改築、住宅賃借料支給ノ見込數並其ノ各費額ノ見込額及之ニ對スル補助割合ノ見込

種別	棟數	費額	縣費補助割合
住宅新築			
全改築			
種別	人員	費額	縣費補助割合
住宅料			
住宅賃借料			

三、前年度中ニ於ケル年功加俸及特別俸受給總額並人員調

教員種別	受給金額總額	人員	特別俸受給金額總額	人員
本科正教員				

専科正教員	
准教員	
合計	

四、イ) 本科正教員年功加俸調 (其ノ年三月一日現在)

加俸、加給合算年額別	人員	金額	額計

備考 加俸年額順ニ記載ノコト

(ロ) 専科正教員年功加俸調 (其ノ年三月一日現在)

加俸、加給合算年額別	人員	金額	額計

備考 加俸年額順ニ記載ノコト

教育費

三四二ノ四

教育費

(ハ) 准教員年功加俸調 (其ノ年三月一日現在)

三四二ノ五

加俸、加給合算年額別		人	員	金	額	計
備考 加俸年額順ニ記載ノコト						
五、(イ) 本科正教員特別加俸調 (其ノ年三月一日現在)						
加俸ノ種別	年額別	人	員	金	額	計
加俸令第七條第一項ノ加俸						
計						
加俸令第七條第二項ノ加俸						
計						
加俸令第七條第三項ノ加俸						
計						

加俸令第七條第四項ノ加俸		計	員	金	額	計
備考 加俸年額順ニ記載ノコト						
(ロ) 専科正教員及准教員特別加俸調 (其ノ年三月一日現在)						
加俸令第七條第四項ノ加俸						
計						
合	計					

加俸年額		人	員	金	額	計
備考 加俸年額順ニ記載ノコト						
(イ) 本科正教員特別加俸調 (其ノ年三月一日現在)						
加俸一人當受給年額						
計						
合	計					

教育費

三四二ノ六

教育費

三四二ノ七

○小學校教員住宅料補助申請ノ件 學第三三一三號學務部長通牒(昭二四・一五)

市町村長宛 (阿哲支應管内ヲ除ク)

市町村立小學校教員住宅費補助規程第二條ニ依リ住宅料補助申請相成居リ候處全第七條ニ依ル申請書ニ添付ノ支出精算書式ハ從來區々ニ亘リ中ニハ支出ノ明細ヲ缺クモノ往々有之斯クテハ處理上多數ノ時日ヲ要シ遺憾ノ次第ニ付自今左記様式ニ依リ調製ノ上御提出相成度

支出精算書

學校名	月額支給額	支給延月數	職名氏名
計		自年月日 至年月日 何ヶ月何日分	

○小學校教員住宅料給與開申ニ關スル件

學第三三一四號學務部長通牒(昭二四・一三)

町村長宛 (阿哲支應管内ヲ除ク)

市町村立小學校教員住宅費補助規程第三條ニ依リ住宅料ノ補助ヲ受クヘキトキハ豫メ支給金額並ニ其ノ人員ヲ開申スルコトノ相成居リ候處從來該開申書式區々ニ亘リ整理上支障不尠候條自今左記様式ニ依リ開申相成候様致度追テ昭和二年度ニ係ル標記開申ハ提出未提出ニ係ハラス一應別紙様式ニ依リ提出相成度

縣村

學校名

職名氏名	支給開始年月日	月額	備考

……年度給與見込總額
備考

本書ハ別紙トシテ添付スルコト
支給廢止シタル場合ハ其ノ旨備考欄ヘ記載ノコト

○市町村立小學校教員住宅等狀況調ノ件

學第七五八八號學務部長照會(昭二七・一九)

市町村長宛 (阿哲支應管内ヲ除ク)

學校組合管理者宛

三四二ノ八

調査に必要有之候條費管理ニ係ル標記ノ件別紙様式ニ依リ御調査ノ上毎年七月末日限り御報告相成度

市町村立小學校教員住宅調 (七月一日現在)

教員 總數	住宅 受給	住宅料 受給	賃借料 受給	計	棟數	戸數	住宅料月額 一人當總	賃借料月額 一人當	教員 住宅 受給
									住宅 受給

備考

- 一、本表ハ毎年七月一日現在ニ依リ記載ノコト但シ住宅料及賃借料ノ月額ハ七月一日ノ現員現給調査ニヨルコト
- 二、専科正教員ニシテ二校以上ニ勤務スル場合ハ人員ノ重複セル標注意スルコト
- 三、自宅ヨリ通勤スル教員數欄ニハ自己所有ノ家屋其ノ他ニシテ家賃、間代ノ如キヲ負擔セサル教員數ヲ計上スルコト
- 四、受給教員數ノ總教員數ニ對スル歩合ハ四捨五入法ニ依リ小數第二位迄算出ノコト
- 五、住宅料、賃借料月額一人當ハ夫々其ノ總額ヲ受給教員數ニテ除シ四捨五入法ニ依リ錢位迄算出ノコト
- 六、市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル前年度認定ノ區別ニ依リ普通町村ナリヤ、特別町村ナリヤヲ備考トシテ附記スルコト
- 七、住宅施設ノ有無ニ拘ラス必ス報告スルコト

○市町村義務教育費國庫負擔法施行規程中

疑義ニ關スル件 學第三九〇五號學務部長通牒(昭二、四、二二)

市阿哲支村長宛 (阿哲支應管内ヲ除ク)

市町村義務教育費國庫負擔法施行規程中疑義ニ關シ其ノ筋ヨリ左記ノ通達候有ト候御了知相成度

- 一、市町村立ノ單級小學校ニ於テ學校長ヲ兼務スル訓導ノ外ニ代用教員一人アルトキハ右代用教員ハ市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル教員數ニ計上スルコト
- 二、兒童ノ教育事務委託又ハ寄宿等ノ手續ヲ了セスシテ兒童ノ居住スル市町村以外ノ市町立尋常小學校ニ就學スル兒童ハ其ノ居住スル市町村ノ兒童トシテ計上スルコト

○小學校教員數並兒童數調及小學校教育費

其ノ他狀況調ノ件 學第三六一五號學務部長通牒(大一一、九、一〇)

市阿哲支村長宛

毎年六月一日現在ニ於ケル市町村立尋常小學校ノ教員數及就學兒童數ヲ別紙第一號表様式ニ依リ調査シ本月二十

教育費

三四二ノ一

日限リ報告シ前年度町村ノ小學校教育費其ノ他狀況調ヲ第二號表様式ニ依リ調査シ九月二十日限リ報告相成度
第一號表 (用紙美濃紙)

市町村立尋常小學校教員數及就學兒童數調 (大正 年六月一日現在)

市町村名	教員			計	就學兒童總數
	本科正教員	専科正教員	准教員		
市					
町					
村					

備考

- 一、市町村立尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ハ之ヲ市町村立尋常小學校ト見做シテ調査スヘシ
- 二、本科正教員ニシテ市町村立尋常高等小學校ノ學校長ヲ兼ヌル者ハ尋常科ノ教授ヲ受持タサル場合ト雖之ヲ尋常小學校本科正教員數ニ算入スヘシ
- 三、市町村立尋常高等小學校ノ正教員准教員ニシテ尋常科及高等科ニ涉リ教授ヲ受持ツ者ハ之ヲ尋常小學校ノ教員數ニ算入スヘシ
- 四、市町村立小學校長ヲ兼務スル本科正教員ヲ除キ市町村立ノ尋常小學校及尋常高等小學校尋常科勤務ノ本科

正教員及准教員ノ數カ市町村立ノ尋常小學校及尋常高等小學校尋常科ノ學級數ニ連セサルトキハ其ノ學級數ニ連スルマテ現ニ市町村立ノ尋常小學校及尋常高等小學校尋常科ニ勤務スル代用教員並市町村立ノ尋常高等小學校ニ勤務シ尋常科及高等科ニ涉リ教授ヲ受持ツ代用教員ヲ尋常小學校ノ教員數ニ算入スヘシ

五、教員ニシテ他ヨリ勤務スル者、休職中ノ者及一年現役兵トシテ服務中ノ者ハ之ヲ教員數ニ算入スヘカラス

六、市町村ノ就學兒童數ハ六月一日ニ於テ市町村立尋常小學校ニ在籍スル兒童ヲ居住市町村ニ於テ之ヲ調査シ計算スヘシ

七、市町村組合、町村組合ノ設置ニ係ル尋常小學校ノ在籍兒童ハ之ヲ市町村組合、町村組合ノ就學兒童トシテ計算スヘク關係各市町村ノ就學兒童トシテ計算スヘカラス

八、市町村一部ノ兒童教育事務委託ノ場合ニ於テハ其ノ兒童ハ委託市町村ノ就學兒童トシテ計算スヘク之ヲ委託市町村ノ就學兒童トシテ計算スヘカラス

九、市町村全部ノ兒童教育事務委託ノ場合ニ於テハ其ノ兒童ハ之ヲ委託市町村ノ兒童トシテ計算スヘシ

一〇、町村組合ハ之ヲ町村ト見做シテ調査スヘシ

第二號表 (用紙美濃紙)

大正 年度町村小學校教育費其ノ他狀況調

教育費

三四二ノ二

讀克ク其ノ要領ヲ會得シ深ク之ヲ心ニ銘セシメ以テ實踐躬行ニ資センコトヲ努メシムヘシ然リト雖モ修身科ハ教育ノ主腦ニシテ德育ハ教員ノ最要ノ任務ナリ宜シク教員ヲシテ教科書ニヨリ兒童ニ德育上ノ知識ヲ與フルノミナラス常ニ徳性ノ涵養ニ留意シ時ニ隨ヒ機ニ應シ切實ナル指導訓誨ヲ與ヘ躬ヲ以テ範ヲ兒童ニ示シ薰染感化ノ效ヲ最メ以テ克ク此ノ重要ナル教科ノ目的ヲ貫徹センコトヲ期セシムヘシ

第十編 學校衛生

○小學校生徒ノ體育及衛生ニ關スル件

文部大臣(明二七、九)

小學校ハ小學校令第一條ノ示ス所ニ依リ兒童ノ體育ニ留意シ教育ノ完成ヲ期セサルヘカラス我國舊來弓馬劍術ノ武藝盛ニ行ハレ體育ノ道ニ於テ缺クル所ナカリシモ維新後兵制變革ノ爲或種ノ武藝ハ其ノ必要ヲ失ヒタルト同時ニ體育ノ衰頹ヲ致セル事又教員及生徒力學問知識ノ進歩ニ急ニシテ動モスレハ智育ノ一方ニ偏重セル事及社會一般ノ衛生ノ必要ヲ感スルコト未タ深切ナラサル事是等多數ノ原因ノ爲ニ各般ノ學校ニ於ケル體育及衛生ノ方法ハ仍不完全ナルヲ免レス殊ニ小學教育ノ時ハ方ニ身體發育ノ期ニ當リ一タヒ傷害ヲ受クルトキハ其ノ患ハ終身ニ及ビ哀ムヘキノ情況ヲ呈セントス自今小學校ニ於ケル體育及衛生ニ關シテ訓令スルコト左ノ如シ

一、體育及フタケ活潑ナル運動ヲ課スルヲ要スヘク普通體操ニ於テモ亦兵式體操ト同ク手足及全身筋力ノ運動ヲ活潑ニシ無血ノ代謝ヲ促スト同時ニ生徒自個ニ於テ意氣快活ヲ覺ユルノ効果アラシムヘシ體操ノ弊ハ或ハ死法ニ流レ態勢ヲ整ヘ或列ヲ正ス力爲ニ許多ノ時間ヲ費シ却テ生徒ヲシテ厭倦ノ氣ヲ生セシムルニ至ル此ノ如キハ却テ體操ノ精神ヲ失フモノナリ

二、高等小學校男生徒ニハ兵式體操ヲ課スルノ際軍歌ヲ用ヒ體操ノ氣勢ヲ壯ニスルコトアルヘシ又隨意科トシテ二節單ナル器械體操ヲ授クヘシ

- 三、小學校生徒ハ活潑ナル運動ニ便スル爲ニ不得已場合ノ外學校内ニ於テ着用ノ衣服ハ都テ筒袖ヲ用ヰシムヘシ
- 四、放課時間ニ於テ佇立閑語シテ経過スルニ終ラシムヘカラス男女トナク成ルヘク活潑ニ大氣中ニ運動スルノ遊戯ヲ誘フヘシ或ハ大聲急走嬉戯ノ態ヲ以テ生徒ノ不長事ト爲シ沈靜ヲ以テ品行點ニ加フルカ如キハ當テ得タルモノニアラス
- 五、生徒ヲシテ筆記及諸誦ヲ務メシムルハ過度ニ腦力ヲ勞セシムルモノナレハ特ニ必要ノ場合ノ外之ヲ用イザラシコトヲ要ス
- 六、小學校ノ習業ノ中生徒ノ尤困難ヲ感スル者ハ作文トス初級ノ生徒ニハ作文ヲ授クヘカラス若シ簡單ナル作文ヲ授クルモ此ヲ以テ試験ノ問題トスヘカラス
- 七、小學校ニ於テ施行スル所ノ試験法ハ或ハ褒貶ノ意味ニ偏シ弊數ニ依リテ每期席順ヲ上下シ又ハ貧與ヲ予フル等過度ニ生徒ノ神經ヲ刺衝スルノ弊アリ此レ獨リ普通教育ノ主義ヲ誤ルノミナラス亦生徒ノ體育ヲ害スル者ナリ自今各學校ハ試験ニ依レル席順ノ上下ヲ廢スヘシ但各級ニ優等生若干人ヲ選拔シ以テ獎勵ヲ示スコトヲ妨ケサルヘシ
- 八、小學校ニ於テ生徒ハ喫煙スルコト及煙器ヲ夾帶スルコトヲ禁スヘシ
- 九、筆者安逸ハ自然ニ軟弱ヲ招クモノナリ都會ノ生徒ノ學校ニ往來スル者或ハ車ニ乘ルカ如キハ學校規律ノ外ニ係ルト雖モ校長及教員ハ注意ヲ加ヘテ成ルヘク歩行セシムルコトニ誘導スヘシ

○學校清潔方法 文訓二六(大一一五、一一二)

學校ニ於ケル清潔方法ヲ分テテ日常清潔方法、定期清潔方法及臨時清潔方法ノ三種トス

甲、日常清潔方法

- 一、學校ノ建築ニ際シテハ其ノ構造ニ注意シ就中教室廊下、昇降口等ノ廣サヲ適當ニシ且光線ノ射入、空氣ノ流通ニ便ナラシムヘシ
- 二、校舎、寄宿舎等ハ毎日人ナキ時ニ於テ窓戸ヲ開放シ適宜左ノ方法ニ依リ掃除ヲ行フヘシ
 - 塵埃ノ飛散ヲ防ク爲先ツ如露ヲ用ヒテ少シク床ヲ潤シ靜ニ掃出シタル後濕布ヲ以テ清拭シ又ハ濕リタル襦袢、茶敷、粗敷等ヲ床上ニ撒布シテ之ヲ掃出シ或ハ狀況ニ依リテハ單ニ濕布ヲ以テ清拭スヘシ
 - 除塵油ヲ塗布シタル床ニ在リテハ單ニ掃出シカ又ハ除塵油ニテ濕シタル布片ヲ以テ拭フヘシ
 - アスファルト、タイル、コンクリート、石、煉瓦等ノ廊下、昇降口、運動場等ハ時時水ヲ以テ噴霧スヘシ
 - 疊敷又ハ塵埃ノ飛散スル虞ナキ場所ニ於テハ乾燥ノ儘掃出スモ支障ナシ
 - 三、木床、リノリウム敷等ハナルヘク除塵油ヲ塗布スハシ木床ニ塗油スルニハ先ツ塵滓ヲ以テ床面ヲ洗拭シ其ノ乾燥シタル後之ヲ爲スヘシ
 - 塗油ハ春季、夏季、冬季ノ休業等ノ時期ニ於テ行フ可トス其ノ回数ハ兒童、生徒ノ員數及校舎ノ構造等ニ依リ適宜斟酌スヘシ
 - 四、教室、廊下、寄宿舎等ニ於テハ適當ナル數箇ノ厨箱及液體ヲ容レタル唾壺ヲ配置シ紙片其ノ他ノ廢棄物ノ散亂ヲ防キ且唾壺ヲ唾壺以外ニ略出スルヲ禁スヘシ唾壺内ノ唾壺ハ消毒シタル後之ヲ便池ニ投棄スヘシ
 - 五、黑板、黑板拭ハ常ニ清潔ヲ保タシメ黑板ヲ拭ヒ又ハ其ノ掃除ヲ爲ス際ニハチヨク粉ノ飛散セサルヤウ注意シ又黑板拭ハナルヘク室外ニ於テ清掃スヘシ
 - 六、靴ノ塵昇降スル校舎、寄宿舎等ノ昇降口ニハ塵掃、靴拭、靴洗器等ヲ備ヘ室内ニ砂塵ノ侵入スルヲ防クヘシ

- 七、便所ノ尿溝、注壁、便池及其ノ周圍ハ不滲透性ノ物質ヲ以テ固メ尿溝、注壁等ハ時々水ヲ以テ洗滌シ便池内ノ汚物ハ期ニ後レス汲取り常ニ清潔ヲ保チ惡臭ノ鬱滞ヲ防クヘシ
- 八、便所ノ手洗水ハ流出裝置ト爲スヘシ又共同手拭ヲ使用セシムヘカラス
- 九、宿直室、寢室等ハ特ニ採光、換氣ニ留意シ寢具ハ適宜日光ニ曝シ被布、寢衣等ハ時々洗濯シ清潔ヲ保タシムヘシ
- 九、食堂、炊事場、浴室、洗面所、洗濯所等ハ採光、換氣ニ注意シ且常ニ清潔ヲ保タシメ殊ニ食堂、炊事場等ニ於テハ惡臭ノ鬱滞ナキヤウ注意スヘシ
- 十、塵芥ノ類ハ芥箱又ハ一定ノ場所ニ集メ置キ期ヲ誤ラス燒却又ハ搬送セシムヘシ
- 十一、常ニ校地ノ排水ニ注意シ下水溝ハ適當ノ勾配ヲ保タシメ其ノ溝壁ニハ不滲透性物質ヲ用ヒ又時々浚渫ヲ行ヒ汚泥ハ適當ノ方法ヲ以テ他ニ搬送シ或ハ狀況ニ依リ一定ノ場所ニ集積シ散亂ヲ防クヘシ
- 十二、下水溝ハ成ルヘク暗渠ト爲スヘシ
- 十三、運動場ハ其ノ廣サヲ適當ナラシメ其ノ手入並清潔保持ニ注意シ塵埃ノ飛散ヲ防ク爲時々撒水ヲ爲シ狀況ニ依リ樹木ヲ植エ又ハ芝生ヲ造ルヘシ
- 十四、廊下、運動場其ノ他適當ナル場所ニ手洗場ヲ設ケ狀況ニ依リ運動場、昇降口等ニ足洗場ヲ設ケヘシ
- 十五、器械室、標本室、戸棚、押入、下駄箱、物置、庭園等ニ關シテハ前記各項ニ準據シ適當ニ清潔維持ニ力ムヘシ

乙、定期清潔方法

- 一、定期清潔方法ハ每年少クトモ一回之ヲ行フヘシ
- 二、教室、寄宿舎内等ニ在ル机、腰掛、寢臺、戸棚等ハ之ヲ室外ニ出シ戸、障子、窓掛等ハ之ヲ外シテ掃除シ尙

天井、壁面、床等ヲ掃ヒ其ノ他日常清潔方法ニ準據シテ十分清潔ナラシムヘシ

- 三、窓外ニ持出シタル器具、寢具等ハ之ヲ清潔ニシ十分空氣ヲ通シ日光ニ曝シ室内ノ乾燥シタル後持込ムヘシ
- 四、校地、建物、校具、井戸、下水其ノ他ノ設備ヲ査閲シ其ノ改善修理ヲ要スルモノハ適當ニ處理スヘシ

丙、臨時清潔方法

- 一、浸水ノ害ヲ被リタル學校ニ在リテハ速ニ左ノ清潔方法ヲ行フヘシ
 - (イ) 水ニ浸サレタル校舎、寄宿舎ハ成ルヘク其ノ建具、床板等ヲ取り外シ日光ノ射入、空氣ノ流通ヲ圖リ床下ノ汚物、泥土ヲ除去シ十分乾燥セシムヘシ
 - (ロ) 建具、床板、校具、腰羽目等ノ浸水シタルモノハ清水又ハ熱湯ヲ以テ清拭シタル後成ルヘク之ヲ日光ニ曝シ十分乾燥セシムヘシ
 - (ハ) 浸水ノ害ヲ被リタル井戸ハ之ヲ浚渫シテ汚物ヲ除キ井戸側ハ清水ヲ以テ洗ヒ學校傳染病豫防規程第十八條ニ準シ消毒方法ヲ行フヘシ
 - (ニ) 炊事場、食堂、洗面所、其ノ他必要ト認メラルモノニツキテモ適宜消毒方法ヲ行フヘシ
 - (三) 右ノ外日常又ハ定期清潔方法ニ掲ケタル各項ヲ適宜準用スヘシ
- 二、前項以外ノ災害其ノ他公衆ノ集合等ニ依リ不潔トナリタル校舎等ニツキテハ夫夫適當ナル清潔方法ヲ行フヘシ

○學校傳染病豫防規定 文省一八(大二三、九)

第一條 學校ニ於テ特ニ豫防スヘキ傳染病ノ種類左ノ如シ

- 第一類 「コレラ」、赤痢(疫痢ヲ含ム)、腸「チフス」、「バラチフス」、痘瘡、發疹「チフス」、猩紅熱、「チフテリ
- ア」、流行性腦脊髄膜炎、ペスト

第二類 百日咳、癩疹、流行性感冒、流行性耳下腺炎、風疹、水痘

學校衛生

學校衛生

第三類 肺喉頭其ノ他 機關 開放結核、癩

第四類 「トヲホーム」其ノ他 傳染性眼炎、疥癬其ノ他ノ傳染性皮膚病

「コレラ」及「ベスト」ノ疑似症ハ本令ノ適用ニ關シテハ之ヲ「コレラ」及「ベスト」ト看做ス

地方長官ニ於テ傳染病豫防法第二條第二項ノ規定ニ依リ同法ヲ適用スルトキ其ノ他學校傳染病豫防上必要アリト認メタルトキハ「コレラ」及「ベスト」以外ノ傳染病ノ疑似症ニ對シ本令中其ノ傳染病ニ關スル規定ノ全部又ハ一部ヲ適用スヘシ官立學校長ニ於テ學校傳染病豫防上必要アリト認メタルトキ又同シ

第一類ノ傳染病ノ病原體保有者ハ本令ノ適用ニ關シテハ之ヲ其ノ傳染病ノ患者ト看做ス

第二條 學校長ハ兒童又ハ未成年ノ生徒カ入學シタル場合ニ於テハ其ノ法定ノ種痘ヲ完了セシヤ否ヲ調査シ未了者ニハ之ヲ受ケシメ又保護者ヲシテ其ノ義務ヲ履行セシムヘシ第二期種痘定期ニ在ル在學中ノ生徒兒童 關シ亦同シ

尋常小學校又ハ小學校ニ類スル各種學校ノ卒業證書、盲學校及聾啞學校ノ初等部、中學校豫科及高等學校豫科ノ終了證書ニハ當該生徒兒童カ法定ノ種痘ヲ完了セシヤ否ヲ記入スヘシ

第三條 第一類ノ傳染病ニ罹リタル職員學生生徒兒童等ハ治療シタル後ニアラサレハ昇校スルコトヲ得ス

第一類ノ傳染病病原體保有者ハ其ノ病原體消失シタル後ニアラサレハ昇校スルコトヲ得ス但シ左記各號、一ニ

該當シ學校醫ニ於テ適當ト認ムル豫防處置ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一、罹患後ノ病原體保有者ニシテ其ノ主要症狀消退ノ時ヨリ起算シ左ノ期間ヲ經過シタルモノ

イ、赤痢

十四日

ロ、腸「チフス」、
「バラチフス」

二十一日

ハ、「チフテリア」、
流行性腦脊髄膜炎

七日

ニ、健康病原體保有者

「コレラ」ノ病原體保有者ハ地方長官又ハ官立學校ニ於テ特別ノ必要アリト認メタル者ニ付テハ前項但書ノ規定ヲ適用セズ

第四條 「コレラ」、
「チフテリア」及流行性腦脊髄膜炎ニ在リテハ二十四時間以上、
赤痢、
腸「チフス」及「バラチフス」ニ在リテハ四十八時間以上ノ間隔ヲ置キ採取シタル検査材料ニ付細菌學的検査ヲ行ヒ引續キ二回以上病原體ノ存在ヲ證明セサル場合ニ於テ病原體消失シタルモノト看做ス

前項ノ検査材料ハ「コレラ」及赤痢ニ付テハ尿、
腸「チフス」及「バラチラス」ニ付テハ尿尿、
「チフテリア」及流行性腦脊髄膜炎ニ付テハ鼻咽喉部ノ粘液トス

第五條 第二類ノ傳染病ニ罹リタル職員學生生徒兒童等ハ左記ニ該當スルニアラサレハ昇校スルコトヲ得ス但シ一病況ニ依リ學校醫ニ於テ其ノ傳染病ノ豫防上支障ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一、百日咳ニ在リテハ特有ノ咳嗽消失シタルモノ

二、麻疹ニ在リテハ主要症狀消退後七日ヲ經過シタルモノ

三、流行性感胃ニ在リテハ主要症狀消退後三日ヲ經過シタルモノ

四、流行性耳下腺炎ニ在リテハ耳下腺ノ腫脹消失シタルモノ

五、風疹ニアリテハ主要症狀消退後五日ヲ經過シタルモノ

六、水痘ニ在リテハ痲皮全部脱落シタルモノ

第六條 第三類又ハ第四類ノ傳染病ニ罹リタル職員學生生徒兒童等ハ治療シタル後ニアラサレハ昇校スルコトヲ得ス但シ肺喉頭ノ開放結核以外ノ傳染病ニ在リテハ學校醫ニ於テ適當ト認ムル豫防處置ヲ爲シタルトキ又ハ病況ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條 職員學生生徒兒童等ニシテ第一類又ハ第二類ノ傳染病患者アル家ニ居住スルモノ又ハ該病毒 感染ノ虞アルモノハ豫防處置施行ノ狀況其ノ他ノ事情ニ依リ學校醫ニ於テ傳染ノ虞ナシト認メタル後ニアラサレハ昇校スルコトヲ得ス

第八條 職員等ハ學校内ニ於テ第一條ニ掲クル傳染病ノ患者又ハ其ノ疑アル者若ハ其ノ死者ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ當該學校長ニ申告スヘシ

學校長ハ必要ト認ムルトキハ當該學校醫ヲ診斷セシメ左ニ掲クル處置ヲ爲スヘシ

一、第一類ノ傳染病ニ在リテハ速ニ其ノ地ノ警察官吏又ハ市區町村長ニ通報シ消毒、隔離其ノ他ノ適當ノ處置ヲ爲スヘシ

二、第二類ノ傳染病ニ在リテハ第五條各號ノ一ニ該當スル者及學校醫ニ於テ豫防上支障ナシト認メタル者ノ外昇校ヲ停止シ消毒其ノ他適當ノ處置ヲ爲スヘシ

三、第三類ノ傳染病ニ在リテハ肺喉頭ノ開放結核以外ノ傳染病ノ患者ニシテ學校醫ニ於テ適當ト認ムル豫防處置ヲ爲シタル者又ハ病況ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ノ外昇校ヲ停止シ消毒其ノ他適當ノ處置ヲ爲スヘシ

四、第四類ノ傳染病ニ在リテハ學校醫ニ於テ適當ト認ムル豫防處置ヲ爲シタル者又ハ病況ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ノ外昇校ヲ停止スヘシ

學校内ニ第一條ニ掲クル傳染病ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル物件アルトキハ消毒其ノ他ノ適當ノ處置ヲ爲スヘシ

第九條 第三條第二項但書又ハ第六條但書ニ依リ昇校スル職員學生生徒兒童等アル場合ニ於テ學校長ハ學校醫ノ意見ヲ徵シ必要ト認ムルトキハ左ニ準據シ豫防處置ヲ爲スヘシ

一、病原體保有者又ハ患者ノ座席ヲ健康者ノ座席ト隔ツルコト

二、病原體保有者又ハ患者ノ使用スル器具書籍等ヲ專用トスルコト

三、病原體保有者又ハ患者ノ座席、器具、書籍等ヲ時々消毒スルコト

四、病原體保有者又ハ患者ノ使用シタル衣類、器具、寢具、書籍其ノ他ノ物ヲ他人ニ交付シ又ハ使用セシムル場合ハ之ヲ消毒スルコト

五、一、チフス、腸脊髄膜炎ノ病原體保有者ニ在リテハ前各號ニ掲クル豫防處置ヲ爲スノ外左ノ事項ヲ遵守セシムルコト

イ、咳嗽、噴嚏ノ際ハ布片、紙片等ヲ以テ口鼻ヲ覆フコト

ロ、鼻汁、唾痰ノ附着シタル布片、紙片其ノ他鼻汁、唾痰ニ汚サレタル物ヲ消毒シ又ハ傾池ニ投棄スルコト

六、赤痢、腸チフス、「パラチフス」ノ病原體保有者ニアリテハ本條第一號乃至第四號ニ掲クル豫防處置ヲ爲スノ外左ノ事項ヲ遵守セシムルコト

イ、便所ハ專用トシ上面ノ都度便池ニ消毒藥ヲ投入スルコト

ロ、便所ノ手洗水ニハ消毒藥ヲ用井上面ノ都度消毒スルコト

ハ、尿尿ニ汚サレタル物ハ之ヲ消毒スルコト

七、トトラホーム其ノ他ノ傳染性眼疾ノ患者ニアリテハ本條第一號乃至第四號ニ掲クル豫防處置ヲ爲スノ外

眼脂ヲ拭フニ清潔ナル専用ノ布片類ヲ使用セシムルコト

第十條 學校内、學校所在地及其ノ附近ニ於テ第一類又ハ第二類ノ傳染病發生シ其ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルト

キハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外學校長ニ於テ學校醫ノ意見ヲ徵シ學校ノ全部若ハ其ノ一部ノ閉鎖又ハ休業

ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ學校長ハ直ニ監督官廳ニ届出ツヘシ

第十一條 學校所在地若ハ其ノ附近ニ於テ第一類又ハ第二類ノ傳染病發生シタルトキハ其ノ狀況ニ依リ適當ナル

清潔方法ヲ施行スヘシ

第十二條 傳染病ノ爲閉鎖シタル學校若ハ其ノ舍室ハ再ヒ之ヲ使用スルニ先チ十分ナル清潔方法ヲ施行スヘシ

第十三條 學生生徒兒童ノ通學區域内若ハ職員等ノ居住地ニ於テ第一類又ハ第二類ノ傳染病發生シ其ノ狀況ニ依

リ必要ト認ムルトキハ學校長ハ學校醫ノ意見ヲ徵シ其ノ地域ヨリ通學スル學生生徒兒童及職員等ノ昇校ヲ停止

スルコトヲ得

前項ノ規定ハ第一類又ハ第二類ノ傳染病流行地ニ滞在シタル學生生徒兒童及職員等ニ對シテ之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テハ學校長ハ直ニ之ヲ監督官廳ニ届出ツヘシ

第十四條 學校ノ寄宿舍ニ於テ第一類ノ傳染病發生シタルトキハ官立學校長又ハ地方長官ハ左ノ各號ニ依リ文部

大臣ニ報告スヘシ

一、初發ノ場合ニハ病名、發病ノ日、(發病ノ日不明ノト)キハ診斷決定ノ日、患者數、疾病ノ經過、感染経路、發病以來ノ處置、

將來執ラントスル處置其ノ他参考トナルヘキ事項ニ付遅滞ナク報告スヘシ

二、續發セル場合ニハ病名、發病ノ日、(發病ノ日不明ノト)キハ診斷決定ノ日、患者數、初發報告以外特ニ執リタル處置其ノ他參

考トナルヘキ事項ニ付報告スヘシ但シ多數ノ患者連續發生スルトキハ即時報告スヘシ

三、前二號ノ患者ノ轉歸ハ治癒、死亡其ノ他(休學退學等)ニ分チ報告スヘシ

第十五條 學校長ハ學校ノ設備ニ關シ第三類及第四類ノ傳染病豫防ノ爲左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、手洗水ハ流出裝置ト爲スコト

二、共同手拭ヲ備ヘサルコト

三、學生生徒兒童ノ嗽ニ應ジ液體ヲ入レタル適當箇數ノ唾壺ヲ配置シ唾壺内ノ唾痰ハ消毒シタル後之ヲ便池ニ

投棄スルコト

四、宿直其ノ他ノ爲ニ使用スル共同ノ器具ハ之ヲ各自專用ノ白布又ハ使用者ヲ改ムル毎ニ洗濯シタル白布ヲ以

テ被包スルコト

第十六條 本規程中學校醫ノ職務ハ學校醫ナキトキ若ハ止ムヲ得サル場合ニ於テハ適宜他ノ醫師ヲシテ行ハシム

ヘシ

第十七條 本規程ニ依リ行フ清潔方法ノ要項左ノ如シ

學校衛生

- 一、「コロラ」、赤痢、腸「チフス」及「バラチフス」ニ付テハ井戸側、井戸流、蓋所流、下水溝、汚水溝、便所、芥溜等ニ付不潔ナル場所ヲ掃除シ必要アル場合ニ於テハ其ノ修理及井戸浚ヲ爲シ且蠅ノ驅除及蠅ノ發生シ易キ場所ノ掃除ヲ行フコト
 - 二、痘瘡、猩紅熱、「チフテリア」及流行性膈腎體膜炎ニ付テハ衣類、寢具、器具、玩具、疊、敷物等ヲ清潔ニスルコト
 - 三、癩疹「チフス」ニ付テハ虱ノ驅除ヲ行ヒ且衣類、寢具等虱ノ棲息シ易キ物件ヲ清潔ニスルコト
 - 四、「ペスト」ニ付テハ鼠族、蚤及南京蟲ノ驅除ヲ行ヒ且衣類、寢具、疊、敷物、床下等蚤及南京蟲ノ棲息シ易キ物件及場所ヲ清潔ニシ及掃除スルコト
 - 五、第二類、第三類及第四類ノ傳染病ニ付テハ衣類、寢具、書籍、器具、玩具、疊、敷物等ヲ清潔ニスルコト
 - 六、前各號ノ外必要ニ應ジ左ノ清潔方法ヲ行フコト
 - イ、土地及建物ノ内外ヲ掃除スルコト
 - ロ、室内ノ日光及換氣ヲ十分ニスルコト
 - ハ、疊、敷物等ヲ日光ニ曝スコト
 - ニ、床下ハ換氣ヲ十分ニシ濕潤著シキ場所ハ之ヲ埋メ又ハ排水ヲ十分ニスルコト
- 第一類及第二類ノ傳染病ニ對スル清潔方法ハ鼠族、昆蟲等ノ驅除ヲ除クノ外消毒方法ノ施行ヲ了リタル後之ヲ施行スヘシ
- 清潔方法ヲ施行スル場合ニ於テハ蓋ニ消毒藥ヲ撒布スヘカラス

傳染病ノ流行ニ際シ溝渠ヲ掃除スル場合ニ於テ必要アルトキハ假製石灰末、普通石灰又ハ「クロール」石灰水ヲ以テ消毒シタル後浚潔スヘシ

清潔方法ノ施行ニ依リ生シタル汚泥、塵芥ノ類ハ適當ノ運搬器具ニ入レ一定ノ場所ニ投棄シ又ハ焼却スヘシ

第十八條 消毒方法ノ要項左ノ如シ

- 一、消毒方法ハ左ノ五種トス
 - イ、焼却
 - ロ、蒸氣消毒
 - ハ、煮沸消毒
 - ニ、藥物消毒
 - ホ、日光消毒
- 二、蒸氣消毒ニハ流通蒸氣ヲ用井成ルヘキ消毒器内ノ空氣ヲ排除シ一時間以上攝氏百度以上ノ溫熱ニ觸レシムヘシ
- 蒸氣消毒ヲ施行セントスルトキハ左ノ事項ニ注意スヘシ
 - イ、消毒ニ依リ褪色ノ虞アル物ハ蒸氣消毒ニ避ケ他物ニ染色ノ虞アル物ハ他物ト混シ蒸氣消毒ヲ行ハサルコト
 - ロ、衣類ハ豫メ袖又ハ衣裾ヲ検査シ爆發又ハ發火シ易キ物件アルトキハ之ヲ取出スコト
- 三、煮沸消毒ハ消毒スヘキ物件ヲ全部水ニ浸漬シ沸騰後三十分間以上煮沸スヘシ

煮沸消毒ノ施行ニ關シテハ前號イテ準用ス

四、藥物消毒ニ用ウヘキ藥品並其ノ製法及用法左ノ如シ

イ、石炭酸水 防疫用石炭酸三分

石炭酸水ヲ製スルニハ定量ノ防疫用石炭酸ニ少量ノ湯又ハ水ヲ加ヘ攪拌又ハ攪盪シテ徐々ニ水ヲ注シ定量ニ至ラシムヘシ

石炭酸水ハ使用ノ都度之ヲ振盪スヘシ

ロ、「クレゾール」水「クレゾール」石鹼液三分

「クレゾール」水ヲ製スルニハ定量ノ「クレゾール」石鹼液ニ定量ノ水ヲ加フヘシ

ハ、昇汞水昇汞一分 普通食鹽一分

昇汞水ヲ製スルニハ定量ノ昇汞及普通食鹽ヲ定量ノ水ニ溶解シ又ハ昇汞錠(一錠中昇汞〇、五)ヲ一錠ニ付水約五百「グラム」ノ割合ニ溶解スヘシ

昇汞水ハ金屬製ニアラサル容器ニ之ニ貯藏シ其ノ昇汞錠ヲ用キサルモノハ「スカレット」、「フクレン」日瓦ノ他適當ノ色素ヲ加ヘ着色シ識別シ易カラシムルコトヲ要ス

ニ、假製石灰 少量ノ水ヲ注ケハ熱ヲ發シ崩壊スルモノ

假製石灰末 假製石灰ニ少量ノ水ヲ加ヘ粉末ト爲シタルモノ

假製石灰末ヲ製スルニハ用ニ臨ミ假製石灰ニ少量ノ水ヲ加ヘ粉末ト爲スヘシ

石灰乳ヲ製スルニハ定量ノ假製石灰ニ徐々ニ定量ノ水ヲ加ヘ十分攪拌スヘシ

石灰乳ハ用ニ臨ミ之ヲ製シ且使用ノ都度之ヲ攪拌スヘシ

假製石灰ヲ得ルコト能ハサル場合ニ限り倍量ノ普通石灰ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

ホ、「クロール」石灰水クロール「灰五分」

「クロール」石灰水ノ製法及用法ハ石灰乳ノ例ニ依ル

ヘ、「フォルマリン」水「フォルマリン」二分

「フォルマリン」水ヲ製スルニハ用ニ臨ミ定量ノ「フォルマリン」ニ定量ノ水ヲ加フヘシ

ト、「フォルムアルデヒド」

「フォルムアルデヒド」ハ「フォルマリン」ヲ噴霧發生セシメ又ハ適當ノ裝置ニ依リ之ヲ發生セシムヘシ

「フォルムアルデヒド」ノ使用ニ關シテハ左ノ事項ニ注意スヘシ

一、消毒室内又ハ室内ノ容積百立方尺ニ付「フォルマリン」四十「グラム」以上ヲ噴霧セシメ又ハ「フォルムアルデヒド」瓦斯十五「グラム」以上ヲ發生セシメ同時ニ約百「グラム」以上ノ水ヲ蒸發セシムルノ比例ヲ以テ處置シタル後七時間以上密閉シ置クヘシ

二、物件ノ内部ニ至ルマテ消毒スル必要アルモノニハ真空裝置ニ依ルニアラサレハ之ヲ使用スヘカラス

真空装置ニ依ル消毒時間、其ノ装置ニ依リ之ヲ定ムヘシ
三、氣密ニ閉鎖シ得ヘキ消毒室内又ハ土藏造、洋風建物等ニシテ戸扉、窓孔等ヲ密閉シ得ヘキ室内ニアラ
サレハ之ヲ使用スヘカラス

五、日光消毒ハ日光ニ曝露スルト共ニ十分ニ空氣ノ流通ヲ計ルヘシ

日光ノ強度、消毒物件ノ性質ニ依リ數時間乃至數日間繼續スヘシ

六、「コレラ」、赤痢、腸「チフス」及「バラチフス」ニ付消毒方法ノ施行ヲ必要トスルモノ概ネ左ノ如シ

イ、尿尿、吐瀉物及其ノ處置ニ用井タル器具、布片、紙片等
ロ、死體

ハ、患者及死體ノ用ニ供シタル衣類、寢具、運搬器具等

ニ、看護人其ノ他病毒ニ接觸シタル者及其ノ使用シタル衣類、寢具等

ホ、患者ノ用ニ供シタル飲食器具、患者ノ飲食物残渣等

ヘ、病室ノ疊、敷物等

ト、便所、便池、手洗鉢等

チ、臺所、臺所器具、井戸、水槽等

リ、井溜、下水溝等

七、疥癬、猩紅熱、麻疹、風疹及水痘ニ付消毒方法ノ施行ヲ必要トスルモノ概ネ左ノ如シ

イ、鼻汁、唾痰、膿汁、痂皮、落屑及其ノ處置ニ用井タル器具、布片、紙片等

ロ、死體

ハ、患者及死體ノ用ニ供シタル衣類、寢具、運搬器具等

ニ、看護人其ノ他病毒ニ接觸シタル者及其ノ使用シタル衣類、寢具等

ホ、患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ他ノ器具、書籍等

ヘ、病室ノ疊、敷物、建具、側壁等

八、發疹「チフス」ニ付消毒方法ノ施行ヲ必要トスルモノ概ネ左ノ如シ

イ、鼻汁、唾痰及其ノ處置ニ用井タル器具、布片、紙片等

ロ、死體

ハ、患者及死體ノ用ニ供シタル衣類、寢具、運搬器具等

ニ、看護人其ノ他病毒ニ接觸シタル者及其ノ使用ニ供シタル衣類、寢具等

ホ、病室ノ疊、敷物等

九、「チフサリヤ」、流行性腦脊髄膜炎、百日咳、流行性感冒及流行性耳下腺炎ニ付消毒方法ノ施行ヲ必要トス

ルモノ概ネ左ノ如シ

イ、鼻汁、唾痰及其ノ處置ニ用井タル器具、布片、紙片等

ロ、患者ノ用ニ供シタル衣類、寢具等

ハ、看護人及其ノ使用シタル衣類、寢具等

ニ、患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ他ノ器具、書籍、玩具等

學校衛生

ホ、病室ノ疊、敷物、建具、側壁等

十、「ベスト」ニ付消毒方法ノ施行ヲ必要トスルモノ概テ左ノ如シ

イ、血液、鼻汁、唾痰、膿汁及其ノ處置ニ用井タル器具、布片、紙片等

ロ、死體

ハ、患者及死體ノ用ニ供シタル衣類、寢具、運搬器具等

ニ、看護人其ノ他病者ニ接觸シタル者及其ノ使用シタル衣類、寢具等

ホ、患者ノ用ニ供シタル飲食器具其ノ他ノ器具、書籍等

ヘ、病室ノ疊、敷物、建具、側壁等

ト、鼠ノ棲息、交通スル場所

十一、消毒方法ノ應用概テ左ノ如シ

イ、患者
患者ハ治療シタル時入浴セシメ衣類ヲ更メシムヘシ但シ温湯布ヲ以テ拭淨シ入浴ニ代フルコトヲ妨ケス
入浴ニ使用シタル水ノ消毒ハ本號中汚水ノ消毒ニ依ル

ロ、死體

死體ヲ棺ニ斂ムルニハ其ノ衣類ニ石炭酸水、「クレゾール」水若ハ昇汞水ヲ十分撒布シ又ハ石炭酸水、「ク
レゾール」水若ハ昇汞水ニ浸漬シタル布片ヲ以テ死體ヲ包ミ又ハ棺内ニ普通石灰ヲ填ツヘシ

ハ、尿尿、吐瀉物其ノ他ノ排泄物

尿尿、吐瀉物其ノ他ノ排泄物ニハ同容量ノ石炭酸水若ハ「クレゾール」水、其ノ容量ノ三十分ノ一以上ノ濃
製石灰末又ハ其ノ容量ノ五分ノ一以上ノ石灰乳若ハ「クローラ」石灰水ヲ加ヘ十分攪拌シタル後二時間以
上放置シ又ハ之ヲ煮沸シ若ハ燒却スヘシ

昇汞水及「フォルマリン」水ハ尿尿、吐瀉物其ノ他ノ排泄物ノ消毒ニ適セス
ニ、病者ニ接觸シタル者

看護人消毒方法ノ施行又ハ患者、死體、排泄物等ノ運搬ニ從事シタル者其ノ他病者ニ接觸シタル者ハ時々
又ハ其ノ都度手足ヲ消毒シ入浴スヘシ

手足ノ消毒ニハ石炭酸水、「クレゾール」水、又ハ昇汞水ヲ使用スヘシ
ホ、衣類、寢具、敷物、布片等

蒸汽消毒若ハ煮沸消毒ヲ行ヒ又ハ石炭酸水、「クレゾール」水若ハ「フォルマリン」水ニ二時間以上浸漬シ又
ハ「フォルムアルデヒド」ヲ使用スヘシ

絹布、毛織物、綿、綿入蒲團、羽蒲團等ハ成ルヘク蒸汽消毒ヲ行ヒ又ハ「フォルムアルデヒド」ヲ使用ス
ヘシ

ハ、患者、死體、病者汚染物件ノ運搬器具

患者、死體又ハ病者ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル物件ヲ運搬シタル駕籠、釣籠、車等ハ使用ノ都度石炭酸水
「クレゾール」水、昇汞水若ハ「フォルマリン」水ヲ以テ拭淨シ又ハ之ヲ撒布スヘシ

ト、圖書、書類等

學校衛生

「フォルムアルデヒド」ヲ使用スヘシ

石炭酸水、「クレゾール」水、昇汞水、石灰乳若ハ「フォルマリン」水ニ浸漬シ又ハ石炭酸水「クレゾール」水
昇汞水又ハ「フォルマリン」水ヲ以テ拭淨シ又ハ之ヲ撒布シ汽熱ニ堪フルモノニ付テハ蒸氣消毒若ハ煮沸消
毒ヲ行フヘシ

飲食器具、玩具、金屬製品等ノ消毒ニハ昇汞水ヲ使用スヘカラス
リ、革類、革製品、漆器其ノ他ノ塗物類、護謨製品、「セルロイド」製品、護謨附品、糊附品、膠附品、紙製
品毛皮、象牙、鼈甲、角等

石炭酸水「クレゾール」水若ハ「フォルマリン」水ヲ以テ拭淨シ若ハ之ヲ撒布シ又ハ「フォルムアルデヒ
ド」ヲ使用スヘシ

蒸氣消毒及煮沸消毒ハ以上ノ物件ノ消毒ニ適セス

又、校舍寄宿舎其ノ他ノ室内各部石炭酸水「クレゾール」水、昇汞水若ハ「フォルマリン」水ヲ以テ拭淨シ又ハ
之ヲ撒布スヘシ但シ密閉シ得ヘキ場合ニ於テハ「フォルムアルデヒド」ヲ使用スルコトヲ得
消毒後ハ日光ノ射入、空氣ノ流通ヲ良クシ乾燥セシムルヲ要ス
ル、便所、芥溜、溝渠等

便所ハ石炭酸水、「クレゾール」水若ハ「フォルマリン」水ヲ以テ拭淨シ又ハ之ヲ撒布シ便池、肥料溜等ニハ
煨製石灰末、石灰乳又ハ「クロール」石灰水ヲ注キ十分攪拌シヘシ且シ尿尿ハ消毒後一週間ヲ經過スルニア

ラサレハ肥料 供スルコトヲ得ス

芥溜及土地ニハ石灰乳又ハ「クロール」石灰水ヲ、溝渠ニハ煨製石灰末、石灰乳又ハ「クロール」石灰水ヲ注
キ煎芥ハ之ヲ焼却スヘシ

煨製石灰末ハ乾燥セル場所ノ消毒ニ適セス

テ、井戸、水槽、汚水等

井戸、水槽、汚水等ニハ水量ノ五十分ノ一ノ煨製石灰ヲ乳狀ト爲シタルモノ若ハ水酸ノ五百分ノ一ノ「ク
ロール」石灰水ヲ投入シ十分攪拌シタル後十二時間以上放置シ又ハ適當ノ裝置ニ依リ熱蒸氣ヲ通シ十分
間以上沸騰セシムヘシ

昇汞水ハ飲料水ニ滲透スルノ虞アル場所ノ消毒ニ之ヲ使用スヘカラス

ヨ、船舶

船室ノ消毒ハ本號又ニ準スヘシ

船底水ニハ其ノ容量ノ二百分ノ一ノ煨製石灰末又ハ其ノ容量ノ二千分ノ一ノ「クロール」石灰水ヲ加ヘ二十
四時間ヲ經過シタル後之ヲ派出スヘシ

カ、動物ノ死體、消毒後再ヒ用ニ供スル目的ナキ物件又ハ消毒實用ニ比シ廉價ナル物件ハ之ヲ焼却スヘシ
ヨ、衣類、褥具、器具、敷物、圖書、書類其ノ他ノ物件ニシテ焼却、蒸氣消毒、煮沸消毒、藥物消毒ヲ施行
シ難キモノニ付テハ日光消毒ヲ行フヘシ

第十九條 本令ハ之ヲ幼稚園ニ適用ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〇「トラホーム」豫防法 法律二七(六八、三)

第一條 醫師「トラホーム」患者ヲ診断シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ患者又ハ其ノ保護者ニ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ指示スヘシ

常該官吏又ハ吏員ハ必要ト認ムルトキハ「トラホーム」患者又ハ其ノ保護者ニ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ指示スヘシ

第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ指示ヲ受ケタル者ハ其ノ指示ニ從ヒ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ行フヘシ

第二條 「トラホーム」患者ハ速ニ醫師ノ治療ヲ受クヘシ

「トラホーム」患者ノ保護者ハ其ノ患者ヲ速ニ醫師ノ治療ヲ受ケシムヘシ

第三條 行政官廳ハ「トラホーム」患者ニシテ治療ヲ受クルノ途ナキ者ニ對シ治療ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ治療ヲ施行スル場合ニ於テハ其ノ費用ハ患者所在地ノ市町村ノ負擔トス

第四條 行政官廳ハ「トラホーム」豫防上必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ行フコトヲ得

一、檢診ヲ施行スルコト

二、「トラホーム」患者ニ對シ客ニ接スル業務ニ從事スルヲ停止スルコト

三、學校、幼稚園、製造所其ノ他ノ多衆ノ集合スル場所又ハ旅店、料理店、理髮店其ノ他ノ客ノ來集ヲ目的ト

スル場所ニ付病毒傳播ノ媒介トナルヘキ事項ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ場所ノ管理ヲ爲ス者若ハ其ノ代理ヲ爲ス者ニ對シ「トラホーム」豫防上必要ナル施設ヲ爲サシムルコト

地方長官ニ於テ前項第一號ノ檢診ヲ施行スル場合ニ於テハ其ノ費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第五條 市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ「トラホーム」ノ豫防及治療ニ關スル施設ヲ爲スヘシ

第六條 北海道地方費又ハ府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ「トラホーム」ノ豫防及治療ノ爲費用ノ支出ヲ爲ス市町

村ニ對シ其ノ費用ノ補助ヲ爲スヘシ

第七條 國庫ハ前條ノ補助ノ爲其ノ他「トラホーム」ノ豫防及治療ノ爲費用ノ支出ヲ爲ス北海道地方費又ハ府縣

ニ對シ其ノ支出額ノ六分ノ一ヲ補助ス

第八條 官廳、公署、官立公立ノ學校製造所等ニ於テハ其ノ長ハ第四條第一項第三號ノ規定ニ準シ「トラホーム」

豫防ニ關スル事項ヲ施行スヘシ

第九條 第一條第一項又ハ第三項ノ規定ニ違反シタルモノハ科料ニ處ス

第十條 第四條第一項ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十一條 本法ニ於テ保護者ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

一、未成年者ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ未成年者若ハ禁治產者ノ後見人、親權ヲ行フ者又ハ後見人ナキトキハ戶主、戶主未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ戶主ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ戶主ノ後見人

二、教育、監護又ハ備使ノ目的ヲ以テ未成年者ヲ寄寓セシムル者又ハ其ノ法定代理人

第十二條 本法中市町村トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノトス

○「トラホーム」豫防法施行規則

內省三六八、八

第一條 「トラホーム」豫防法第一條第一項ノ規定ニ依リ醫師ノ指示スヘキ消毒其ノ他ノ豫防方法ハ左ノ各號ニ準據スヘシ

一、患者ノ手拭ハ專用トシ其ノ清潔ニ注意スルコト

二、洗面器ハ患者用ト健康者用トチ區別スルコト

三、患者ノ常用シタル手拭、洗面器ノ類ヲ他人ニ交付シ又ハ使用セシメムトスルトキハ煮沸スル力又ハ熱湯ヲ以テ洗淨スルコト

四、眼脂ヲ拭フニハ清潔ナル専用ノ布片類ヲ用井ルコト

五、指爪ヲ短剪シ顔面手指ノ清潔ニ注意スルコト

第二條 學校、幼稚園、製造所又ハ鉄道、電車、船舶、自動車、馬車等ノ發着待合所、劇場、寄席、活動寫眞館、旅館、下宿屋、料理店、理髮店、湯屋其ノ他地方長官ノ指定シタル多衆ノ集合スル場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ於テハ左ニ掲クル事項ヲ遵守スヘシ

一、貸手拭又ハ共用手拭ヲ備ヘサルコト但シ使用石毎 清潔ナルモノヲ使用セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

二、手流水ハ流出裝置トナスコト

學校、幼稚園、製造所其ノ他地方長官ノ指定シタル場所ニ於テハ前項各號ノ外洗面器ハ患者用ト健康者用トチ區別スヘシ

第三條 「トラホーム」豫防法第六條ノ規定ニ依ル北海道地方費又ハ府縣ノ補助ハ左ノ區分ニ依ル但シ市町村ノ

支出額三十圓未満ナルトキハ補助セサルコトヲ得

一、治療ニ關スル費用ハ支出額ノ四分ノ一以上

二、豫防ニ關スル費用ハ支出額ノ六分ノ一以上

前項ノ支出額トハ事業ニ伴フ收入又ハ寄附金ノ類ヲ控除シタル支出精算額ヲ謂フ

第四條 「トラホーム」豫防法第三條行政官廳ノ職務ハ警察署長、又ハ警察分署長、同法第四條行政官廳ノ職務ハ内務大臣又ハ地方長官之ヲ行フ

「トラホーム」豫防法及本令ノ規定ニ依ル地方長官ノ職務ハ東京府ニ在リテハ警視總監之ヲ行フ

○「トラホーム」豫防法施行細則

縣令三(六一〇、一)

第一條 市町村ハ「トラホーム」豫防並治療ノ爲市町村醫及治療所ヲ設置スル等適當ナル設備ヲ爲スヘシ

第二條 「トラホーム」豫防ノ爲左記ノ者ニ對シ毎年一回檢診ヲ施行ス但シ必要アリト認ムルトキハ臨時之ヲ施行スルコトアルヘシ

一、學校、幼稚園ノ生徒、兒童、園兒

二、製造所(職工徒弟十名以上ヲ使役スルモノ)職工其ノ他ノ從業者

三、壯丁(翌年徵兵適齡者)

四、旅店、下宿屋、湯屋、料理店、飲食店、貸座敷、理髮店(女髮結ヲ含ム)其ノ他客ノ來集ヲ目的トスル處

學校衛生

所ニ於ケル従業者

三七〇

五、産婆、看護婦、鍼灸術、按摩術（マツサーツヲ含ム）柔道整復術、藝妓、酌婦其ノ他直接客ニ接スル業ニ従事スル者

六、前各號ノ外特ニ必要アリト認ムル者

第三條 「トラホーム」蔓延ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ地域期間ヲ指定シ其ノ住民ニ對シ檢診ヲ行ヒ豫防及治療ニ關スル特別ノ施設ヲ市町村ニムスルコトアルヘシ

前項ノ檢診ハ特別ノ場合ヲ除クノ外之ヲ告示ス

第三條ノ二 第二條第四號乃至第六號ニ該當スル者ハ警察官署長ノ指定シタル日時、場所ニ於テ檢診ヲ受クヘシ

第四條 第二條第三號ニ該當スル者及前條ノ住民ハ市町村長ノ指定シタル日時場所ニ於テ檢診ヲ受クヘシ檢診ヲ受クヘキ者ノ保護者（「トラホーム」豫防法第十一條各號ノ一ニ該當スル者ヲ關フ以下同シ）ハ前項ノ檢診ヲ受ケシムヘシ

市町村長ハ特別ノ場合ヲ除クノ外三日以前ニ檢診ノ日時、場所ヲ受診者ニ告知スヘシ

第五條 學校ノ管理者又ハ其ノ代理ヲ爲ス者ハ其ノ學校、幼稚園ノ生徒、兒童、園兒、使丁ニ對シ毎年四月ヨリ六月迄ノ間ニ於テ「トラホーム」ノ有無ニ付檢診ヲ施行シ患者ニ對シテハ適當ナル治療ノ施設ヲ爲スヘシ前項ノ檢診成績ハ第三號様式ニ依リ十日以内ニ其ノ治療ノ成績ハ第四號様式ニ依リ翌年一月二十日迄ニ各成績表ヲ調製シ知事ニ報告スヘシ

第五條ノ二 工場（職工、徒弟十名以上使役スルモノ）ノ管理者又ハ其ノ代理ヲ爲ス者ハ其ノ職工徒弟其ノ他ノ

従業者ニ對シ毎年四月ヨリ六月迄ノ間ニ於テ「トラホーム」ノ有無ニ付檢診ヲ施行シ患者ニ對シテハ適當ナル治療ノ施設ヲ爲スヘシ

前項ノ檢診成績ハ第五號様式ニ依リ十日以内ニ其ノ治療ノ成績ハ第六號様式ニ依リ翌年一月二十日迄ニ所轄警察官署長ニ届出ツヘシ

第六條 警察官署長又ハ市町村長ハ「トラホーム」患者ト診斷セラレタル者ニ對シ第一號様式ノ治療票ヲ交付スヘシ

前項ニ依リ治療票ノ交付ヲ受ケタル者ハ治療ノ都度醫師ノ證印ヲ受ケ全治シタルトキハ其ノ證明ヲ得テ之ヲ返納スヘシ

治療票ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ五日以内ニ再交付ノ申請ヲ爲スヘシ

第七條 警察官吏及市町村長ハ「トラホーム」患者ニシテ治療ヲ怠ル者ヲ發見シタルトキハ患者若ハ其ノ保護者ニ對シ醫師ノ治療ヲ受クヘキコトヲ命スヘシ

第八條 市町村長ハ醫療ヲ受ケル資力ナキ「トラホーム」患者ニ對シ適當ノ方法ヲ設ケ之ヲ救済スヘシ

第九條 「トラホーム」豫防法施行規則（以下單ニ規則ト稱ス）第二條第一項ニ依リ左ノ場所ヲ指定ス

- 一、育兒院、養老院、託兒所、寄宿舎、合宿所、飲食店、貸座敷、遊戯場、遊覽所、溫泉場、海水浴場、病院、醫院、診療所、教會所、講社、禮拜所、公會堂、圖書館、勤工場
- 二、前號ノ外公衆ノ自由ニ使用シ得ヘキ場所ノ洗面所手洗場

學校衛生

三七二

學校衛生

三七二

- 一、青兒院、養老院、託兒所、寄宿舎、合宿所、旅店、下宿屋
- 第十條 警察官署長、市町村長、學校ノ管理者又ハ其ノ代理ヲ爲ス者、工場ノ管理者又ハ其ノ代理ヲ爲ス者ハ第二號様式ノ患者名簿ヲ備ヘ所要ノ事項ヲ記入スヘシ
- 第十一條 第七條ノ命ニ從ハサル者ハ科料ニ處ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二號様式 縦三寸 横五寸

表 面

トヲホトム治療票

住所

氏

年 月 日生

檢診年月日	年 月 日	檢診醫師
治療年月日	年 月 日	醫師

大正 年 月 日

市 町 村

遵守事項

- 一、患者ノ手拭ハ専用トシ其ノ清潔ニ注意スルコト
- 二、洗面器ハ患者ト健康者用トヲ區別スルコト
- 三、患者ノ常用シタル手拭、洗面器ノ類ヲ他人ニ交付シ又ハ使用セシムルトキハ煮沸アル力又ハ熱湯ヲ以テ洗淨スルコト
- 四、眼脂ヲ拭フニハ清潔ナル専用ノ布片類ヲ用ルコト
- 五、指爪ヲ短剪シ額面手指ノ清潔ニ留意スルコト
- 六、醫師ノ治療ヲ受クル毎ニ本票ヲ提出シテ月日ノ記入及捺印ヲ受クルコト
- 七、治療シタルトキハ其ノ年月日及醫師ノ署名捺印ヲ受ケ本票ヲ返戻スルコト
- 八、當該吏員ノ請求アリタルトキハ本票ヲ提示スルコト
- 九、本票ヲ紛失シ又ハ餘白ナキニ至リタルトキハ更ニ請求スルコト
- 十、以上ノ外醫師又ハ當該吏員ノ指示シタル事項ヲ遵守スルコト

裏 面

治療月日	醫師捺印	治療月日	醫師捺印	治療月日	醫師捺印
月 日	印	月 日	印	月 日	印

學校衛生

三七三

治療受ケタルトキ亦同シ

警察官署長、市町村長、時々患者ノ治療状況ヲ視察シ患者又ハ其ノ保護者ニ對シ「トラホーム」豫防法施行規則第一條各號ノ規定ニ準シ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ指示シ且治療ヲ督勵スヘシ

第四條 市町村長ハ「トラホーム」患者力他ノ市町村ニ轉出シタルトキハ轉出先ノ市町村長ニ之ヲ通知スヘシ

第五條 警察官署長ハ市町村ノ豫防及治療ノ施設ニ援助ヲ與ヘ患者ノ治療ヲ督勵スヘシ

第六條 警察官署長ハ醫療ヲ受クル資力ナキ「トラホーム」患者アリタルトキハ之ヲ市町村長ニ通知シ治療ヲ受ケシムヘシ

第七條 警察官署長ハ附錄第六號様式ノ「トラホーム」患者治療成績表ヲ調製シ翌年一月二十日迄ニ其ノ狀況ヲ知事ニ報告スヘシ

第八條 警察官署長ハ「トラホーム」豫防法第四條第一項第二號ノ處分ヲ必要ト認ムルトキハ住所氏名年齢業態症狀其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ具シ縣知事ニ報告スヘシ

第九條 市町村長ハ附錄第七號様式ノ「トラホーム」患者成績表ヲ調製シ同年十一月末日迄ニ知事ニ提出スヘシ

第十條 市町村長ハ細則第三條ニ依ル檢診ニ付附錄第九號様式ニ依リ成績表ヲ調製シ翌年一月二十日迄ニ提出スヘシ

様式(表)

○學生生徒兒童身體檢查規程

文省一六(六九、七)

第一條 學生生徒兒童身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ、但シ止メテ得サル場合ハ五月ニ於テ之ヲ施行スルコトヲ得

監督官廳又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ身體檢查ノ全部若ハ一部ヲ臨時施行スルコトヲ得

第二條 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ
學校醫ナキ場合若ハ學校醫カ身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得
學校職員又ハ他ノ適當ナルモノヲシテ身體檢查ノ一部ヲ助ケシムルコトヲ得

第三條 身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

- 一、發育(身長、體重、胸圍、概評)
- 二、榮 養
- 三、脊 柱
- 四、視力及屈折狀態
- 五、色 神
- 六、眼 疾
- 七、聽 力
- 八、耳 疾
- 九、齒 牙

學校衛生

七、其ノ他ノ疾病及異常

十一、監察ノ要否

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ検査ヲ行フコトヲ得

色神検査ハ在學中一回行ヒタルトキハ其ノ後之ヲ省略スルコトヲ得

尋常小學校第四學年以下ノ兒童ニ在リテハ視力及屈折狀態色神並聽力ノ検査ヲ省略スルコトヲ得

第四條 身体検査ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

- 一、検査ノ表記ニハ度ヘセンチメートル、衡ハキログラムヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ夫々單位ノ下ニ位ニ止ムヘシ
- 二、身長ヲ測定スルニハ足袋、靴等ヲ脱セシメ兩踵ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ鬚アル者ハ小髻ヲ髻下ニ掃ハレテ測定スヘシ
- 三、體量ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ著衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ
- 四、胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ乳頭ノ水平線ニ沿ヒ普通呼吸ノ終レル時ヲ測定スヘシ乳房ノ下垂セル女子ニ在リテハ乳線上第四肋間ノ水平線ニ於テ測定スルモノトス
- 五、發育ノ概評ハ別ニ定ムル標準ニ據リ甲、乙、丙ノ三ニ分ツモノトス
- 六、榮養ハ甲、乙、丙ニ分チ其ノ住良ナルヲ甲トシ不良ナルヲ丙トシ其ノ中間ナルヲ乙トス
- 七、骨柱ハ正、左彎、右彎、前彎後彎ヲ區別シ彎ニ就テハ凡テ其ノ凸側ニ依リテ前後左右ノ方向ヲ表示スルモノトス其ノ程度ハ之ヲ強弱ノ二種ニ區別シ自己ノ意思ニ依リ容易ニ矯正シ得ルモノヲ弱トシ然ラサルモノヲ強トス

八、視力ハ萬國式試視力表ニ就キ兩眼ヲ各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ、裸眼視力一、〇以上ナルヲ正視眼トス

屈折機ノ異常アルモノハ其ノ種別ヲ記入スヘシ

弱視、失明等モ兩眼ニツキ各別ニ記入スヘシ

九、色神ハ其ノ異常アルモノニ就キ色盲及色弱ヲ區別スヘシ

十、聽力ハ其ノ障礙ノ有無ヲ検査スヘシ

十一、齒牙ハ齲齒ニ就キ検査スヘシ

十二、其ノ他ノ疾病及異常ハ検査ノ際發見シタルモノヲ記入スヘシ殊ニ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患及機能障礙、貧血、脚氣、傳染性皮膚病、腺樣增殖症及扁桃腺肥大、「ヘルニヤ」、神經衰弱、精神障礙ニ注意スヘシ

十三、監察ノ要否ハ検査ノ結果身心ノ健康狀態不良ニシテ學校衛生上特ニ繼續的ニ監察ヲ要スト認ムル者ヲ「要」トシ記入スルモノトス

第五條 第一條第一項ノ身體検査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ身體検査票ニ記入シ本人同一種類ノ學校ニ在學中連年之ヲ繼續スヘシ、但シ程度ヲ異ニスル學科部類ヲ有スル學校ニ在リテハ其ノ部類毎ニ別標ヲ用フルモノトス

第一條第二項ノ臨時身體検査ノ際必要ト認ムル事項ヲ發見シタルトキハ之ヲ身體検査標ノ裏面ニ記入スルモノトス繼續的監察ノ場合亦同シ

學校衛生

三八八

シタル商カ〇・三二五以上ナルヲ甲トシ之ニ該當セスシテ身長一四三・九センチメートル、體重三九・四キログラム、身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商カ〇・二七四以上ナルヲ乙トシ、甲乙同レニモ該當セサルヲ丙トス
三、前各號ニ於ケル被檢者ノ身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ノ計算ハ小數第三位ニ止メ第四位以下ハ切捨ツルモノトス

發育概評決定標準表

年 齡	男		女			
	身 長 體	重	身 長 體	重		
	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商		身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商		
一三三年	一三三・六	二九・九	〇・二三四	三五・三	三〇・八	〇・三三八
一二二年	一二八・八	二七・一	〇・二一〇	二八・五	二七・〇	〇・二二〇
一一一年	一二四・九	二四・九	〇・一九九	二三・六	二四・三	〇・一九七
一〇年	一二〇・三	二三・九	〇・一九〇	二一・八	二三・一	〇・一八六
九年	一一五・八	二二・〇	〇・一八一	二四・三	二〇・二	〇・一七七
八年	一一一・三	一九・三	〇・一七三	一九・七	一八・四	〇・一六八
七年	一〇六・七	一七・五	〇・一六四	一〇・五	一六・九	〇・一六〇
六年	一〇一・七	一六・〇	〇・一五六	一〇・五	一五・四	〇・一五三

附 則

一四四年	一三九・四	三三・六	〇・一四一	一九・四	一四・七	〇・一四九
一五五年	一四六・四	三八・二	〇・一六一	一四三・九	一九・〇	〇・一五二
一六六年	一五三・七	四四・五	〇・二九一	一四六・七	二〇・七	〇・二二二
一七七年	一五〇・〇	四八・三	〇・二〇七	一四七・九	二〇・二	〇・二〇九
一八八年	一五九・一	五〇・七	〇・三一九			
一九九年	一六〇・三	五二・六	〇・三三八			

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○發育概評決定早見表 文部省(大九、七)

本年七月文部省令第十六號學生生徒兒童身體檢査規程中「發育概評決定標準」ニ照シテ等位ヲ決定スルニ當リ
★身長ヲ以テ體重ヲ除スルノ便ニ資センカタメ左ノ「發育概評決定早見表」ヲ作製セリ

第一表 (男)

學校衛生

三八九

七		八		九	
乙ノ下ノ界 (二、二八)	甲ノ下ノ界 (一、四〇)	乙ノ下ノ界 (二、三二)	甲ノ下ノ界 (一、四七)	乙ノ下ノ界 (二、四〇)	甲ノ下ノ界 (一、五四)
身長	體重	身長	體重	身長	體重
三、四〇	四、七五	三、五二	四、六〇	三、六七	五、二〇
三、四三	四、八〇	三、五五	四、七〇	三、七〇	五、二七
三、四六	四、八五	三、五八	四、七五	三、七三	五、三三
三、四九	四、九〇	三、六一	四、八〇	三、七六	五、四〇
三、五二	四、九五	三、六四	四、八五	三、七九	五、四七
三、五五	五、〇〇	三、六七	四、九〇	三、八二	五、五三
三、五八	五、〇五	三、七〇	四、九五	三、八五	五、六〇
三、六一	五、一〇	三、七三	五、〇〇	三、八八	五、六七
三、六四	五、一五	三、七六	五、〇五	三、九一	五、七四
三、六七	五、二〇	三、七九	五、一〇	三、九四	五、八一
三、七〇	五、二五	三、八二	五、一五	三、九七	五、八八
三、七三	五、三〇	三、八五	五、二〇	四、〇〇	五、九五
三、七六	五、三五	三、八八	五、二五	四、〇三	六、〇二
三、七九	五、四〇	三、九一	五、三〇	四、〇六	六、〇九
三、八二	五、四五	三、九四	五、三五	四、〇九	六、一六
三、八五	五、五〇	三、九七	五、四〇	四、一二	六、二三
三、八八	五、五五	四、〇〇	五、四五	四、一五	六、三〇
三、九一	五、六〇	四、〇三	五、五〇	四、一八	六、三七
三、九四	五、六五	四、〇六	五、五五	四、二一	六、四四
三、九七	五、七〇	四、〇九	五、六〇	四、二四	六、五一
四、〇〇	五、七五	四、一二	五、六五	四、二七	六、五八
四、〇三	五、八〇	四、一五	五、七〇	四、三〇	六、六五
四、〇六	五、八五	四、一八	五、七五	四、三三	六、七二
四、〇九	五、九〇	四、二一	五、八〇	四、三六	六、七九
四、一二	五、九五	四、二四	五、八五	四、三九	六、八六
四、一五	六、〇〇	四、二七	五、九〇	四、四二	六、九三
四、一八	六、〇五	四、三〇	五、九五	四、四五	七、〇〇
四、二一	六、一〇	四、三三	六、〇〇	四、四八	七、〇七
四、二四	六、一五	四、三六	六、〇五	四、五一	七、一四
四、二七	六、二〇	四、三九	六、一〇	四、五四	七、二一
四、三〇	六、二五	四、四二	六、一五	四、五七	七、二八
四、三三	六、三〇	四、四五	六、二〇	四、六〇	七、三五
四、三六	六、三五	四、四八	六、二五	四、六三	七、四二
四、三九	六、四〇	四、五一	六、三〇	四、六六	七、四九
四、四二	六、四五	四、五四	六、三五	四、六九	七、五六
四、四五	六、五〇	四、五七	六、四〇	四、七二	七、六三
四、四八	六、五五	四、六〇	六、四五	四、七五	七、七〇
四、五一	六、六〇	四、六三	六、五〇	四、七八	七、七七
四、五四	六、六五	四、六六	六、五五	四、八一	七、八四
四、五七	六、七〇	四、六九	六、六〇	四、八四	七、九一
四、六〇	六、七五	四、七二	六、六五	四、八七	七、九八
四、六三	六、八〇	四、七五	六、七〇	四、九〇	八、〇五
四、六六	六、八五	四、七八	六、七五	四、九三	八、一二
四、六九	六、九〇	四、八一	六、八〇	四、九六	八、一九
四、七二	六、九五	四、八四	六、八五	四、九九	八、二六
四、七五	七、〇〇	四、八七	六、九〇	五、〇二	八、三三
四、七八	七、〇五	四、九〇	六、九五	五、〇五	八、四〇
四、八一	七、一〇	四、九三	七、〇〇	五、〇八	八、四七
四、八四	七、一五	四、九六	七、〇五	五、一一	八、五四
四、八七	七、二〇	四、九九	七、一〇	五、一四	八、六一
四、九〇	七、二五	五、〇二	七、一五	五、一七	八、六八
四、九三	七、三〇	五、〇五	七、二〇	五、二〇	八、七五
四、九六	七、三五	五、〇八	七、二五	五、二三	八、八二
四、九九	七、四〇	五、一一	七、三〇	五、二六	八、八九
五、〇二	七、四五	五、一四	七、三五	五、二九	八、九六
五、〇五	七、五〇	五、一七	七、四〇	五、三二	九、〇三
五、〇八	七、五五	五、二〇	七、四五	五、三五	九、一〇
五、一一	七、六〇	五、二三	七、五〇	五、三八	九、一七
五、一四	七、六五	五、二六	七、五五	五、四一	九、二四
五、一七	七、七〇	五、二九	七、六〇	五、四四	九、三一
五、二〇	七、七五	五、三二	七、六五	五、四七	九、三八
五、二三	七、八〇	五、三五	七、七〇	五、五〇	九、四五
五、二六	七、八五	五、三八	七、七五	五、五三	九、五二
五、二九	七、九〇	五、四一	七、八〇	五、五六	九、五九
五、三二	七、九五	五、四四	七、八五	五、五九	九、六六
五、三五	八、〇〇	五、四七	七、九〇	五、六二	九、七三
五、三八	八、〇五	五、五〇	七、九五	五、六五	九、八〇
五、四一	八、一〇	五、五三	八、〇〇	五、六八	九、八七
五、四四	八、一五	五、五六	八、〇五	五、七一	九、九四
五、四七	八、二〇	五、五九	八、一〇	五、七四	一〇、〇一
五、五〇	八、二五	五、六二	八、一五	五、七七	一〇、〇八
五、五三	八、三〇	五、六五	八、二〇	五、八〇	一〇、一五
五、五六	八、三五	五、六八	八、二五	五、八三	一〇、二二
五、五九	八、四〇	五、七一	八、三〇	五、八六	一〇、二九
五、六二	八、四五	五、七四	八、三五	五、八九	一〇、三六
五、六五	八、五〇	五、七七	八、四〇	五、九二	一〇、四三
五、六八	八、五五	五、八〇	八、四五	五、九五	一〇、五〇
五、七一	八、六〇	五、八三	八、五〇	五、九八	一〇、五七
五、七四	八、六五	五、八六	八、五五	六、〇一	一〇、六四
五、七七	八、七〇	五、八九	八、六〇	六、〇四	一〇、七一
五、八〇	八、七五	五、九二	八、六五	六、〇七	一〇、七八
五、八三	八、八〇	五、九五	八、七〇	六、一〇	一〇、八五
五、八六	八、八五	五、九八	八、七五	六、一三	一〇、九二
五、八九	八、九〇	六、〇一	八、八〇	六、一六	一〇、九九
五、九二	八、九五	六、〇四	八、八五	六、一九	一一、〇六
五、九五	九、〇〇	六、〇七	八、九〇	六、二二	一一、一三
五、九八	九、〇五	六、一〇	八、九五	六、二五	一一、二〇
六、〇一	九、一〇	六、一三	九、〇〇	六、二八	一一、二七
六、〇四	九、一五	六、一六	九、〇五	六、三一	一一、三四
六、〇七	九、二〇	六、一九	九、一〇	六、三四	一一、四一
六、一〇	九、二五	六、二二	九、一五	六、三七	一一、四八
六、一三	九、三〇	六、二五	九、二〇	六、四〇	一一、五五
六、一六	九、三五	六、二八	九、二五	六、四三	一一、六二
六、一九	九、四〇	六、三一	九、三〇	六、四六	一一、六九
六、二二	九、四五	六、三四	九、三五	六、四九	一一、七六
六、二五	九、五〇	六、三七	九、四〇	六、五二	一一、八三
六、二八	九、五五	六、四〇	九、四五	六、五五	一一、九〇
六、三一	九、六〇	六、四三	九、五〇	六、五八	一一、九七
六、三四	九、六五	六、四六	九、五五	六、六一	一二、〇四
六、三七	九、七〇	六、四九	九、六〇	六、六四	一二、一一
六、四〇	九、七五	六、五二	九、六五	六、六七	一二、一八
六、四三	九、八〇	六、五五	九、七〇	六、七〇	一二、二五
六、四六	九、八五	六、五八	九、七五	六、七三	一二、三二
六、四九	九、九〇	六、六一	九、八〇	六、七六	一二、三九
六、五二	九、九五	六、六四	九、八五	六、七九	一二、四六
六、五五	一〇、〇〇	六、六七	九、九〇	六、八二	一二、五三
六、五八	一〇、〇五	六、七〇	九、九五	六、八五	一二、六〇
六、六一	一〇、一〇	六、七三	一〇、〇〇	六、八八	一二、六七
六、六四	一〇、一五	六、七六	一〇、〇五	六、九一	一二、七四
六、六七	一〇、二〇	六、七九	一〇、一〇	六、九四	一二、八一
六、七〇	一〇、二五	六、八二	一〇、一五	六、九七	一二、八八
六、七三	一〇、三〇	六、八五	一〇、二〇	七、〇〇	一二、九五
六、七六	一〇、三五	六、八八	一〇、二五	七、〇三	一二、〇二
六、七九	一〇、四〇	六、九一	一〇、三〇	七、〇六	一二、〇九
六、八二	一〇、四五	六、九四	一〇、三五	七、〇九	一二、一六
六、八五	一〇、五〇	六、九七	一〇、四〇	七、一二	一二、二三
六、八八	一〇、五五	七、〇〇	一〇、四五	七、一五	一二、三〇
六、九一	一〇、六〇	七、〇三	一〇、五〇	七、一八	一二、三七
六、九四	一〇、六五	七、〇六	一〇、五五	七、二一	一二、四四
六、九七	一〇、七〇	七、〇九	一〇、六〇	七、二四	一二、五一
七、〇〇	一〇、七五	七、一二	一〇、六五	七、二七	一二、五八
七、〇三	一〇、八〇	七、一五	一〇、七〇	七、三〇	一二、六五
七、〇六	一〇、八五	七、一八	一〇、七五	七、三三	一二、七二
七、〇九	一〇、九〇	七、二一	一〇、八〇	七、三六	一二、七九
七、一二	一〇、九五	七、二四	一〇、八五	七、三九	一二、八六
七、一五	一〇、一〇	七、二七	一〇、九〇	七、四二	一二、九三
七、一八	一〇、一五	七、三〇	一〇、九五	七、四五	一二、一〇
七、二一	一〇、二〇	七、三三	一〇、一〇〇	七、四八	一二、一七
七、二四	一〇、二五	七、三六	一〇、一〇五	七、五一	一二、二四
七、二七	一〇、三〇	七、三九	一〇、一〇〇	七、五四	一二、三一
七、三〇	一〇、三五	七、四二	一〇、一〇五	七、五七	一二、三八
七、三三	一〇、四〇	七、四五	一〇、一〇〇	七、六〇	一二、四五
七、三六	一〇、四五	七、四八	一〇、一〇五	七、六三	一二、五二
七、三九	一〇、五〇	七、五一	一〇、一〇〇	七、六六	一二、五九
七、四二	一〇、五五	七、五四	一〇、一〇五	七、六九	一二、六六
七、四五	一〇、六〇	七、五七	一〇、一〇〇	七、七二	一二、七三
七、四八	一〇、六五	七、六〇	一〇、一〇五	七、七五	一二、八〇
七、五一	一〇、七〇	七、六三	一〇、一〇〇	七、七八	一二、八七
七、五四	一〇、七五	七、六六	一〇、一〇五	七、八一	一二、九四
七、五七	一〇、八〇	七、六九	一〇、一〇〇	七、八四	一二、一〇
七、六〇	一〇、八五	七、七二	一〇、一〇五	七、八七	一二、一七
七、六三	一〇、九〇	七、七五	一〇、一〇〇	七、九〇	一二、二四
七、六六	一〇、九五	七、七八	一〇、一〇五	七、九三	一二、三一
七、六九	一〇、一〇	七、八一	一〇、一〇〇	七、九六	一二、三八
七、七二	一〇、一五	七、八四	一〇、一〇五	七、九九	一二、四五
七、七五	一〇、二〇	七、八七	一〇、一〇〇	八、〇二	一二、五二
七、七八	一〇、二五	七、九〇	一〇、一〇五	八、〇五	一二、五九
七、八一	一〇、三〇	七、九三	一〇、一〇〇	八、〇八	一二、六六
七、八四	一〇、三五	七、九六	一〇、一〇五	八、一一	一二、七三
七、八七	一〇、四〇	七、九九	一〇、一〇〇	八、一四	一二、八〇
七、九〇	一〇、四五	八、〇二	一〇、一〇五	八、一七	一二、八七
七、九三	一〇、五〇	八、〇五	一〇、一〇〇	八、二〇	一二、九四
七、九六	一〇、五五	八、〇八	一〇、一〇五	八、二三	一二、一〇
七、九九	一〇、六〇	八、一一	一〇、一〇〇	八、二六	一二、一七
八、〇二	一〇、六五	八、一四	一〇、一〇五	八、二九	一二、二四
八、〇五	一〇、七〇	八、一七	一〇、一〇〇	八、三二	一二、三一
八、〇八	一〇、七五	八、二〇	一〇、一〇五	八、三五	一二、三八
八、一一	一〇、八〇	八、二三	一〇、一〇〇	八、三八	一二、四五
八、一四	一〇、八五	八、二六	一〇、一〇五	八、四一	一二、五二
八、一七	一〇、九〇	八、二九	一〇、一〇〇	八、四四	一二、五九
八、二〇	一〇、九五	八、三二	一〇、一〇五	八、四七	一二、六六
八、二三	一〇、一〇	八、三五	一〇、一〇〇	八、五〇	一二、七三
八、二六	一〇、一五	八、三八	一〇、一〇五	八、五三	一二、八〇
八、二九	一〇、二〇	八、四一	一〇、一〇〇	八、五六	一二、八七
八、三二	一〇、二五	八、四四	一〇、一〇五	八、五九	一二、九四
八、三五	一〇、三〇	八、四七	一〇、一〇〇	八、六二	一二、一〇
八、三八	一〇、三五	八、五〇	一〇、一〇五	八、六五	一二、一七
八、四一	一〇、四〇	八、五三	一〇、一〇〇	八、六八	一二、二四
八、四四	一〇、四五	八、五六	一〇、一〇五	八、七一	一二、三一
八、四七	一〇、五〇	八、五九	一〇、一〇〇	八、七四	一二、三八
八、五〇	一〇、五五	八、六二	一〇、一〇五	八、七七	一二、四五
八、五三	一〇、六〇	八、六五	一〇、一〇〇	八、八〇	一二、五二
八、五六	一〇、六五	八、六八	一〇、一〇五	八、八三	一二、五九
八、五九	一〇、七〇	八、七一	一〇、一〇〇	八、八六	一二、六六
八、六二	一〇、七五	八、七四	一〇、一〇五	八、八九	一二、七三
八、六五	一〇、八〇	八、七七	一〇、一〇〇	八、九二	一二、八〇
八、六八	一〇、八五	八、八〇	一〇、一〇五	八、九五	一二、八七
八、七一	一〇、九〇	八、八三	一〇、一〇〇	八、九八	一二、九四
八、七四	一〇、九五	八、八六	一〇、一〇五	九、〇一	一二、一〇
八、七七	一〇、一〇	八、八九	一〇、一〇〇	九、〇四	一二、一七
八、八〇	一〇、一五	八、九二	一〇、一〇五	九、〇七	一二、二四
八、八三	一〇、二〇	八、九五	一〇、一〇〇	九、一〇	一二、三一
八、八六	一〇、二五	八、九八	一〇、一〇五	九、一三	一二、三八
八、八九	一〇、三〇	九、〇一	一〇、一〇〇	九、一六	一二、四五
八、九二	一〇、三五	九、〇四	一〇、一〇五	九、一九	一二、五二
八、九五	一〇、四〇	九、〇七	一〇、一〇〇	九、二二	一二、五九
八、九八	一〇、四五	九、一〇	一〇、一〇五	九、二五	一二、六六
九、〇一	一〇、五〇	九、一三	一〇、一〇〇	九、二八	一二、七三
九、〇四	一〇、五五	九、一六	一〇、一〇五	九、三一	一二、八〇
九、〇七	一〇、六〇	九、一九	一〇、一〇〇	九、三四	一二、八七
九、一〇	一〇、六五	九、二二	一〇、一〇五	九、三七	一二、九四
九、一三	一〇、七〇	九、二五	一〇、一〇〇	九、四〇	一二、一〇
九、一六					

十三年		十四年		十五年	
乙ノ下ノ界 (二、七〇)	身長 體重	甲ノ下ノ界 (二、九五)	身長 體重	乙ノ下ノ界 (二、八一)	身長 體重
四、八五	八、二五〇	五、一〇	一〇、一五〇	五、〇〇	九、〇三八
四、八〇	八、一六五	五、一五	一〇、〇七五	四、九五	八、九四七
四、七五	八、〇八〇	五、一〇	九、九〇〇	四、九〇	八、八五七
四、七〇	七、九九五	五、〇五	九、八二五	四、八五	八、七六六
四、六五	七、九一〇	五、〇〇	九、七五〇	四、八〇	八、六七六
四、六〇	七、八二五	四、九五	九、六七五	四、七五	八、五八五
四、五五	七、七四〇	四、九〇	九、五五〇	四、七〇	八、四九五
四、五〇	七、六五五	四、八五	九、四七五	四、六五	八、四〇四
四、四五	七、五七〇	四、八〇	九、四〇〇	四、六〇	八、三一四
四、四〇	七、四八五	四、七五	九、三二五	四、五五	八、二二三
四、三五	七、四〇〇	四、七〇	九、二五〇	四、五〇	八、一三三
四、三〇	七、三一五	四、六五	九、一七五	四、四五	八、〇四三
四、二五	七、二三〇	四、六〇	九、一〇〇	四、四〇	七、九七〇

十六年		十七年		十八年	
乙ノ下ノ界 (二、一四)	身長 體重	甲ノ下ノ界 (二、四八)	身長 體重	乙ノ下ノ界 (二、三五)	身長 體重
四、八五	一〇、三三〇	五、一八	一三、八五〇	五、四〇	一三、八六〇
四、八〇	一〇、二四五	五、一〇	一三、七六五	五、三〇	一三、七八〇
四、七五	一〇、一七〇	五、〇五	一三、六八〇	五、二〇	一三、七〇〇
四、七〇	一〇、〇八五	五、〇〇	一三、五九五	五、一〇	一三、六二〇
四、六五	一〇、〇〇〇	四、九五	一三、五一〇	五、〇〇	一三、五四〇
四、六〇	九、九一五	四、九〇	一三、四二五	四、九〇	一三、四六〇
四、五五	九、八三〇	四、八五	一三、三四〇	四、八〇	一三、三八〇
四、五〇	九、七四五	四、八〇	一三、二五五	四、七五	一三、三〇〇
四、四五	九、六六〇	四、七五	一三、一七〇	四、七〇	一三、二二〇
四、四〇	九、五七五	四、七〇	一三、〇八五	四、六五	一三、一四〇
四、三五	九、四九〇	四、六五	一三、〇〇〇	四、六〇	一三、〇六〇
四、三〇	九、四〇五	四、六〇	一二、九一五	四、五五	一二、九八〇
四、二五	九、三二〇	四、五五	一二、八三〇	四、五〇	一二、九〇〇
四、二〇	九、二三五	四、五〇	一二、七四五	四、四五	一二、八二〇
四、一五	九、一五〇	四、四五	一二、六六〇	四、四〇	一二、七四〇
四、一〇	九、〇六五	四、四〇	一二、五七五	四、三五	一二、六六〇
四、〇五	八、九八〇	四、三五	一二、四九〇	四、三〇	一二、五八〇
四、〇〇	八、八九五	四、三〇	一二、四〇五	四、二五	一二、五〇〇
三、九五	八、八一〇	四、二五	一二、三二〇	四、二〇	一二、四二〇
三、九〇	八、七二五	四、二〇	一二、二三五	四、一五	一二、三四〇
三、八五	八、六四〇	四、一五	一二、一五〇	四、一〇	一二、二六〇
三、八〇	八、五五五	四、一〇	一二、〇六五	四、〇五	一二、一八〇
三、七五	八、四七〇	四、〇五	一二、〇〇〇	四、〇〇	一二、一〇〇
三、七〇	八、三八五	四、〇〇	一一、九一五	三、九五	一二、〇二〇
三、六五	八、三〇〇	三、九五	一一、八三〇	三、九〇	一一、九四〇
三、六〇	八、二一五	三、九〇	一一、七四五	三、八五	一一、八六〇
三、五五	八、一三〇	三、八五	一一、六六〇	三、八〇	一一、七八〇
三、五〇	八、〇四五	三、八〇	一一、五七五	三、七五	一一、七〇〇
三、四五	七、九六〇	三、七五	一一、四九〇	三、七〇	一一、六二〇
三、四〇	七、八七五	三、七〇	一一、四〇五	三、六五	一一、五四〇
三、三五	七、七九〇	三、六五	一一、三二〇	三、六〇	一一、四六〇
三、三〇	七、七〇五	三、六〇	一一、二三五	三、五五	一一、三八〇
三、二五	七、六二〇	三、五五	一一、一五〇	三、五〇	一一、三〇〇
三、二〇	七、五三五	三、五〇	一一、〇六五	三、四五	一一、二二〇
三、一五	七、四五〇	三、四五	一一、〇〇〇	三、四〇	一一、一四〇
三、一〇	七、三六五	三、四〇	一〇、九一五	三、三五	一一、〇六〇
三、〇五	七、二八〇	三、三五	一〇、八三〇	三、三〇	一一、〇〇〇
三、〇〇	七、一九五	三、三〇	一〇、七四五	三、二五	一〇、九二〇
二、九五	七、一〇〇	三、二五	一〇、六六〇	三、二〇	一〇、八四〇
二、九〇	七、〇一五	三、二〇	一〇、五七五	三、一五	一〇、七六〇
二、八五	六、九三〇	三、一五	一〇、四九〇	三、一〇	一〇、六八〇
二、八〇	六、八四五	三、一〇	一〇、四〇五	三、〇五	一〇、六〇〇
二、七五	六、七六〇	三、〇五	一〇、三二〇	三、〇〇	一〇、五二〇
二、七〇	六、六七五	三、〇〇	一〇、二三五	二、九五	一〇、四四〇
二、六五	六、五九〇	二、九五	一〇、一五〇	二、九〇	一〇、三六〇
二、六〇	六、五〇五	二、九〇	一〇、〇六五	二、八五	一〇、二八〇
二、五五	六、四二〇	二、八五	九九、九八〇	二、八〇	一〇、二〇〇
二、五〇	六、三三五	二、八〇	九九、八九五	二、七五	一〇、一二〇
二、四五	六、二四五	二、七五	九九、八一〇	二、七〇	一〇、〇四〇
二、四〇	六、一七〇	二、七〇	九九、七二五	二、六五	九九、九六〇
二、三五	六、〇八五	二、六五	九九、六四〇	二、六〇	九九、八八〇
二、三〇	六、〇〇〇	二、六〇	九九、五五五	二、五五	九九、八〇〇
二、二五	五、九一五	二、五五	九九、四七〇	二、五〇	九九、七二〇
二、二〇	五、八三〇	二、五〇	九九、三八五	二、四五	九九、六四〇
二、一五	五、七四五	二、四五	九九、三〇〇	二、四〇	九九、五六〇
二、一〇	五、六六〇	二、四〇	九九、二一五	二、三五	九九、四八〇
二、〇五	五、五七五	二、三五	九九、一三〇	二、三〇	九九、四〇〇
二、〇〇	五、四九〇	二、三〇	九九、〇四五	二、二五	九九、三二〇
一、九五	五、四〇五	二、二五	九八、九六〇	二、二〇	九九、二四〇
一、九〇	五、三二〇	二、二〇	九八、八七五	二、一五	九九、一六〇
一、八五	五、二三五	二、一五	九八、七九〇	二、一〇	九九、〇八〇
一、八〇	五、一五〇	二、一〇	九八、七〇五	二、〇五	九九、〇〇〇
一、七五	五、〇六五	二、〇五	九八、六二〇	二、〇〇	九八、九二〇
一、七〇	四、九八〇	二、〇〇	九八、五三五	一、九五	九八、八四〇
一、六五	四、八九五	一、九五	九八、四五〇	一、九〇	九八、七六〇
一、六〇	四、八一〇	一、九〇	九八、三六五	一、八五	九八、六八〇
一、五五	四、七二五	一、八五	九八、二八〇	一、八〇	九八、六〇〇
一、五〇	四、六四〇	一、八〇	九八、一九五	一、七五	九八、五二〇
一、四五	四、五五五	一、七五	九八、一〇〇	一、七〇	九八、四四〇
一、四〇	四、四七〇	一、七〇	九八、〇一五	一、六五	九八、三六〇
一、三五	四、三八五	一、六五	九七、九三〇	一、六〇	九八、二八〇
一、三〇	四、三〇〇	一、六〇	九七、八四五	一、五五	九八、二〇〇
一、二五	四、二一五	一、五五	九七、七六〇	一、五〇	九八、一二〇
一、二〇	四、一三五	一、五〇	九七、六七五	一、四五	九八、〇四〇
一、一五	四、〇五〇	一、四五	九七、五九〇	一、四〇	九七、九六〇
一、一〇	三、九六五	一、四〇	九七、五〇五	一、三五	九七、八八〇
一、〇五	三、八八〇	一、三五	九七、四二〇	一、三〇	九七、八〇〇
一、〇〇	三、七九五	一、三〇	九七、三三五	一、二五	九七、七二〇
九、九五	三、七一〇	一、二五	九七、二五〇	一、二〇	九七、六四〇
九、九〇	三、六二五	一、二〇	九七、一六五	一、一五	九七、五六〇
九、八五	三、五四〇	一、一五	九七、〇八〇	一、一〇	九七、四八〇
九、八〇	三、四五五	一、一〇	九七、〇〇〇	一、〇五	九七、四〇〇
九、七五	三、三七〇	一、〇五	九六、九一五	一、〇〇	九七、三二〇
九、七〇	三、二八五	一、〇〇	九六、八三五	九、九五	九七、二四〇
九、六五	三、二〇〇	九、九五	九六、七五〇	九、九〇	九七、一六〇
九、六〇	三、一一五	九、九〇	九六、六六五	九、八五	九七、〇八〇
九、五五	三、〇三〇	九、八五	九六、五八〇	九、八〇	九七、〇〇〇
九、五〇	二、九四五	九、八〇	九六、四九五	九、七五	九六、九二〇
九、四五	二、八六〇	九、七五	九六、四一〇	九、七〇	九六、八四〇
九、四〇	二、七七五	九、七〇	九六、三二五	九、六五	九六、七六〇
九、三五	二、六九〇	九、六五	九六、二四〇	九、六〇	九六、六八〇
九、三〇	二、六〇五	九、六〇	九六、一五五	九、五五	九六、六〇〇
九、二五	二、五二〇	九、五五	九六、〇七〇	九、五〇	九六、五二〇
九、二〇	二、四三五	九、五〇	九六、〇〇〇	九、四五	九六、四四〇
九、一五	二、三五〇	九、四五	九五、九一五	九、四〇	九六、三六〇
九、一〇	二、二六五	九、四〇	九五、八三五	九、三五	九六、二八〇
九、〇五	二、一八〇	九、三五	九五、七五〇	九、三〇	九六、二〇〇
九、〇〇	二、〇九五	九、三〇	九五、六六五	九、二五	九六、一二〇
八、九五	二、〇一〇	九、二五	九五、五八〇	九、二〇	九六、〇四〇
八、九〇	一九二五	九、二〇	九五、四九五	九、一五	九六、〇〇〇
八、八五	一九四〇	九、一五	九五、四一〇	九、一〇	九五、九二〇
八、八〇	一九五五	九、一〇	九五、三二五	九、〇五	九五、八四〇
八、七五	一九七〇	九、〇五	九五、二四〇	九、〇〇	九五、七六〇
八、七〇	一九八五	九、〇〇	九五、一五五	八、九五	九五、六八〇
八、六五	一九〇〇	九、〇〇	九五、〇七〇	八、九〇	九五、六〇〇
八、六〇	一九一五	八、九五	九四、九八五	八、八五	九五、五二〇
八、五五	一九三〇	八、九〇	九四、九〇〇	八、八〇	九五、四四〇
八、五〇	一九四五	八、八五	九四、八一五	八、七五	九五、三六〇
八、四五	一九六〇	八、八〇	九四、七三五	八、七〇	九五、二八〇
八、四〇	一九七五	八、七五	九四、六五〇	八、六五	九五、二〇〇
八、三五	一九九〇	八、七〇	九四、五六五	八、六〇	九五、一二〇
八、三〇	二〇〇五	八、六五	九四、四八〇	八、五五	九五、〇四〇
八、二五	二〇二〇	八、六〇	九四、三九五	八、五〇	九四、九六〇
八、二〇	二〇三五	八、五五	九四、三一〇	八、四五	九四、八八〇
八、一五	二〇五〇	八、五〇	九四、二二五	八、四〇	九四、八〇〇
八、一〇	二〇六五	八、四五	九四、一四〇	八、三五	九四、七二〇
八、〇五	二〇八〇	八、四〇	九四、〇五五	八、三〇	九四、六四〇
八、〇〇	二〇九五	八、三五	九三、九七〇	八、二五	九四、五六〇
七、九五	二一一〇	八、三〇	九三、八八五	八、二〇	九四、四八〇
七、九〇	二一二五	八、二五	九三、八〇〇	八、一五	九四、四〇〇
七、八五	二一四〇	八、二〇	九三、七一五	八、一〇	九四、三二〇
七、八〇	二一五五	八、一五	九三、六三五	八、〇五	九四、二四〇
七、七五	二一七〇	八、一〇	九三、五五〇	八、〇〇	九四、一六〇
七、七〇	二一八五	八、〇五	九三、四六五	七、九五	九四、〇八〇
七、六五	二二〇〇	八、〇〇	九三、三八〇	七、九〇	九四、〇〇〇
七、六〇	二二一五	七、九五	九三、二九五	七、八五	九三、九二〇
七、五五	二二三〇	七、九〇	九三、二一〇	七、八〇	九三、八四〇
七、五〇	二二四五	七、八五	九三、一二五	七、七五	九三、七六〇
七、四五	二二六〇	七、八〇	九三、〇四〇	七、七〇	九三、六八〇
七、四〇	二二七五	七、七五	九二、九五五	七、六五	九三、六〇〇
七、三五	二二九〇	七、七〇	九二、八七〇	七、六〇	九三、五二〇
七、三〇	二三〇五	七、六五	九二、七八五	七、五五	九三、四四〇
七、二五	二三二〇	七、六〇	九二、七〇〇	七、五〇	九三、三六〇
七、二〇	二三三五	七、五五	九二、六一五	七、四五	九三、二八〇
七、一五	二三五〇	七、五〇	九二、五三〇	七、四〇	九三、二〇〇
七、一〇	二三六五	七、四五	九二、四四五	七、三五	九三、一二〇
七、〇五	二三八〇	七、四〇	九二、三五〇	七、三〇	九三、〇四〇
七、〇〇	二四〇〇	七、三五	九二、二六五	七、二五	九三、〇〇〇
六、九五	二四一五	七、三〇	九二、一八〇	七、二〇	九二、九二〇
六、九〇	二四三〇	七、二五	九二、〇九五	七、一五	九二、八四〇
六、八五	二四四五	七、二〇	九二、〇一〇	七、一〇	九二、七六〇
六、八〇	二四六〇	七、一五	九一、九二五	七、〇五	九二、六八〇
六、七五	二四七五	七、一〇	九一、八四〇	七、〇〇	九二、六〇〇
六、七〇	二四九〇	七、〇五	九一、七五五	六、九五	九二、五二〇
六、六五	二五〇五	七、〇〇	九一、六七〇	六、九〇	九二、四四〇
六、六〇	二五二〇	六、九五	九一、六八五	六、八五	九二、三六〇
六、五五	二五三五	六、九〇	九一、六〇〇	六、八〇	九二、二八〇
六、五〇	二五五〇	六、八五	九一、五一五	六、七五	九二、二〇〇
六、四五	二五六五	六、八〇	九一、四三〇	六、七〇	九二、一二〇
六、四〇	二五八〇	六、七五	九一、三四五	六、六五	九二、〇四〇
六、三五	二五九五	六、七〇	九一、二六〇	六、六〇	九二、〇〇〇
六、三〇	二六一〇	六、六五	九一、一七五	六、五五	九一、九二〇
六、二五	二六二五	六、六〇	九一、〇九〇	六、五〇	九一、八四〇
六、二〇	二六四〇	六、五五	九一、〇〇五	六、四五	九一、七六〇
六、一五	二六五五	六、五〇	九〇、九二〇	六、四〇	九一、六八〇
六、一〇	二六七〇	六、四五	九〇、八三五	六、三五	九一、六〇〇
六、〇五	二六八五	六、四〇	九〇、七五〇	六、三〇	九一、五二〇
六、〇〇	二七〇〇	六、三五	九〇、六六五	六、二五	九一、四四〇
五、九五	二七一五	六、三〇	九〇、五八〇	六、二〇	九一、三六〇
五、九〇	二七三〇	六、二五	九〇、四九五	六、一五	九一、二八〇
五、八五	二七四五	六、二〇	九〇、四一〇	六、一〇	九一、二〇〇
五、八〇	二七六〇	六、一五	九〇、三二五	六、〇五	九一、一二〇
五、七五	二七七五	六、一〇	九〇、二四〇	六、〇〇	九一、〇四〇
五、七〇	二七九〇	六、〇五	九〇、一五五	五、九五	九一、〇〇〇
五、六五	二八〇五	六、〇〇	九〇、		

四、九三	一〇、八八	五、〇五	三、三五〇	四、九三	一〇、三三	五、一〇	一三、〇一〇
五、〇〇	一〇、九八	五、一〇	三、三三三	五、〇〇	一一、〇三	五、一〇	一三、〇一〇
五、〇三	一一、〇七	五、一三	三、三九七	五、〇三	一一、一七	五、一〇	一三、〇一〇
五、一〇	一一、一七	五、二〇	三、三八〇	五、一〇	一一、二七	五、一三	一三、〇一〇
五、一三	一一、二六	五、二五	三、三九四	五、一三	一一、三六	五、一六	一三、〇一〇
五、二〇	一一、三六	五、三〇	三、四〇七	五、二〇	一一、四五	五、二〇	一三、〇一〇
五、二三	一一、四六	五、三五	三、四二一	五、二三	一一、五四	五、二三	一三、〇一〇
五、三〇	一一、五五	五、四〇	三、四三六	五、三〇	一一、六三	五、三〇	一三、〇一〇
五、三三	一一、六五	五、四五	三、四四八	五、三三	一一、七二	五、三三	一三、〇一〇
五、四〇	一一、七四	五、五〇	三、四六二	五、四〇	一一、八一	五、四〇	一三、〇一〇
五、四三	一一、八四	五、五五	三、四七五	五、四三	一一、九〇	五、四三	一三、〇一〇
五、五〇	一一、九三	五、六〇	三、四八八	五、五〇	一二、〇〇	五、五〇	一三、〇一〇
五、五三	一二、〇三	五、六五	三、五〇〇	五、五三	一二、〇九	五、五三	一三、〇一〇
五、六〇	一二、一二	五、七〇	三、五一三	五、六〇	一二、一八	五、六〇	一三、〇一〇
五、六三	一二、二二	五、七五	三、五二五	五、六三	一二、二七	五、六三	一三、〇一〇
五、七〇	一二、三一	五、八〇	三、五三九	五、七〇	一二、三六	五、七〇	一三、〇一〇
五、七三	一二、四一	五、八五	三、五五二	五、七三	一二、四五	五、七三	一三、〇一〇
五、八〇	一二、五〇	五、九〇	三、五六五	五、八〇	一二、五四	五、八〇	一三、〇一〇
五、八三	一二、六〇	五、九五	三、五七七	五、八三	一二、六三	五、八三	一三、〇一〇
五、九〇	一二、六九	六、〇〇	三、五九〇	五、九〇	一二、七二	五、九〇	一三、〇一〇
五、九三	一二、七九	六、〇五	三、六〇二	五、九三	一二、八一	五、九三	一三、〇一〇
六、〇〇	一二、八八	六、一〇	三、六一五	六、〇〇	一二、九〇	六、〇〇	一三、〇一〇
六、〇三	一二、九八	六、一五	三、六二七	六、〇三	一二、九九	六、〇三	一三、〇一〇
六、一〇	一三、〇七	六、二〇	三、六四〇	六、一〇	一三、〇八	六、一〇	一三、〇一〇
六、一三	一三、一七	六、二五	三、六五二	六、一三	一三、一七	六、一三	一三、〇一〇
六、二〇	一三、二六	六、三〇	三、六六五	六、二〇	一三、二六	六、二〇	一三、〇一〇
六、二三	一三、三六	六、三五	三、六七七	六、二三	一三、三五	六、二三	一三、〇一〇
六、三〇	一三、四五	六、四〇	三、六九〇	六、三〇	一三、四四	六、三〇	一三、〇一〇
六、三三	一三、五五	六、四五	三、七〇二	六、三三	一三、五三	六、三三	一三、〇一〇
六、四〇	一三、六四	六、五〇	三、七一五	六、四〇	一三、六二	六、四〇	一三、〇一〇
六、四三	一三、七四	六、五五	三、七二七	六、四三	一三、七一	六、四三	一三、〇一〇
六、五〇	一三、八三	六、六〇	三、七四〇	六、五〇	一三、八〇	六、五〇	一三、〇一〇
六、五三	一三、九三	六、六五	三、七五二	六、五三	一三、八九	六、五三	一三、〇一〇
六、六〇	一四、〇二	六、七〇	三、七六五	六、六〇	一三、九八	六、六〇	一三、〇一〇
六、六三	一四、一二	六、七五	三、七七七	六、六三	一四、〇七	六、六三	一三、〇一〇
六、七〇	一四、二一	六、八〇	三、七九〇	六、七〇	一四、一六	六、七〇	一三、〇一〇
六、七三	一四、三〇	六、八五	三、八〇二	六、七三	一四、二五	六、七三	一三、〇一〇
六、八〇	一四、四〇	六、九〇	三、八一五	六、八〇	一四、三四	六、八〇	一三、〇一〇
六、八三	一四、五〇	六、九五	三、八二七	六、八三	一四、四三	六、八三	一三、〇一〇
六、九〇	一四、五九	七、〇〇	三、八四〇	六、九〇	一四、五二	六、九〇	一三、〇一〇
六、九三	一四、六九	七、〇五	三、八五二	六、九三	一四、六一	六、九三	一三、〇一〇
七、〇〇	一四、七八	七、一〇	三、八六五	七、〇〇	一四、七〇	七、〇〇	一三、〇一〇
七、〇三	一四、八八	七、一五	三、八七七	七、〇三	一四、七九	七、〇三	一三、〇一〇
七、一〇	一四、九七	七、二〇	三、八九〇	七、一〇	一四、八八	七、一〇	一三、〇一〇
七、一三	一五、〇七	七、二五	三、九〇二	七、一三	一四、九七	七、一三	一三、〇一〇
七、二〇	一五、一六	七、三〇	三、九一五	七、二〇	一五、〇六	七、二〇	一三、〇一〇
七、二三	一五、二6	七、三五	三、九二7	七、二三	一五、一五	七、二三	一三、〇一〇
七、三〇	一五、三5	七、四〇	三、九四〇	七、三〇	一五、二4	七、三〇	一三、〇一〇
七、三三	一五、45	七、四五	三、九52	七、三三	一五、33	七、三三	一三、〇一〇
七、四〇	一五、54	七、五〇	三、965	七、四〇	一五、42	七、四〇	一三、〇一〇
七、四三	一五、64	七、五五	三、977	七、四三	一五、51	七、四三	一三、〇一〇
七、五〇	一五、73	七、六〇	三、990	七、五〇	一五、60	七、五〇	一三、〇一〇
七、五三	一五、83	七、六五	四、〇〇2	七、五三	一五、69	七、五三	一三、〇一〇
七、六〇	一五、92	七、七〇	四、〇15	七、六〇	一五、78	七、六〇	一三、〇一〇
七、六三	一六、〇2	七、七五	四、〇27	七、六三	一五、87	七、六三	一三、〇一〇
七、七〇	一六、11	七、八〇	四、〇40	七、七〇	一五、96	七、七〇	一三、〇一〇
七、七三	一六、21	七、八五	四、〇52	七、七三	一六、〇5	七、七三	一三、〇一〇
七、八〇	一六、30	七、九〇	四、〇65	七、八〇	一六、14	七、八〇	一三、〇一〇
七、八三	一六、40	七、九五	四、〇77	七、八三	一六、23	七、八三	一三、〇一〇
七、九〇	一六、49	八、〇〇	四、〇90	七、九〇	一六、32	七、九〇	一三、〇一〇
七、九三	一六、59	八、〇五	四、102	七、九三	一六、41	七、九三	一三、〇一〇
八、〇〇	一六、68	八、一〇	四、115	八、〇〇	一六、50	八、〇〇	一三、〇一〇
八、〇三	一六、78	八、一五	四、127	八、〇三	一六、59	八、〇三	一三、〇一〇
八、一〇	一六、87	八、二〇	四、140	八、一〇	一六、68	八、一〇	一三、〇一〇
八、一三	一六、97	八、二五	四、152	八、一三	一六、77	八、一三	一三、〇一〇
八、二〇	一七、〇6	八、三〇	四、165	八、二〇	一六、86	八、二〇	一三、〇一〇
八、二三	一七、16	八、三五	四、177	八、二三	一六、95	八、二三	一三、〇一〇
八、三〇	一七、25	八、四〇	四、190	八、三〇	一七、〇4	八、三〇	一三、〇一〇
八、三三	一七、35	八、四五	四、202	八、三三	一七、13	八、三三	一三、〇一〇
八、四〇	一七、44	八、五〇	四、215	八、四〇	一七、22	八、四〇	一三、〇一〇
八、四三	一七、54	八、五五	四、227	八、四三	一七、31	八、四三	一三、〇一〇
八、五〇	一七、63	八、六〇	四、240	八、五〇	一七、40	八、五〇	一三、〇一〇
八、五三	一七、73	八、六五	四、252	八、五三	一七、49	八、五三	一三、〇一〇
八、六〇	一七、82	八、七〇	四、265	八、六〇	一七、58	八、六〇	一三、〇一〇
八、六三	一七、92	八、七五	四、277	八、六三	一七、67	八、六三	一三、〇一〇
八、七〇	一八、〇1	八、八〇	四、290	八、七〇	一七、76	八、七〇	一三、〇一〇
八、七三	一八、11	八、八五	四、302	八、七三	一七、85	八、七三	一三、〇一〇
八、八〇	一八、20	八、九〇	四、315	八、八〇	一七、94	八、八〇	一三、〇一〇
八、八三	一八、30	八、九五	四、327	八、八三	一八、〇3	八、八三	一三、〇一〇
八、九〇	一八、39	九、〇〇	四、340	八、九〇	一八、12	八、九〇	一三、〇一〇
八、九三	一八、49	九、〇五	四、352	八、九三	一八、21	八、九三	一三、〇一〇
九、〇〇	一八、58	九、一〇	四、365	九、〇〇	一八、30	九、〇〇	一三、〇一〇
九、〇三	一八、68	九、一五	四、377	九、〇三	一八、39	九、〇三	一三、〇一〇
九、一〇	一八、77	九、二〇	四、390	九、一〇	一八、48	九、一〇	一三、〇一〇
九、一三	一八、87	九、二五	四、402	九、一三	一八、57	九、一三	一三、〇一〇
九、二〇	一八、96	九、三〇	四、415	九、二〇	一八、66	九、二〇	一三、〇一〇
九、二三	一九、〇6	九、三五	四、427	九、二三	一八、75	九、二三	一三、〇一〇
九、三〇	一九、15	九、四〇	四、440	九、三〇	一八、84	九、三〇	一三、〇一〇
九、三三	一九、25	九、四五	四、452	九、三三	一八、93	九、三三	一三、〇一〇
九、四〇	一九、34	九、五〇	四、465	九、四〇	一九、〇2	九、四〇	一三、〇一〇
九、四三	一九、44	九、五五	四、477	九、四三	一九、11	九、四三	一三、〇一〇
九、五〇	一九、53	九、六〇	四、490	九、五〇	一九、20	九、五〇	一三、〇一〇
九、五三	一九、63	九、六五	四、502	九、五三	一九、29	九、五三	一三、〇一〇
九、六〇	一九、72	九、七〇	四、515	九、六〇	一九、38	九、六〇	一三、〇一〇
九、六三	一九、82	九、七五	四、527	九、六三	一九、47	九、六三	一三、〇一〇
九、七〇	一九、91	九、八〇	四、540	九、七〇	一九、56	九、七〇	一三、〇一〇
九、七三	二〇、〇1	九、八五	四、552	九、七三	一九、65	九、七三	一三、〇一〇
九、八〇	二〇、10	九、九〇	四、565	九、八〇	一九、74	九、八〇	一三、〇一〇
九、八三	二〇、20	九、九五	四、577	九、八三	一九、83	九、八三	一三、〇一〇
九、九〇	二〇、29	一〇、〇〇	四、590	九、九〇	一九、92	九、九〇	一三、〇一〇
九、九三	二〇、39	一〇、〇五	四、602	九、九三	二〇、〇1	九、九三	一三、〇一〇
一〇、〇〇	二〇、48	一〇、一〇	四、615	一〇、〇〇	二〇、10	一〇、〇〇	一三、〇一〇
一〇、〇三	二〇、58	一〇、一五	四、627	一〇、〇三	二〇、19	一〇、〇三	一三、〇一〇
一〇、一〇	二〇、67	一〇、二〇	四、640	一〇、一〇	二〇、28	一〇、一〇	一三、〇一〇
一〇、一三	二〇、77	一〇、二五	四、652	一〇、一三	二〇、37	一〇、一三	一三、〇一〇
一〇、二〇	二〇、86	一〇、三〇	四、665	一〇、二〇	二〇、46	一〇、二〇	一三、〇一〇
一〇、二三	二〇、96	一〇、三五	四、677	一〇、二三	二〇、55	一〇、二三	一三、〇一〇
一〇、三〇	二一、〇5	一〇、四〇	四、690	一〇、三〇	二〇、64	一〇、三〇	一三、〇一〇
一〇、三三	二一、15	一〇、四五	四、702	一〇、三三	二〇、73	一〇、三三	一三、〇一〇
一〇、四〇	二一、24	一〇、五〇	四、715	一〇、四〇	二〇、82	一〇、四〇	一三、〇一〇
一〇、四三	二一、34	一〇、五五	四、727	一〇、四三	二〇、91	一〇、四三	一三、〇一〇
一〇、五〇	二一、43	一〇、六〇	四、740	一〇、五〇	二一、〇0	一〇、五〇	一三、〇一〇
一〇、五三	二一、53	一〇、六五	四、752	一〇、五三	二一、〇9	一〇、五三	一三、〇一〇
一〇、六〇	二一、62	一〇、七〇	四、765	一〇、六〇	二一、18	一〇、六〇	一三、〇一〇
一〇、六三	二一、72	一〇、七五	四、777	一〇、六三	二一、27	一〇、六三	一三、〇一〇
一〇、七〇	二一、81	一〇、八〇	四、790	一〇、七〇	二一、36	一〇、七〇	一三、〇一〇
一〇、七三	二一、91	一〇、八五	四、802	一〇、七三	二一、45	一〇、七三	一三、〇一〇
一〇、八〇	二二、00	一〇、九〇	四、815	一〇、八〇	二一、54	一〇、八〇	一三、〇一〇
一〇、八三	二二、10	一〇、九五	四、827	一〇、八三	二一、63	一〇、八三	一三、〇一〇
一〇、九〇	二二、19	一〇、一〇〇	四、840	一〇、九〇	二一、72	一〇、九〇	一三、〇一〇
一〇、九三	二二、29	一〇、一〇五	四、852	一〇、九三	二一、81	一〇、九三	一三、〇一〇
一一、〇〇	二二、38	一〇、一〇〇	四、865	一一、〇〇	二一、90	一一、〇〇	一三、〇一〇
一一、〇三	二二、48	一〇、一〇五	四、877	一一、〇三	二二、00	一一、〇三	一三、〇一〇
一一、一〇	二二、57	一〇、一〇〇	四、890	一一、一〇	二二、09	一一、一〇	一三、〇一〇
一一、一三	二二、67	一〇、一〇五	四、902	一一、一三	二二、18	一一、一三	一三、〇一〇
一一、二〇	二二、76	一〇、一〇〇	四、915	一一、二〇	二二、27	一一、二〇	一三、〇一〇

ハ、紙面ト眼トノ距離ヲ大凡一尺以上保タセ、且讀書ノ際ハ書物ヲ机ノ水平面上約四十五度ノ角度ニアルニ注意シナケレハナラヌ

總テ讀物ハ文字ノ大イサカ適當テ、色、形等モ明瞭ナモノヲ擇フヘキテアル

歩行中又ハ電車、汽車、人力車等ノ動搖スル處テ讀書スルコトハ避ケナケレハナラヌ

筆記帳等ニ書ク文字カアマリ小サ過キルカ、又ハ明瞭ナインハ甚ダシク有害ナモノテアルカラ、努メテ之

ヲ避ケナケレハナラヌ。殊ニ鉛筆ヲ細ク削ツテ、非常ニ細カナ文字ヲ書ク様ナコトハ最モ注意スヘキテアル

圖書、手工、裁縫等ハ年少者ニ對シテ過度ニ緻密ナモノヲ課シテハナラヌ

四、黑板、圖表等ニ關スル件

黑板及圖表等ノ文字ハ、其ノ色カ鮮明テ且大キイカ宜シイ、黑板又ハ圖表ハ光線反射ノ關係上光ツテ見難イ

コトカアルカラ、適當ナ方法テ不良ナ反射ヲ避ケル様ニシナケレハナラヌ。殊ニ夜間ハ一層此ノ關係ニ注意

シ、且眼ト黑板又ハ圖表ノ間ニアル光源ノ輝閃ニ依ツテ視覺ヲ妨ケナイ様ニスヘキテアル

黑板ノ色ハ常ニ黒クナケレハナラヌ。故ニ時々塗替ヘルコトカ必要テアル

五、服裝ニ關スル件

服裝特ニ頸部ニ於ケルモノニ、窮屈ナモノヲ用ヒルトキハ頸部ヲ壓迫シテ頸部ニ鬱血ヲ來シ、延イテ近視ノ

原因トナルコトカアルカラ、常ニ寛カナモノヲ用ヒル様注意ヲ要スル

六、眼ノ疲勞ニ關スル件

眼ノ疲勞ハ近視ノ原因トナルモノテ、長時間ニ亙ツテ微小ナ文字ヲ讀ミ、或ハ精細ナ作業ヲスレハ、眼ノ疲

勞ヲ來スモノテアル。故ニ學校ニアルト家庭ニアルトテ間ハス、斯様ナ場合ニハ時々作業ヲ變更シ、又ハ眼

七、身体検査ニ關スル件

身体検査ノ際近視者ヲ發見シタ場合ニハ、常人ハ勿論、教師又ハ家庭ニモ適當ナ注意ヲ與ヘ、其ノ後モ絶エ

ス其ノ増悪ヲ防クコトニ力ヲナケレハナラヌ

八、眼鏡ニ關スル件

眼鏡ヲ要スル場合ニハ必ス醫師ノ指圖ニ從ツテ適當ナモノヲ使用スヘキテアル。蓋リニ自分ヲ選擇シテ使用

スルコトハ斷シテ善クナイ

九、座席ニ關スル件

近視眼テ特ニ必要アル者ニハ座席ヲ黑板ノ近クニ設ケテ、視力ノ不十分ナトコロヲ成ルヘク補足シテアル様

ニスヘキテアル

十、近視ニ關スル知識ヲ授ケル件

兒童生徒及其ノ父兄ニ對シテ、種々ノ機會ニ近視ノ弊害原因並其ノ豫防ノ方法等ニ關スル知識ヲ授ケテ各自

自衛的ニ之ヲ豫防スル機ニ努メサセナケレハナラヌ

十一、遺傳的素質ニ關スル件

近視者ノ子孫ハ近視ニ罹リ易イ遺傳的素質ヲ享ケテ居ルコトカアルカラ、血族中ニ近視者ノアル者ハ特ニ前

記ノ諸項ニ注意スルコトカ必要テアル

○紫色鉛筆ノ使用禁止及注意ノ件

文訓八明三七、八

學生生徒ノ使用スル「コピールピオレット」「リラビチレット」「ヨハン、コピール」「ハ、ツエ、クルツ、コピール」等ノ記號アル紫色鉛筆ハ其ノ製造ノ原料ニ有害ノ色素ヲ包含スルカ故ニ其ノ破片又ハ溶液ノ眼中ニ入ルトキハ激烈ナル毒作用ヲ呈シ竟ニ不治ノ眼疾ニ陥ルコトアリ仍テ幼稚園及小學校等ノ兒童ニハ之カ使用ヲ禁止シ其ノ他ノ學校ノ學生生徒ニ在リテハ必要缺クヘカラサル場合ニ限り之ヲ使用セシムルコトヲ得ルト雖其使用上ニ周密ノ注意ヲ爲サシムヘシ

○公立學校ニ學校醫ヲ置クノ件

勅令二(明三一、一)

公立學校ニ學校醫ヲ置クノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 北海道廳府縣郡市町村ノ設置ニ係ル學校ニ學校醫ヲ置ク

地方長官ハ特別ノ事情アルトキハ村立學校及人口五千未満ノ町立學校ニハ當分ノ内學校醫ヲ置カサルコトヲ得

第二條 學校醫ハ地方長官之ヲ囑託ス

第三條 學校衛生事務ニ關シ學校醫ハ地方長官郡市町村長ノ諮詢ニ應ジテ意見ヲ述フヘク又之ニ建議スルコトヲ得

第四條 學校醫ニハ其ノ學校經費ヨリ相當ノ手當ヲ給スヘシ

第五條 學校醫ノ囑託執務及其ノ他ニ關シ必要ナル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

附 則

第六條 本令ニ於テハ北海道沖繩縣ノ區ノ設置ニ係ル學校ハ町立學校ト同視シ沖繩縣ノ間切及島ノ設置ニ係ル學校ハ村立學校ト同視ス

第七條 市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ本令中市町村長ニ關スル規定ハ島司郡長(北海道ニ在テハ支廳長)區長月長又ハ之ニ準スヘキモノニ適用ス

第八條 本令ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

○學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程

文省七(大九、三)

第一條 學校醫ハ醫師法ニ依ル醫師タルヘシ

第二條 學校醫ハ少クトモ毎月二回教授時間内ニ於テ其ノ担当學校ニ到リ左ノ事項ヲ調査スヘシ但シ必要ニ應シ調査事項ノ取捨ヲ行フコトヲ得

一、校地、建物並設備ノ衛生ニ關スル事項

二、校具ノ衛生ニ關スル事項

三、教授衛生ニ關スル事項

四、運動ニ關スル事項

五、職員生徒兒童ノ健康狀態

學校衛生

- 六、病者、虛弱者、精神薄弱者等ノ監督養護ニ關スル事項
 - 七、清潔ニ關スル事項
 - 八、飲料水及飲食物ニ關スル事項
 - 九、其ノ他衛生上必要ナル事項
- 臨時必要アル場合ニ於テ學校醫ハ管理者又ハ學校長ノ請求ニ依リ特ニ前項各號ノ全部又ハ一部ニ就キ調査スヘシ
- 第三條 學校醫ハ生徒兒童中病者、虛弱者、精神薄弱者ヲ發見シ若ハ學校長其ノ他ノ職員ヨリ之ニ關スル通知アリタルトキハ其ノ狀況ニ依リ一科目若ハ數科目ノ授業免除、就學猶豫、就學免除、休學、退學、又ハ治療保護矯正等ヲ要スヘキコトヲ學校ニ申告スヘシ
 - 前項ノ異狀アル生徒兒童中就學猶豫、就學免除、休學、退學等ヲ要セサル者ニ對シ學校醫ハ繼續的ニ之ヲ監察スヘシ
 - 第四條 學校醫ハ學校職員中學校衛生上注意ヲ要スル者ヲ發見シタルトキハ之ニ關シ必要ナル事項ヲ學校長ニ申告スヘシ
 - 第五條 學校醫ハ學生生徒及幼兒身體檢査規程ニ依リ生徒兒童ノ身體檢査ヲ爲スヘシ
 - 第六條 學校醫ハ學校傳染病豫防規程ニ依リ學校傳染病豫防ニ關スル事務ニ從事シ同規程第六條乃至第八條ノ場合ニ於テハ必要ナル事項ヲ學校ニ申告スヘシ

- 第七條 學校醫ハ第三條第四條及第六條ニ掲ケタル場合ノ外學校衛生上必要ト認メタル事項ニ就キ管理者又ハ學校長ニ申告スヘシ
- 第八條 學校醫ハ學校衛生ニ關シ學校長ノ諮問ニ應シテ意見ヲ述フヘシ
- 第九條 學校醫ハ學校長ノ請求ニ應シ生徒兒童又ハ其ノ保護者等ニ對シテ衛生ニ關スル講話ヲナスヘシ
- 第十條 學校醫ハ其ノ調査シタル事項、執務ノ狀況、申告若ハ建議セル事項ニ就キ其ノ大要ヲ學校醫執務日誌ニ記入シ其ノ都度學校長ニ提出スヘシ
- 第十一條 學校醫ハ本令ニ掲ケルモノノ外地方長官ノ命ヲ承ケ學校衛生ニ關スル職務ニ從事スヘシ
- 第十二條 本令ニ關シ必要ナル規則ハ地方長官ニテ定ムルコトヲ得

○學校醫囑託職務取扱手續並諸給與支給規程

縣訓一〇(大九、三)

- 第一條 縣都市町村立學校醫囑託ニ就テハ都市長又ハ縣立學校長ニ於テ左ノ事項ヲ知事ニ具申スヘシ
 - 一、現住所氏名
 - 二、學校名生徒兒童數
 - 三、手當年額
- 郡市町村立學校醫ノ手當金額ニ就テハ郡長ハ町村長ノ意見ヲ聞クヲ要ス
- 四、學業業務賞罰ノ履歷書

學校衛生

四〇六

- 現ニ學校醫ノ職ニ在ル者ニ囑託セムトスルトキハ本號ノ書類添付ヲ要セス
- 第二條 學校醫ハ四校以上ニ涉リ勤務スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ郡市長又ハ縣立學校長ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第三條 村立學校及人口五千未満ノ町立學校ニシテ學校醫ヲ置キ難キ特別ノ事情アル場合ニ於テハ町村長ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第四條 學校醫辭職ヲ願出タルトキ又ハ病氣其ノ他職務ニ堪ヘ難キ事故ヲ生シタルトキハ郡市長又ハ縣立學校長ニ於テ其ノ事由ヲ知事ニ具申シ死亡シタルトキハ報告スヘシ
- 第五條 學生生徒身體檢査規程ニヨリ調製シタル身體檢査統計表ハ學校長ニ於テ檢査施行ノ翌月十日限り知事ニ報告スヘシ
- 第六條 學校醫ハ學校醫資格及職務ニ關スル規程ニ依リ學校醫執務日誌ニ記入シ郡度學校長ニ提出シ認印ヲ受クヘシ
- 第七條 學校醫ノ手當金額ハ左表ニ依ル

在籍生徒又ハ兒童數	三百人未満	三百人以上	五百人以上	八百人以上	千二百人以上
支給年額	參拾圓以上	五拾圓以上	七拾圓以上	百圓以上	百四拾圓以上

專任學校醫ヲ置ク場合ニ在リテハ前表ニ依ラサルコトヲ得

第八條 學校醫ニシテ二校ニ勤務スル場合ニ在リテハ其ノ三分ノ二迄減スルコトヲ得

第九條 學校醫ノ手當金額ハ十二分シ毎月之ヲ支給スヘシ但シ年二回又ハ三回ニ分チ分割支給スルコトヲ得

第十條 學校醫ニハ左表ニ依リ旅費ヲ支給スヘシ

鐵道賃一哩ニ付	船賃一海里ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一夜ニ付	日當一日ニ付	食卓料一夜ニ付
四錢五厘	六錢	四拾錢	貳圓	壹圓五拾錢	壹圓五拾錢

一校以上ニ勤務スル學校醫ニシテ共通ノ用務ニ依リ出張スル場合ニ於テハ旅費ヲ分割支給スルコトヲ得

第十一條 學校醫ノ手當及旅費支給方法ニ關シテハ小學校令及小學校令施行規則中ノ市町村立小學校教員旅費及諸給與ニ關スル規程ヲ準用ス

○種痘法 (抄録) 法律三五(明四二、四)

- 第一條 種痘ハ左ノ定期ニ於テ之ヲ行フ但シ病者ヲ經過シタル者ニ付テハ此ノ限ニアラス
- 一、第一期 出生ヨリ翌年六月ニ至ル間但シ不善感ナルトキハ翌年六月ニ至ル間ニ於テ更ニ種痘ヲ行フヘシ
- 學校衛生

四〇七

- 二、第二期 數ハ歳十歳但シ不善感ナル時ハ翌年十二月ニ至ル間ニ於テ更ニ種痘ヲ行フヘシ
定期前二年以内ニ善感シタル種痘ハ第二期ノ種痘ト看做ス
- 第二條 保護者ハ未成年者ヲシテ種痘ヲ受ケシムル義務ヲ負フ
- 第三條 左ニ掲クル者ハ未成年ノ生徒院生若ハ之ニ準スヘキ者又ハ未成年ノ寄寓者ヲシテ種痘ヲ受ケシメ又ハ保護者ヲシテ其ノ義務ヲ履行セシムヘシ
 - 一、學校育兒院又ハ之ニ準スヘキ場所ノ校長院長其ノ他首長
 - 二、教育監護又ハ備使ノ目的ヲ以テ人ヲ寄寓セシムル者
- 前項各号ニ掲クル者ノ法定代理人アルトキハ法定代理人ニ前項ノ規定ヲ適用ス
- 第五條 市町村ハ種痘ヲ施行スヘシ
- 第六條 市町村長ハ種痘定期ニ在ル者ノ種痘期日ヲ指定スヘシ
- 第七條 疾病其他ノ事故ニヨリテ市町村長ノ指定シタル期日ニ種痘ヲ受ケシムルコト能ハサル場合ニ於テハ保護者又ハ第三條ノ義務者ハ其事由ヲ具シ市町村長ニ猶豫ヲ申請スルコトヲ得
- 前項ニ依リ種痘ヲ猶豫シタルトキハ市町村長ハ其証ヲ交附スヘシ
- 第十一條 第五條ノ種痘ヲ受ケタル者ノ保護者又ハ第三條ノ義務者ハ市町村長ノ指定シタル期日ニ於テ檢診ヲ受ケシムヘシ但シ其期日ニ檢診ヲ受ケシムルコト能ハサル事由アルトキハ市町村長ニ届出ヘシ
- 市町村長ハ前項ノ檢診ヲ經タル者ニ種痘済証ヲ交附スヘシ
- 第十二條 醫師定期種痘ヲ施シタル者ヲ檢診シタルトキハ種痘証ヲ交附スヘシ

- 前項ノ場合ニ於テ種痘証ヲ受ケタル者ノ保護者又ハ第三條ノ義務者ハ十日以内ニ市町村長ニ届出タヘシ
- 第十四條 當該吏員ノ請求 ルトキハ保護者又ハ第三條ノ義務者ハ種痘済証又ハ種痘証ヲ揭示セシムヘシ但シ命令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十七條 左ニ掲クル者ハ科料ニ處ス
 - 一、第四條又ハ第十一條一項ニ違反シタル者
 - 二、保護者又ハ第三條ノ義務者ニシテ市町村長ノ指定シタル期日迄ニ種痘ヲ受ケシメサル者
- 第十八條 第十二條又ハ第十四條ニ違反シタル者ハ拾圓以下ノ科料ニ處ス
- 第十九條 官廳公署及官立公立ノ學校等ニ於テハ第三條第一項及第四條第一項乃至第三項ノ規定ニ準シ其ノ措置ヲ爲スヘシ

○種痘法施行規則 (抄録) 内省二六(明四二、一二)

- 第一條 市町村長ハ毎年三月ヨリ六月ニ至ル間ニ於テ現住人中左記各号ニ該當スル者ノ種痘期日ヲ指定スヘシ
 - 一、前年中出生ノ者
 - 二、數ハ歳十歳ノ者
 - 三、前年ノ定期種痘不善感ノ爲更ニ種痘ヲ要スル者
- 第二條 市町村長ハ市町村ニ於テ施行スル種痘ノ場所ヲ公告スヘシ
- 第三條 保護者又ハ種痘法第三條ノ義務者ハ種痘定期ニ在ル未成年者ヲシテ第一條ノ期日迄ニ醫師ニ就キ又ハ前

條ノ種痘所ニ於テ種痘ヲ受ケシムヘシ

第五條ノ二種痘ヲ猶豫セラレタル者ノ保護者又種痘法三條ノ義務者ハ事故ノ消滅シ又ハ猶豫期間ノ經過シタル日ヨリ三十日以内ニ種痘ヲ受ケシムヘシ

第七條 檢診期日ハ種痘ヲ施シタル日ヨリ第六日乃至八日ノ間ニ於テ之ヲ指定スヘシ

第十二條 種痘法第十四條ニ依リ警察官吏又ハ市町村吏員ノ請求アル場合ニ於テ左記各號ノ一ニ依リ種痘ヲ完了シ又ハ之ヲ要求セサルコトヲ証明スル者ハ種痘済証又ハ種痘証ヲ揭示スルコトヲ要セス

- 一、種痘經過証
- 二、種痘猶豫証

三、小學校、之ニ類スル各種學校又ハ幼稚園ノ卒業証書修業証書又ハ保育証書ニ種痘ニ關スル事項ヲ記入シタルモノ

○學校「トラホーム」檢診成績及治療成績表ノ件

第九七三九號 警察部長 訓課(昭二、二二、一二)

學校管理 者宛

標記成績表ニ關シテハ大正十年一月岡山縣令第三號「トラホーム」豫防法施行細則第五條ニ依リ毎年四月ヨリ六月迄ノ期間内ニ於テ檢診ヲ施行シ檢診成績ハ第三號様式ニ依リ十日以内ニ其ノ治療成績ハ第四號様式ニ依リ翌年

一月二十日迄ニ各成績表ヲ調製シ報告可相成管ナルモ從來報告ノ各成績表ヲ觀ルニ往々此ノ規程ヲ遵守セサル向有之支障不勝候條今後該表報告期日ニ付特ニ御留意相成度此段及通牒候也

○學生生徒兒童身體檢查規程中並同上發育概評決定

標準中改正ニ關スル件 教第六四〇號學務部長通牒(昭二、三、三〇)

男女兩師範學校校長
 公立中等學校校長
 私立支應學校校長
 岡山縣立市立學校校長
 實業補習學校校長
 小學校校長
 (阿哲支應及岡山市管内ヲ除ク)

左記

今般文部省令第三號並文部省訓令第二號ヲ以テ學生生徒兒童身體檢查規程中並全上發育概評決定標準中改正相成候處右實施ニ關シテハ左記ニ御留意相成度右及通牒候也

- 一、被檢者ノ身長及體重ノ表記ニハ四捨五入法ヲ用フルモノナルモ發育概評決定ノ際ニ於ケル被檢者ノ身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ハ、其ノ算出ニ四捨五入法ヲ用ヒサルモノナルヲ以テ小數第四位ニ於テ五以上ノ數ヲ有シ四捨五入法ニ依レハ標準數ニ達スルカ如キ場合ニ於テモ之ヲ標準ニ充タサルモノト判定スヘキコト
- 一、發育概評ノ決定ニ際シ早見表ヲ使用スル場合ニハ今般改正セラレタル標準ニ依リ作製シタルモノニ依ルヘ

ク其ノ作製ニハ訓令改正ノ趣旨ニ從ヒ充分正確ヲ期シ從來使用シタル尺貫法ノ早見表ヲ單ニメートル法ニ換算シタルモノニ依ラサルコト

一、今般ノ訓令發布以前ニ改正發育概評決定標準ナリトシテ世上ニ傳ヘラレタルモノノ中ニハ數字等ニ相違ノ点少ナカラサルヲ以テ之カ爲メ發育概評ノ決定早見表ノ作製等ニ際シテハ誤ヲ來ササル様注意スルコト
一、學生生徒兒童身体檢査統計表用紙ハ從來使用セサルモノモ其ノ大サ新規程ノモノト大差ナキ限リ殘部ハ之ヲ使用スルモ差支ナキコト

第十一編 社會教育

○青年訓練所令 勅令七〇(大一五、四)

- 第一條 青年訓練所ハ青年ノ心身ヲ鍛練シテ國民タルノ資質ヲ向上セシムルヲ以テ目的トス
 - 第二條 青年訓練所ニ於テ訓練ヲ受クルコトヲ得ル者ハ概ネ十六歳ヨリ二十歳迄ノ男子トス
 - 第三條 市町村、市町村學校組合及町村學校組合ハ青年訓練所ヲ設置スルコトヲ得
 - 第四條 私人ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ青年訓練所ヲ設置スルコトヲ得
 - 第五條 青年訓練所ノ訓練項目ハ修身及公民科、政練、普通學科、職業科トス
- 普通學科及職業科ノ科目ハ文部大臣之ヲ定ム

特別ノ事情アル者ニハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ訓練項目ノ一部ヲ課セサルコトヲ得

第六條 青年訓練所ニ主事及指導員ヲ置ク

第七條 青年訓練所ニ於テハ訓練ヲ受クル者ヨリ費用ヲ徵收スルコトヲ得ス但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 青年訓練所ハ地方長官之ヲ監督ス

第九條 青年訓練所ノ設置廢止、訓練ノ課程其ノ他必要ナル事項ハ文部大臣之ヲ定ム

○青年訓練所ニ於ケル教練查閱ニ關スル件 勅令七八(大一五、四)

陸軍大臣ハ現役將校ヲシテ青年訓練所令ニ依リ設置シタル青年訓練所ニ於ケル教練ヲ查閱セシムルコトヲ得

○青年訓練所規程 文省一六(大一五、四)

- 第一條 青年訓練所ノ訓練期間ハ四年トス
- 第二條 青年訓練所ニ入所スルコトヲ得ル者ハ其ノ年三月三十一日ニ於テ十六歳以上十七歳未滿ノ者トス但シ特別ノ事情アル者ハ十七歳以上ニシテ入所スルコトヲ得
- 第三條 青年訓練所ノ入所期ハ毎年四月トス但シ特別ノ事情アル者ハ中途之ヲ入所セシムルコトヲ得
- 第四條 青年訓練所ノ訓練項目中普通學科並職業科ノ科目及其ノ程度ハ高等小學校ノ程度ヲ基準トシ地方ノ情況

ニ應シ實際生活ニ適切ナル事項ヲ選ヒテ之ヲ授クルモノトス

第五條 青年訓練所ノ訓練時數ハ四年ヲ通シテ修身及公民科百時、教練四百時、普通學科二百時、職業科百時ヲ下ラサルモノトス

第六條 市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ區域内ニ於テ青年訓練ヲ受クルコトヲ得ル者概シテ其ノ區域内ノ公立實業補習學校ニ在學シ且地方長官ニ於テ當該實業補習學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムル場合ハ當該實業補習學校ヲ以テ青年訓練所ニ充ツルコトヲ得

第七條 現ニ學校ニ在學スル者若ハ相當ノ學力アリト認メラレタル者又ハ特別ノ事由アル者ニ對シテハ一部ノ訓練項目ヲ課セサルコトヲ得

第八條 現ニ學校ニ在學シ地方長官ニ於テ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ修ムル者ハ之ヲ青年訓練所ノ訓練ヲ受クル者ト看做ス

第九條 公立青年訓練所ハ當該市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ區域内ニ居住スル者ヲ入所セシムルヲ常例トス

第十條 公立青年訓練所ハ實業補習學校又ハ小學校ニ併置スルヲ常例トス

第十一條 青年訓練所ノ訓練ハ十地ノ情況ニ應シ適當ナル季節ヲ選ヒテ之ヲ行フコトヲ得

第十二條 私人工場、鑛山、商店等ニ於テ青年訓練ヲ受クルコトヲ得ル者ヲ多數ニ使傭スル場合ニ限り青年訓練所ヲ設置スルコトヲ得

第十三條 青年訓練所ヲ設置セムトスルトキハ左記事項ヲ具シ公立青年訓練所ニ在リテハ管理者ニ於テ、私立青年訓練所ニ在リテハ其ノ設立者ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

一、名稱

二、位置

三、規則

四、青年訓練ヲ受クル者ノ概數

五、開設年月日

六、經費及維持ノ方法

前項第一號乃至第三號ノ變更ハ地方長官ニ開申スヘシ

第十四條 青年訓練所ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 青年訓練所ノ主事ハ所務ヲ掌理シ指導員ハ主事ノ指揮ヲ受ケ訓練ヲ擔當ス

第十六條 公立青年訓練所ノ主事ハ實業補習學校長又ハ小學校長ニ、指導員ハ實業補習學校又ハ小學校ノ教員、在郷軍人其ノ他適當ト認メタル者ニ地方長官之ヲ囑託ス

公立青年訓練所ノ主事及指導員ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

私立青年訓練所ノ主事及指導員ハ設立者ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第十七條 青年訓練所ハ別表ノ様式ニ依リ青年訓練名簿ヲ調製スヘシ

○青年訓練ノ要旨及實施上ノ注意事項

文訓八(六一五、四)

今回勅令第七十號ヲ以テ青年訓練所令ヲ公布セラレ文部省令第十六號ヲ以テ青年訓練所規程ヲ定メタリ仍テ茲ニ其ノ要旨ヲ明ニシ且之カ實施上ニ必要ナル事項ヲ舉示セムトス

青年ノ心身ヲ鍛鍊シテ健全ナル國民善良ナル公民タルノ資質ヲ涵養スルハ我カ國內外ノ情勢ニ鑑ミ頗ル緊切ナル事覺ユ然ルニ現下青年教育ノ施設ハ逐年發達ノ趨勢ニアリト雖尙未ダ十分ナラサルモノアリコレ今回青年訓練所ノ制定ノ一般青年ニ對シテ適切ナル訓練ヲ行ハムトスル所以ナリ而モ本訓練ノ結果ハ兵役ニ服スル者ニ對シ在營年限ノ短縮ヲ伴フカ故ニ其ノ國家産業ノ進展ニ及ホスヘキ效果モ亦頗ル大ナルモノアルヘシ

本訓練ノ期間ヲ四年トシ前年十一月末日ニ於テ十六歳以上十七歳未満ノ者ヲ毎年一月青年訓練所ニ入所セシムル事以テ常例トシタルハ青年修養上最重要ナル時期ヲ稽ヘ且本訓練ヲ受ケタル者ノ入營期ヲ順應シタルニ由ル隨ツテ中途入所スル者ニ就キテハ其ノ事情ヲ精査シ以テ本施設ノ趣旨ヲ棄ルカ如キ弊ニ陥ルコトナキヲ要ス

青年訓練所ノ訓練項目ニ關シテハ別ニ其ノ要旨等ヲ明ニスヘシ之カ用ニ就キテハ深ク本施設ノ目的ニ鑑ミ徒ニ專門的知識ヲ與ヘムトスルカ如キ弊ニ陥ルコトナク且各項目相互ノ聯絡ニ力ヲ以テ訓練ノ效果ヲ完ウセシムルコトヲ要ス

訓練ノ時期ニ關シテハ青年ノ生業ヲ妨ケサルコトヲ期シ適當ノ季節ヲ選ヒテ之ヲ行ハシムヘシ而モ本施設ハ四年中通過シテ持續的ニ青年ノ心身ヲ鍛鍊スルヲ要旨トスルカ故ニ全課程ヲ一時ニ壓縮シテ之ヲ授クカ如キコトナキヲ要スルヲ旨ヲ俟タス

訓練ヲ受クル者ニシテ相當ノ素養アルモノ等ニ對シ一部ノ項目ヲ免除スルノ途ヲ開キタル青年訓練ヲ受クルコトヲ得ル者ニシテ或ハ中等教育ノ修了者又ハ中途退學者ノ如キ或ハ實業補習教育ヲ受ケタル者ノ如キ更ニ本施設ニ於ケル全部ノ項目ヲ授クルヲ要セサル者アルカ故ナリ而モ修身及公民科並教練ハ本施設ノ目的ニ鑑ミ他ノ項目ト同一ニ取扱フヘキモノニアラサルヲ以テ特定ムル場合ノ外ハ之ヲ缺クコトナカルヘシ項目免除ノ程度ニ關シテモ亦別ニ指示スル所アルヘシト雖之カ運用ニ就キテハ本施設ノ趣旨ニ留意シ苟モ訓練ノ效果ヲ減殺スルカ如キコトナキヲ期セシムヘシ

本施設ト實業補習學校トノ關係ニ就キテハ本施設ハ大體ニ於テ實業補習學校前期ヲ修了シタル者又ハ高等小學校ヲ卒業シタル者ニ對シ更ニ適當ノ訓練ヲ行ヒ實業補習學校ノ後期以上ノ課程ヲ修メタル者ニハ一部ノ課程ハ之ヲ缺クヲ得セシムルコトトシ殊ニ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ區域内ニ於テ青年訓練ヲ受クルコトヲ得ル者概ネ其ノ區域内ノ公立實業補習學校ニ在學シ且當該學校ノ課程ニシテ青年訓練所ノ課程ト同等以上ナル場合ハ當該學校ハ之ヲ以テ青年訓練所ニ充ツルコトヲ得シメ又現ニ學校ニ在學シ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ修ムル者ハ之ヲ青年訓練所ノ訓練ヲ受クル者ト看做スコトトナシタルカ故ニ本施設ハ寧ろ實業補習教育ヲ補充促進スヘキモノタリサレハ兩者ハ相俟テ十分ノ效果ヲ收メムコトヲ期スヘク尙義務教育終了者ニ對シテハ成ルヘク高等小學校又ハ實業補習學校等ニ入學スルコトヲ獎勵シ以テ本施設ノ趣旨ヲ達成セシムルコトニ力ムヘシ

本施設ト青年團トノ關係ニ就キテハ青年訓練ヲ受クル者ノ多數ハ青年團員タルヘキヲ以テ本施設ハ青年團ノ修養機關ノ一トアシ相互ノ聯絡ヲ密接ナラシメ以テ兩者ノ圓滿ナル調和的發達ヲ期スヘシ

本施設ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ於テ之ヲ爲スル本旨トスルモノニシテ私人ニ對シ之カ施設

ノ途ヲ開キタルハ工場、礦山、商店等ニ於テ多岐ニ青年ヲ使備スル場合ニ限リ其ノ特例ヲ認メテニ過キヌカ
 ハ私人ノ施設ヲ認ムル場合ニ於テハ此ノ趣旨ニ願ミ取扱上遺憾ナキヲ期スヘシ
 本施設ニ對スル市町村長、主事、指導員ノ相互ノ關係ニ就キテハ市町村長ハ本施設ノ全般ヲ管理シ主事ハ青年訓
 練所ノ所務ヲ掌理シ指導員ハ其ノ指揮ノ下ニ訓練ヲ擔當スルモノナルヲ以テ其ノ任ニ當ル者ハ學校教員タルト否
 トキ同ハス等シク主事ノ命ヲ承ケ其ノ任務ニ服シ苟モ規律ヲ棄シ統一ヲ缺ツカ如キコトナカラシムヘシ
 青年訓練所ニ青年訓練名簿及出席簿ヲ備付ケシメ青年各自ニ手帳ヲ所持セシムルコトヲシタルハ本施設ノ特質ニ
 鑑ミ平素ノ訓練ヲ督勵シ其ノ功程ヲ明ニセシムコトヲ期シタルニ依ルサレハ之ニ關スル事務ハ此ノ趣旨ニ對シ遺
 漏ナカラシムコトヲ期スヘシ
 本施設ハ市町村等ニ之ヲ強制スルノ趣旨ニアラスト雖之カ實施ハ時勢ノ實情ニ鑑ミ正ニ喫緊ノ事タルヲ以テ事情
 ノ許ス限リ進メテ之カ普及發達ニ力ムヘク又青年ヲシテ不斷ニ其ノ修養ヲ勵ミ心身ヲ鍛鍊スルノ最要切ナルヲ思
 ヒ自ラ進メテ訓練所ニ入所セシムルノ風ヲ馴致スルト共ニ或ハ青年團ノ後援ニ依リ或ハ青年使備者等ノ協力ニ俟
 チ以テ其ノ徹底ヲ期スヘシ
 本施設ハ創始ノモノタルヲ以テ今後之カ發達ノ基礎ヲ鞏固ニシ所期ノ效果ヲ收メムカ爲ニハ地方ノ事情ニ應ジ各
 般ノ事ニ互リ細心ノ留意ヲ要スヘシ就中市町村長、主事、指導員其ノ他地方一般ヲシテ本施設ノ趣旨ヲ諒知セシ
 メ協同一致以テ之カ完成ニ力メシムコトヲ要ス
 以上ハ今回實施セムトスル青年訓練ノ施設上必要ナル事項ヲ指示シタルモノナリ地方長官ハ克ク此ノ本旨ヲ諒知
 シ本施設ノ實績ヲ收メムカ爲ニ遺算ナカラムコトヲ期セラルヘシ

○青年訓練所訓練要旨 文訓一四(六一五、五)

修身及公民科

修身及公民科ハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ニ基キテ道德上ノ思想及情操ヲ涵養シ時代ノ趨勢ニ鑑ミテ國民生活ニ必
 須ナル心得ヲ授ケ實踐躬行ヲ勸奨スルヲ以テ要旨トス
 修身及公民科ハ特ニ國家的觀念及立憲ノ本義ヲ明徴ナラシメ公民トシテノ責務ヲ完カラシムルニ必要ナル事項ニ
 留意シテ之ヲ授クヘシ

注意

- 一、修身及公民科ヲ授クル際ニハ青年ノ年齢増進ニ適應セシメ特ニ實際生活ニ適切ナル事例ヲ引用スヘシ
- 一、忠貞賢哲ノ記念日、國民ノ記念スヘキ日及教訓ニ資スヘキ事件ノ偶發シタル場合等ニ於テハ之ニ因ミテ適
 宜教訓スヘシ
- 一、授業ノ際蓋ニ時事ヲ批議スル等ノコトナカルヘシ

教練

教練ハ心身ヲ鍛鍊シ堅忍剛毅ノ精神ト規律ヲ重シ協同ヲ尙フノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス
 教練ニ於テハ凡ソ左ノ事項ヲ授クヘシ
 各個教練、部隊教練、陣中勤務、旗信號、距離測量、軍事講話等

注意

社會教育

教練ヲ授クル際ニハ適宜體操ヲ課シ尙就技ヲ加フルコトヲ得

普通學科

普通學科ハ日常必須ノ智能ヲ増進セシムルヲ以テ要旨トス

普通學科ハ國語、數學、歷史、地理、理科等ニ關スル事項ニ就キ適宜之ヲ授クヘシ

注意

一、國語、數學、理科等ニ關スル事項ハ職業ニ適切ナルモノニ留意シテ之ヲ授クヘシ

一、歷史及地理ハ特ニ修身及公民科トノ聯絡ヲ保チ我カ國體及國勢ヲ知ラシメ國民精神ヲ涵養スルニ必要ナル事項ニ留意シテ之ヲ授クヘシ

職業科

職業科ハ職業ニ關スル智能ヲ授ケ兼テ職業ニ對スル趣味ト勤勞ヲ重ニスル習性トヲ養フヲ以テ要旨トス

職業科ハ農業、工業、商業等ノ中ニ就キ土地ノ情況ニ適切ナル事項ヲ授クヘシ

注意

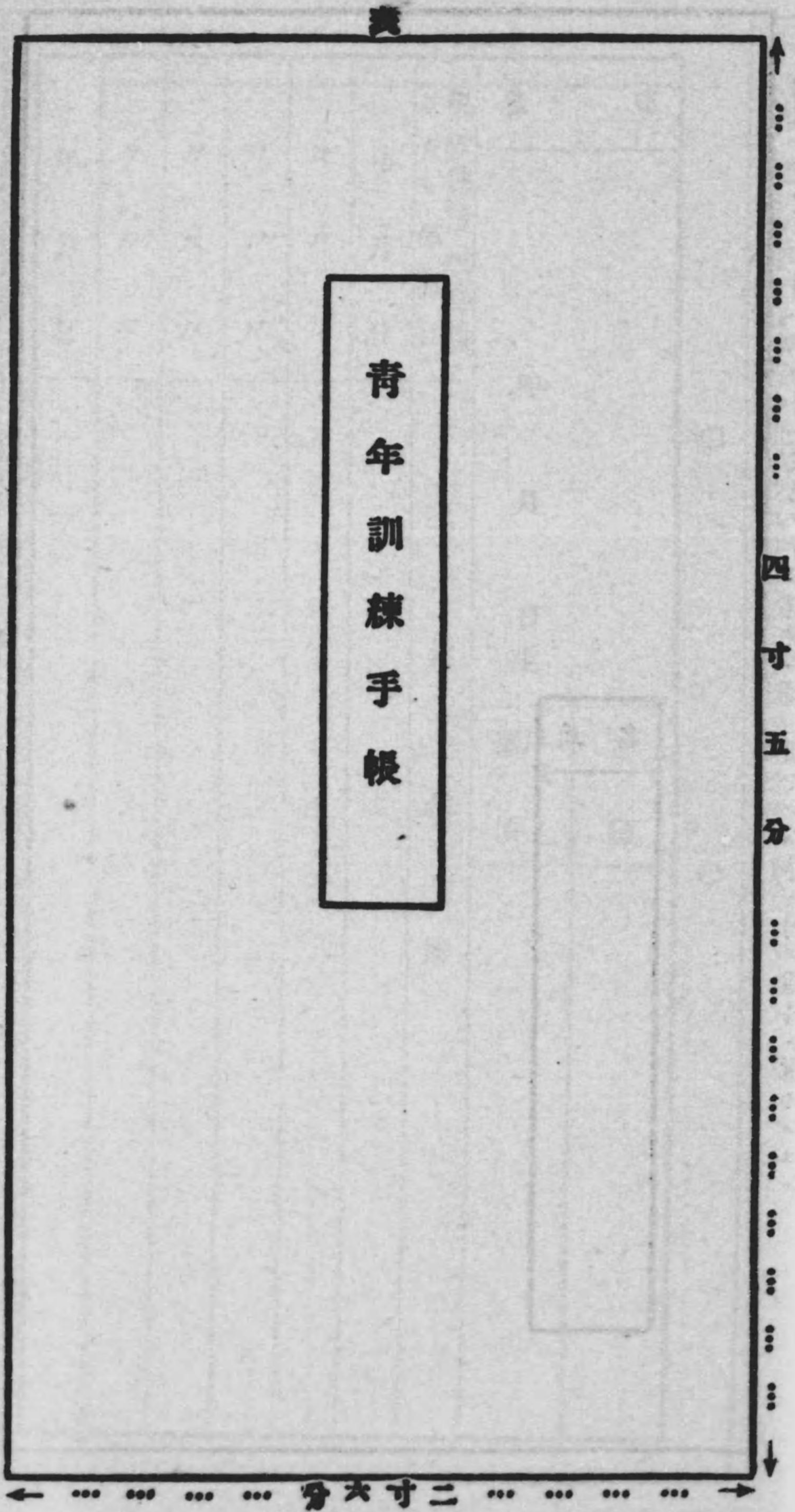
一、職業科ニ於テハ能率増進ニ關スル事項ニ留意シテ之ヲ授クヘシ

二、職業科ニ於テハ成ルヘク實習ヲ指導シ且見學等ヲ爲サシムヘシ

○青年訓練手帳樣式 文告二六五(六一五、四)

一、手帳ノ大キ等ハ左ノ通トス

表裝ハクローストシ成ルヘク青色又ハ綠色ノモノニシテ水氣ニ堪ヘ且汚損シ難キモノヲ用フルコト



青年訓練手帳

青年訓練手帳

氏 名

二、巻頭ニハ教育ニ關スル勅語ヲ奉記シ青年訓練手帳ニ關スル心得ヲ掲ケ假名ヲ附スルコト

三、訓練ニ關シ必要ナル事項ヲ記入スルタメ左ノ各欄ヲ設クルコト

氏 名		年 月 日 生		原 籍		現 居 住 所		現 居 住 所 へ 移 轉 シ タ ル 年 月 日			
年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"

年 月 日	"	"	"	"	"	"	年 月 日	卒業(修了)ノ年月日	學 歷
年 月 日	"	"	"	"	"	"	年 月 日	卒業(修了)シタル學校名及學年	

入所退所修了

青年訓練所名	入所年月日	主事印	退所又ハ修了年月日	主事印
	年 月 日		年 月 日	
	"		"	
	"		"	
	"		"	
	"		"	
	"		"	
	"		"	
	"		"	
	"		"	

○青年訓練手帳ニ關スル心得

- 一、本手帳ハ青年訓練所ニ出席ノ際必ズ之ヲ携帯スベシ
- 二、本手帳ハ教育ニ關スル勅語ヲ奉記シ且訓練ニ關スル重要事項ヲ記載スルモノナレバ細心ノ注意ヲ以テ之ヲ取扱ヒ汚損又ハ紛失等ノコト無キヲ期スベシ
- 三、本手帳中學歷欄及出席時數欄ハ青年訓練所ニ於テ之ヲ記入スベシ但シ出席時數欄ハ當該年次ノ終リタルトキ之ヲ記入スルモノトス
- 四、前項以外ノ各欄ハ青年訓練ヲ受クル者ニ於テ適宜記入スルモノトス
- 五、居住ノ移轉等ノ事由ニ因リ退所スル場合ニ於テハ本手帳ヲ青年訓練所ニ提示シ出席時數其ノ他當該訓練所ニ於テ受ケタル訓練ニ關係アル事項ノ記入證明ヲ受クルモノトス
- 六、他ノ青年訓練所ニ入所シタルトキハ其ノ青年訓練所ニ本手帳ヲ提示スルモノトス
- 七、本手帳ヲ滅失毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ新ニ手帳ヲ當該訓練所ニ提出シテ必要ナル事項ノ記入ヲ申請スベシ

○青年訓練ニ關スル件

文部通牒(六一五、五)

一、青年訓練ニ關スル事務分掌ニ關スル事項
 青年訓練ニ關スル事務ハ社會教育ニ屬スルモノナルヲ以テ道府縣ニ於テハ教育ニ關スル事項ヲ主管スル課ニ於テ之ヲ處理セシメラル、ハ勿論、既ニ地方社會教育職員制モ制定セラレタルニ就テハ青年訓練ニ關スル事務ハ同職員ヲシテ主トシテ之ニ當ラシムルコト

二、青年訓練ヲ受クル者ノ年齢ニ關スル事項
 毎年十一月三十日ニ於テ十六歳以上十七歳未満ノ年齢ニ在ル者ヲ翌年入所スルコトヲ得ルモノトシ訓練ハ四年ヲ以テ終了スルコト

三、中途入所スル者ノ取扱ニ關スル事項
 青年訓練所規程第二條及第三條ノ但書ニ依リ入所シタル者ト雖其ノ訓練ノ終了期ハ正規ニ入所シタル者ト同様トスルコト

同但書ノ本旨ハ病氣、居住所移轉、學校ノ中途退學又ハ卒業其ノ他已ムチ得サル事情アル者ニ限り中途入所ノ途ヲ開キタルモノナルヲ以テ之カ適用ニ就テハ慎重ニ取扱フコト

四 實業補習學校ヲ以テ青年訓練所ニ充ツル場合ニ關スル事項

一、青年訓練所規程第六條ニ依リ地方長官ニ於テ實業補習學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムルニ就テハ管理者ノ申請ニ依ルコトトシ、當該學校ニ於テ十六歳以上二十歳迄ノ青年ヲ概テ收容シ且其ノ授業ハ青年訓練所ト同シク四年ニ互ル場合ニ限ルコト

二、實業補習學校ヲ以テ青年訓練所ニ充テタル場合ハ別ニ青年訓練所ノ設置ヲ要セサルモ當該實業補習學校力青年訓練所ニ充テラレタルモノナルコトヲ適當ニ標示シ且青年訓練名簿ヲ備付ケ生徒ニハ青年訓練手續ヲ所持セシメ其ノ修了者ニハ證明書ヲ交付スルコト

五、現ニ學校ニ在學シ青年訓練所ノ訓練ト同等以上ノ

訓練ヲ受クル者ト看做サレタル者ノ證明ニ關スル事項

青年訓練所規程第八條ニ依リ青年訓練所ノ訓練ヲ受クル者ト看做サレタル者ニシテ訓練ヲ受クルコトヲ得ル最高年齢(二十歳以上二十一歳未満)ニ達スル迄當該學校ニ在學セル場合ハ其ノ學校ニ於テ本人ニ對シ第十七項第二號格式ニ準シ青年訓練所ノ課程ト同等以上ノ課程ヲ修メタルコトヲ明ニシタル證明書ヲ交付スルコト

六、青年訓練項目免除ニ關スル事項

現ニ學校ニ在學シ當該學校ニ於テ青年訓練所ノ訓練項目ノ課程ト同等以上ト認メラレタル課程ヲ修ムル者ニ對シテハ當該項目ハ青年訓練所ニ於テ之ヲ免除スルヲ得ルコト
前項ノ場合ノ外青年訓練所ノ項目免除ニ關シテハ左ノ例ニ依ルコト
一、修身及公民科ハ一般ニ之ヲ課スルコト但シ相當ノ素養アル者ニ對シテハ課程ニ適當ナル斟酌ヲ加フルコト
二、數練ハ一般ニ之ヲ課スルコト但シ身體ノ情況ニ依リテハ課セサルヲ得ルコト
青年訓練所以外ニ於テ正課トシテ數練ノ授業ヲ受ケタル者ニ對シテハ主事ハ指導員ノ意見ヲ聞キ青年訓練所ニ於ケル數練時數ヲ左ノ範圍以内ニ於テ之ヲ減スルコト

- 1、現役將校ヲ配屬スル學校(尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル學校)ニ於テ第二學年程度(高等小學校第一學年修了程度ヲ入學資格トスル學校)ニ在リテハ第一學年)迄數練ヲ修得セル者ニ對シテハ百時ヲ減スルコト
 - 2、同第三學年程度(高等小學校第二學年修了程度ヲ入學資格トスル學校)ニ在リテハ第一學年以下之ニ做フ)迄數練ヲ修得セル者ニ對シテハ二百時ヲ減スルコト
 - 3、同第四學年程度迄數練ヲ修得セル者及第五學年程度迄數練ヲ修得セルモ數練ノ檢定ニ合格セサル者ニ對シテハ三百時ヲ減スルコト
 - 4、同第五學年程度迄數練ヲ修得シ數練ノ檢定ニ合格シタル者ニ對シテハ全時數ヲ缺クコト
 - 5、商船學校ハ現役將校ヲ配屬スル學校ト看做スコト
 - 6、高等小學校卒業者、實業補習學校前期修了者其ノ他ノ學校第二學年程度修了者ニ對シテハ百時ヲ減スルコト
 - 7、地方長官ニ於テ青年訓練所ノ數練ノ課程ト同等以上ト認メタル數練ノ課程ヲ修メタル者引續キ青年訓練所ニ入所シタル場合ハ當該青年訓練所ニ於テハ其入所以後ノ年次ニ配當シタル數練時數ヲ授クルコト
- 數練時數ヲ減少スル場合ニ於テモ成ヘク各年次ニ平均シテ持續的ニ數練ノ授業ヲ受ケシムルコト

三、普通學科及職業科

- 1、實業補習學校後期以上ノ修了者及尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トシテ實業教育ヲ施ス中等學校第三學年修了程度(高等小學校第一學年修了程度ヲ入學資格トスル學校)ニ在リテハ第二學年以下之ニ做フ)以上ノ學力アル者ニ對シテハ普通學科及職業科ハ之ヲ課セサルヲ得ルコト

2、前號以外ノ中等學校第三學年終了程度以上ノ學力アル者ニ對シテハ普通學科ハ之ヲ課セサルヲ得ルコト

七、學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムル場合ノ取扱ニ關スル事項

青年訓練所規程第八條ニ依リ地方長官ニ於テ學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムルニ就テハ道府縣立學校ニ在リテハ學校長、市町村立學校ニ在リテハ當該市町村長、私立學校ニ在リテハ其ノ設立者ノ申請ニ依ルコト

學校ノ課程ノ認定ヲ爲ス場合ニ於テ教練ニ就テハ當該學校所在地所管ノ師團長ヲ經テ青年訓練所ノ教練查閱官ノ意見ヲ聞クコト此ノ場合ニハ同查閱官ニ於テ當該學校ノ視察ヲナスコト

八、教練查閱ニ關スル事項

教練ノ查閱ハ青年訓練所ノ教練ノ外青年訓練所ニ充テタル實業補習學校ノ教練及青年訓練所ノ課程ト同等以上ノ課程ヲ受クルモノト認メラレタル學校ノ教練ニ對シテモ行ハルヘキコト

九、青年訓練所ノ規則ニ關スル事項

青年訓練所規則ニハ凡ソ左ノ事項ヲ掲ケシムルコト

- 一、訓練項目及其ノ課程ニ關スル事項
- 一、訓練實施ノ季節及授業日時ニ關スル事項
- 一、入所退所ニ關スル事項

二、課程ノ終了ニ關スル事項

十、青年訓練所設置廢止等ノ際公示ニ關スル事項

左ノ各號ノ場合ニ於テハ地方長官ハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ公示スルコト

- 一、青年訓練所ノ設置又ハ廢止ヲ認可シタルトキ
- 二、青年訓練所規程第六條ニ依リ實業補習學校ヲ以テ青年訓練所ニ充テタルトキ
- 三、青年訓練所規程第八條ニ依リ學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認メタルトキ
- 四、青年訓練所ノ名稱又ハ位置ノ變更アリタルトキ

十一、青年訓練所ノ設置廢止等ノ際關係師團長ニ通報ニ關スル事項

地方長官ニ於テ青年訓練所ノ設置ヲ認可シタルトキハ青年訓練所規程第十三條第一項第一號乃至第五號ノ事項ヲ具シ廢止ヲ認可シタルトキ及學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認定シタルトキハ其ノ年月日ヲ具シテ之ヲ當該青年訓練所又ハ當該學校ノ所在地所管ノ師團長ニ通報スルコト

十二、主事、指導員ノ囑託ニ關スル事項

主事、指導員ノ囑託ニ就テハ其ノ人選ニ留意シ教練ノ指導員ニ就テハ在營シタル期間長ク且成ルヘク其ノ教育ノ程度高キ者ヨリ之ヲ選定セラレタキコト

私立青年訓練所ノ主事、指導員ハ公立青年訓練所ノ例ニ依リ小學校又ハ實業補習學校ノ教員タルコトヲ得ル資格アル者及在郷軍人其ノ他適當ト認メタル者ニ就キ認可スルコト

十三、在郷軍人會等ト聯絡ニ關スル事項

本施設ノ效果ヲ完カラシムルニ就テハ青年團トノ聯絡ヲ密接ナラシムルハ勿論教練ノ指導員ヲ在郷軍人等ニ囑託スルノ本旨ニ鑑ミ同會トモ密接ナル聯絡ヲ保ツコトニ留意セラレタキコト

十四、配屬將校等ニ教練ノ指導囑託ニ關スル事項

學校配屬將校其ノ他現役將校ニ對シテハ其ノ本務ニ支障ナキ限り教練ノ指導ヲ囑託スルモ妨ナキコト

十五、私立青年訓練所ヨリ提出スル書類ノ取扱ニ關スル事項

私立青年訓練所ヨリ地方長官ニ提出スル書類ハ當該私立青年訓練所所在地ノ市町村長ヲ經由セシムルコト

十六、修了ノ認定ニ關スル事項

訓練ヲ受クル者ニ對シテハ常ニ適當ナル方法ニ依リ其ノ效果ヲ舉クル機督勵ヲ加ヘサルヘカラサルハ勿論ナルモ修了證ヲ授與スヘキヤ否ヤノ認定ニ關シテハ所定時數ノ訓練ヲ受ケタルコトヲ標準トスルコト

病氣其ノ他特別ノ事情ニ依リ所定時數ノ訓練ヲ受クルコト能ハサル者ニ對シテハ適當ノ時期ニ於テ其ノ時數ヲ補充スルノ途ヲ講スルコト

十七、青年訓練修了證等ノ様式ニ關スル事項

青年訓練所ノ修了證ハ第一號様式、青年訓練所ニ充テタル實業補習學校ノ證明書ハ第二號様式ニ依ラシムルコト

第一號

第 一 號

修 了 證

訓 練	所
印	印

氏

年 月

日 生 名

右者本青年訓練所ノ課程ヲ修了シタルコト

ヲ證ス

年 月 日

道(府、縣)何郡何市(町、村)立何々青年訓練所主事 氏

名 印

第 號

證 明 書



氏

年

月

日生

名

右者本校ニ於テ青年訓練所ノ課程ト同等以上ノ課程
ヲ修了シタルコトヲ證ス

年 月 日

何々實業補習學校長 氏

名 氏

備考 本證明ハ便宜當該學校卒業證書又ハ修了證書ノ裏面等ニ記入スルモ差支ナシ

十八、中途退所スル者ノ證明ニ關スル事項

中途退所シタル者ニシテ其ノ受ケタル訓練ニ關シ證明ヲ申出テタルトキハ當該訓練所ニ於テ關係事項ヲ青年訓練
名簿ニ記入スルト同時ニ青年訓練手帳ノ關係欄ニ記入捺印シテ之ヲ證明スルコト

十九、青年訓練名簿等保存ニ關スル事項

青年訓練名簿、出席簿等ハ修了證ヲ受ケタル者ノ在營年限短縮等ニ必要ナルヲ以テ適當ノ期間之ヲ保存セシムル
コト

二十、青年訓練名簿記入ニ關スル事項

青年訓練名簿ハ左ノ事項ニ注意シテ記入スルコト

一、入所前ノ經歷欄中「學歷」ニハ義務教育終了後ノ學歷ヲ摘記シ「其ノ他」ニハ入所前他ノ青年訓練所ニ於
テ訓練ヲ受ケタル場合ニ其ノ關係事項ヲ記入スルコト

一、免除項目欄ハ當該項目ヲ課セザリシ時數及其ノ事由ヲ記入スルコト

例 項目 時數 事由

普通學科 五〇 何々學校第何學年修了

一、出席時數欄ハ別ニ備付ノ出席簿及青年訓練名簿ノ備考欄ニテ參照シテ當該青年訓練所ノ分ト他ノ青年訓練
所ノ分トヲ朱書又ハ適當ノ方法ニ依リ區別シテ之ヲ記入スルコト

社會教育

社會教育

四四〇

備考 一、青年訓練ヲ受クル者ノ數ハ青年訓練所ニ入所シタル數ヲ揚クルコト

一、職員數欄中學校教員ニシテ在郷軍人タルモノハ適當ナル符合ヲ附シテ分別ノ上之ヲ學校教員欄ニ揚クルコト

一、青年訓練所ヲ設置セサル市町村アラハ其ノ事由ヲ附記スルコト

○青年訓練所教練查閱規程

陸省八(六一五、六)

第一條 大正十五年勅令第七十八號ニ依リ青年訓練所ニ於ケル教練ヲ查閱セシムル將校ヲ青年訓練所長ト稱ス

第二條 青年訓練所長ハ師團長其ノ部下將校ノ中ヨリ之ヲ命ス但シ師團長ハ部下ニ非サル將校ニ當該將校ノ在職スル部隊ノ長ト協議シ青年訓練所長ヲ命スルコトヲ得

第三條 青年訓練所(青年訓練所ニ充テタル實業補習學校及地方長官ニ於テ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ修ムル者ノ在學ル學校ヲ含ム以下同シ)ニ於ケル教練ノ查閱ハ聯隊區毎ニ若干名ノ青年訓練所長ヲ命スルコトヲ得

第四條 師團長ハ當該師管内ノ教練ノ查閱ヲ指揮監督ス

第五條 師團長ハ教練ノ查閱ニ關シ查閱ノ要領其ノ他必要ナル事項ヲ青年訓練所長ニ指示スヘシ

第六條 教練ノ查閱ハ各青年訓練所ニ付二年内ニ少クモ一回之ヲ行フヲ例トス

第七條 師團長ハ關係ノ地方長官ト協議シ教練ノ查閱ノ時期ヲ概定シ青年訓練所長ヲ命スルコトヲ得

聯合官ニ關スヘシ

第八條 聯隊區司令官ハ青年訓練所教練查閱日割表ノ調製並查閱場ノ選定ニ關シ要スレハ支廳長、管理者、學校長又ハ設立者ト協議スヘシ

第九條 聯隊區司令官ハ青年訓練所長ノ擔任スヘキ青年訓練所、查閱ノ場所及查閱日割ヲ定メテ師團長ノ認可ヲ受ケ之ヲ地方長官及青年訓練所長ニ通知スヘシ

前項ノ通知ハ查閱ノ日ヨリ二十日前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十條 師團長ハ豫メ聯隊區毎ニ分チタル青年訓練所教練查閱日割表ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

前項ノ教練查閱日割表ハ當該年ノモノヲ數次ニ分チ報告スルコトヲ得

第十一條 青年訓練所長ハ當該師管内ノ青年訓練所ノ管理者ヲ設立者ヲ含ム及主事(學校長ヲ含ム)立會ノ上教練指導員(教練教師ヲ含ム以下同シ)ニ對シ所見ヲ開示スヘシ

第十二條 青年訓練所長ハ查閱ノ結果ニ基キ其ノ全般並各青年訓練所ノ教練ニ付左ノ事項ヲ記載シタル報告書ヲ三通ヲ調製シ查閱終了後二十日以内ニ師團長ニ提出スヘシ

一、查閱ノ方法

二、教練ノ成績並教練ヲ受クル者ノ心身ノ鍛鍊上ニ及ボシタル影響

三、教練指導員ニ關シタル所見

四、將來ニ關スル意見

社會教育

四四一

社會教育

四四二

五、其ノ他必要ト認ムル事項

第十三條 師團長ハ前條ノ報告書ノ内一通ヲ當該青年訓練所在地ノ聯隊區司令官ニ交付シ他ノ一通ヲ當該青年訓練所所管ノ地方長官ニ移スヘシ

第十四條 師團長ハ毎年左ノ事項ヲ記載シタル師管内青年訓練所教練查閱報告書ヲ調製シ其ノ翌年二月十日迄ニ陸軍大臣ニ提出スヘシ

一、第五條ノ規定ニ依リ指示シタル查閱ノ要領及其ノ他ノ事項

二、教練一般ノ成績並教練ヲ受クル者ノ心身ノ鍛鍊ニ及ボシタル影響

三、將來ニ關スル意見

四、其ノ他必要ト認ムル事項

前項各號ノ事項中特ニ必要ト認ムルモノニ付テハ各青年訓練所毎ニ詳述スヘシ

○青年訓練所規程施行細則 縣告四二三(大五一、六)

第一條 市町村長ハ毎年十一月三十日現在ニ於テ年滿十六歲以上十七歲未滿ノ男子ヲ調査シ十二月十日迄ニ別表第一號様式ニ依リ之ヲ青年訓練所主事ニ通知スヘシ

第二條 市町村長ハ入所年齡ニ該當スル者ノ入所スヘキ青年訓練所及入所期日ヲ決定シ毎年十二月十日迄ニ保證書又ハ簡主ニ通知スヘシ

第三條 訓諭

第四條 中途ノ所志望者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ主事ノ認定ニ依リ之ヲ相當ノ學年ニ編入スルコトヲ得

一、病氣ノ爲入所ノ遲延セルモノ

一、其ノ居住ノ場所ヲ移轉シタルモノ

一、學校ヲ中途退學シ又ハ卒業シタルモノ

一、其ノ他已ムテ得サル事情アルモノ

第五條 前條ノ規定ニ依リ入所セルモノノ訓練ハ青年訓練所規程(以下單ニ規程ト稱ス)第一條ノ規程ニ拘ラス年齡二十一歳ニ至ル迄トス

第六條 青年訓練所ノ所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ別表第三號様式ニ依ル修了證ヲ授與スヘシ

修了證ヲ授與スヘキヤ否ヤノ認定ニ關シテハ所定時數ノ訓練ヲ受ケタルコトヲ標準トスヘシ

病氣其ノ他特別ノ事情ニ依リ所定時數ノ訓練ヲ受クルコト能ハサル者ニ對シテハ適當ノ時期ニ於テ其ノ時數ノ補充ヲ爲スヘシ

第七條 中途青年訓練所ヲ退所シタル者其ノ受ケタル訓練ニ關シ證明ヲ申出テタルトキハ當該青年訓練所ニ於テ關係事項ヲ青年訓練名簿ニ記入シ且青年訓練手帳ノ關係欄ニ記入捺印シテ之ヲ證明スヘシ

第八條 青年訓練所規則ニハ概ネ左ノ事項ヲ掲クヘシ

一、訓練ノ項目及其ノ課程ニ關スル事項

社會教育

四四三

社會教育

四四四

- 一、訓練實施ノ季節及授業日時ニ關スル事項
- 一、入所退所ニ關スル事項
- 一、課程ノ終了ニ關スル事項

第九條 規程第六條ノ規定ニ依リ知事ノ認定ヲ受ケムトスル公立實業補習學校ハ概テ十六歳以上二十歳迄ノ男子ヲ收容シ其ノ授業期間四年ニ亘ルモノニ限ル

第十條 規程第六條ノ規定ニ依ル認定ヲ受ケムトスルトキハ管理者ハ左ノ事項ヲ具シ知事ニ申請スヘシ

- 一、學校ノ名稱
- 二、青年訓練所名稱
- 三、學 則
- 四、訓練ヲ受クヘキ青年ノ概數
- 五、右青年中當該學校ニ在學セル者ノ數
- 六、經費及維持ノ方法

第十一條 規程第六條ノ規定ニ依リ認定ヲ受ケタル實業補習學校ハ青年訓練所ニ充テラレタル旨ヲ適當ニ標示シ且青年訓練名簿ヲ備付テ生徒ニハ青年訓練手帳ヲ所持セシメ其ノ終了者ニハ別表第四號様式ニ依ル証明書ヲ交付スヘシ

第十二條 規程第八條 規定ニ依リ當該學校ノ課程青年訓練所ノ課程ト同等以上ナルコトノ認定ヲ受ケムトスル

トキハ縣立學校ニ在リテハ學校長其ノ他ノ公立學校ニ在リテハ其ノ管理者私立學校ニ在リテハ其ノ事項ヲ具シ知事ニ申請スヘシ

- 一、學校ノ名稱
- 二、位 置
- 三、學 則
- 四、生 徒 數

第十三條 前條ノ規定ニ依リ認定ヲ受ケタル學校ニ在學セル者訓練ヲ受クルコトヲ得ル最高年齢(二十歳以上二十歳未満)ニ達シタルトキハ當該學校ニ於テ別表第四號様式ニ依ル證明書ヲ交付スヘシ

第十四條 青年訓練所ノ訓練期間ハ之ヲ四年次ニ分チ毎年次ノ訓練ハ一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ルモノトス

第十五條 一年ノ訓練時數ハ左ノ標準ニ依リ土地ノ情況學科ニ應シ之ヲ定ムヘシ

- 一、修身科及公民科 二十五時以上
- 一、教 練 百時以上
- 一、普通學科 五十時以上
- 一、職業科 二十五時以上

第十六條 前條ニ規定スル各科目ハ教練ヲ除クノ外適宜ニ分合シテ之ヲ授クルコトヲ得

社會教育

四四五

第十七條 各科目ハ青年訓練ノ本旨ニ違ヒ相互聯絡ヲ密ニシ土地ノ情況ニ應シ實際生活ニ適切ナル事項ヲ選ヒ之ヲ授クヘシ

第十八條 青年訓練所主事ハ其ノ訓練所ニ於テ教授スヘキ各科目ノ教授細目ヲ編成スヘシ

第十九條 青年訓練所ノ訓練ハ晝間ニ之ヲ行フモノトス但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ夜間ニ之ヲ行フコトヲ得

第二十條 訓練期間ハ通年制トスヘシ但シ土地ノ情況ニ依リ季節制トナスコトヲ得
前項但書ノ場合ニ於テハ一時ニ教授事項ノ全部ヲ課スルコトヲ得ス

第二十一條 現ニ學校ニ在學シ且青年訓練所ニ入所シタル者ニ對シテハ學校ニ於テ受クル科目力青年訓練所ノ訓練項目ノ課程ト同等以上ト主事ニ於テ認メタル場合其ノ科目ニ該當スル訓練項目ハ青年訓練所ニ於テ之ヲ免除スルコトヲ得

前項ニ規定スル場合ヲ除クノ外青年訓練所ノ訓練項目ノ免除ニ關シテハ別表第九號ニ依ルヘシ

第二十二條 青年訓練所ニ入所セル者ハ教育上特ニ注意ヲ要スル時期ニアルヲ以テ深ク生徒ノ訓育ニ留意シ徳性ノ涵養ニ力ヲ致シ之カ實踐上適切ナル指導ヲ爲スヘシ

第二十三條 規程第十六條ノ規定ニ依リ指導員ノ囑託ヲ爲サムトスルトキハ別表第五號様式ニ依リ主事ハ之ヲ知事ニ内申スヘシ

第二十四條 補助ノ金額ハ之ヲ青年訓練所ノ主事及指導員ノ手當ニ充當スヘシ、但シ年手當主事六拾圓指導員參

拾六圓ニ達シタルトキハ之ヲ他ノ經費ニ充當スルコトヲ得

第二十五條 青年訓練所ニハ左ノ諸表簿ヲ備ヘ一定ノ期間之ヲ保存スヘシ

一、青年訓練所規則	保存期間
一、青年訓練名簿	永年
一、修了証書台帳	永年
一、出席簿	十年
一、青年訓練日誌	五年
一、監督官指示事項錄	永年
一、其ノ他必要ナル諸表簿	永年

第二十六條 市町村長私立青年訓練所設立者ハ毎年三月十五日限り青年訓練所ニ關スル調査ヲ別表第六號様式ニ依リ知事ニ報告スヘシ

第二十七條 青年訓練所ノ主事ハ毎年一月二十日迄ニ前年度出席狀況ヲ別表第七號様式ニ依リ知事ニ報告スヘシ

第二十八條 左ノ各號ノ場合ニ於テハ知事ハ之ヲ公示ス

- 一、青年訓練所ノ設置又ハ廢止ヲ認可シタルトキ
- 二、規程第六條ノ規定ニ依リ實業補習學校ヲ以テ青山訓練所ニ充テタルトキ
- 三、規程第八條ノ規定ニ依リ學校ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認メタルトキ

社會教育

四、青年訓練所ノ名稱又ハ位置ノ變更アリタルトキ
 第二十九條 青年訓練所設置認可稟請書ハ別表第八號様式ニ依ルヘシ
 第三十條 私立青年訓練所設立者ヨリ知事ニ提出スル書類ハ當該私立青年訓練所所在地ノ市町村長ヲ經由スヘシ
 備考 青年訓練所設置ノ參照條文ノ勅令第七十號青年訓練所令第三條第四條文部省令第十六號青年訓練所規程
 第十三條

岡山縣告示第四百十三號第二十九條
 別表第一號様式 入所者年齢通知書

氏名	現居住所	籍職	業	入所前ノ	經歷
年 月 日 生	住 所	戶主トノ關係	學	其ノ	他

別表第二號様式 削除

別表第三號様式

第 號 修了證

所印
 右者本青年訓練所ノ課程ヲ
 修了シタルコトヲ證ス

年 月 日

岡山縣何部何村(市町)
 何青年訓練所 主事 氏 名 印

社會教育

別表第四號様式

第 號 證明書

校印
 右者本校ニ於テ青年訓練所
 ノ課程ト同等以上ノ課程ヲ
 修了シタルコトヲ證ス

年 月 日

岡山縣何學校長 氏 名 印

四四九

社會教育

別表第五號

青年訓練所指導員囑託申請

四五〇

申請事項	受持學科	一ケ年受持時間數	氏名	履歴大要
何郡(市)何村(町)立青年訓練所指導員ヲ囑託ス 年手當 圓拾與				年月日生岡師一部奉 小學校訓導 年月日生何農學校本何實業 補習學校助教諭等 年月日生在郷軍人 伍員等

右囑託相成度(別紙履歴書相添へ)申請候也

年 月 日

岡山縣知事

殿

備考 學校教員以外ノ者ヲ申請スル場合ハ履歴書ヲ添付スヘシ

岡山縣何郡(市)何村(町)立

青年訓練所主事 氏

名 附

別表第六號様式

青年訓練所ニ關スル調査

(二月末日現在)

一、入所状況

入所年齢ニ該當スル者ノ總數	他ノ市町村ニ出寄留セルモノ及配屬將校設置ノ學校又ハ規程第八條ノ學校ニ在學セル者ノ數	入所スヘキ者ノ數	入所者ノ數	入所者		計	入所歩合
				青年訓練所ニ於テ受ク	充當營業補習ニ於テ受ク		

備考

- 一、入所年齢ニ該當スル者ノ總數欄ニハ他ノ市町村ヨリ入寄留セルモノヲモ加フルコト
- 二、入所スヘキ者ノ數欄ニハ入所年齢ニ該當スル者ノ總數ヨリ他ノ市町村ニ出寄留セルモノ及配屬將校設置ノ學校又ハ規程第八條ノ學校ニ在學セル者ノ數ヲ減シタル數ヲ記入スルコト
- 三、入所歩合ハ入所者數ノ計ヲ入所スヘキ者ノ數ニテ除シタル商ニ一〇〇ヲ乘スルコト

社會教育

四五二

社會教育

二、前年修了證又ハ證明書ヲ受ケタル者ノ數

四五二ノ一

	青年訓練所ニ於テ修了證ヲ受ケタル者ノ數	充當實業補習學校ニ於テ所定ノ證明書ヲ受ケタル者ノ數	青年訓練所規程第八條ノ學校ニ於テ所定ノ證明書ヲ受ケタル者ノ數	計

三、職員數

主事	指導員			計
	學校教員	在郷軍人	其ノ他	

備考

- 一、主事ニシテ指導員ヲ兼ヌル者ハ其ノ數ヲ指導員欄ニ掲グルト共ニ主事欄ニモ之ヲ附記スルコト
- 二、學校教員ニシテ在郷軍人タルモノハ適當ナル符合ヲ附シテ分別ノ上之ヲ學校教員欄ニ掲クルコト

四、費用

主事指導員ノ手當總額		其ノ他	計

備考

- 一、青年訓練所ニ充テタル實業補習學校ノ職員及費用ニ關シテハ青年訓練ニ關係アル分ヲ青年訓練所ノ職員數欄及費用欄ニ準ジテ別ニ記入スルコト
- 右分別不可能ナルトキハ其ノ旨ヲ明ニシテ職員及費用ヲ記載スルモ差支ナキコト

附記

- 一、私立青年訓練所所在ノ市町村ハ私立青年訓練所ニ關スル調査ハ之ヲ除クコト
- 二、私立青年訓練所設立者ハ本様式ニ準ジ該當事項ヲ調査報告スルコト

社會教育

四五二ノ二

社會教育

別表第七號樣式

何青年訓練所生徒出席缺席年計調査表

(大正 年十二月調)

四五二ノ三

年次	種別		出席時間數	平均出席數	在籍ニ對スル平均出席數	缺席總數	平均缺席數
	訓練時數	在籍生徒數					
第一年次							
第二年次							
第三年次							
第四年次							
計							

備考 一、小學校年末統計ニ準シ計算スヘシ但シ時間ヲ單位トス

一、在籍ニ對スル時々出席平均歩合ハ出席義務數ヲ以テ出席總數ヲ除シ之ニ百ヲ乘スヘシ

別表第八號樣式

年 月 日

岡山縣何郡(市)何村(町)長

氏

名 園

岡山縣知事

殿

青年訓練所設置認可ノ件

左記ニ依リ本市町青年訓練所設置致度候條御認可相成度及稟請候也

一、名 稱

記

何訓練所

二、位 置

何郡(市)何村(町)何番地

何實業補習學校併置
又ハ何尋常高等小學校

三、規 則

別紙ノ通り

四、青年訓練ヲ受クルモノノ概數

十六才以上十七才未満

何 名

社會教育

社會教育

十七才以上十八才未滿

十八才以上十九才未滿

十九才以上二十才未滿

合計

五、開所年月日 大正 年 月 日

六、經費及維持方法

本所ハ毎年度本市(町村)費及補助金ヲ以テ經費ニ充テ之ヲ維持ス
本年度豫算別紙ノ通り

別紙

大正 年度何郡市町立青年訓練所經費豫算書(様式)

歳出(市町村)歳出豫算當該款項目記入ノコト)

金 圓 額

内 附

金 圓 給 料

金 圓 主事年手當

金 圓 指導員年手當一人 圓何人分

金 圓	雜 給
金 圓	旅 費
金 圓	諸 雇 給
金 圓	需 用 費
金 圓	備 品 費
金 圓	消 耗 品 費
金 圓	青年訓練手帳費
金 圓	通信運搬費
金 圓	雜 費

第九號

一、修身及公民科ハ一般ニ之ヲ課スヘシ但シ相當ノ素養アル者ニ對シテハ課程ニ適當ナル斟酌ヲ加フルモノトス
二、教練ハ一般ニ之ヲ課スヘシ但シ身体ノ情況ニ依リ之ヲ課セサルコトヲ得

青年訓練所以外ニ於テ正課トシテ教練ノ授業ヲ受ケタル者ニ對シテハ青年訓練所主事ハ指導員ノ意見ヲ聞キ左ノ範圍内ニ於テ青年訓練所ニ於ケル教練時數ヲ減少スルコトヲ得

一、現役將校ヲ配屬スル學校(尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル學校)ニ於テ第二學年程度(高等小學校第一學年修了程度ヲ入學資格トスル學校)ニ於テ第一學年程度迄教練ヲ修得セル者ニ對シテハ百時

二、同第三學年程度(高等小學校第二學年修了程度ヲ入學資格トスル學校)ニ於テ第一學年以下之ニ做フ迄數

社會教育

- 一、訓練ヲ修得セル者ニ對シテハ二百時
 - 二、同第四學年程度迄教練ヲ修得セル者及第五學年程度迄教練ヲ修得セルモ教練ノ檢定ニ合格セサル者ニ對シテハ三百時
 - 三、同第五學年程度迄教練ヲ修得シ教練ノ檢定ニ合格シタル者ニ對シテハ全時數
 - 四、高等小學校卒業者實業補習學校前期修了者其ノ他ノ學校第二學年程度修了者ニ對シテハ百時
 - 五、前項ノ適用ニ付テハ商船學校ハ之ヲ現役將校ヲ配屬セル學校ト看做ス
 - 知事ニ於テ青年訓練所ノ教練ノ課程ト同等以上ト認メタル教練ノ課程ヲ修メタル者引續キ青年訓練所ニ入所シタル場合ハ當該青年訓練所ニ於テハ其ノ入所以後ノ年次ニ配當シタル教練時數ヲ授クヘシ
 - 教練時數ヲ減少スル場合ニ於テモ成ル可ク各年次ニ平均シテ持續的ニ教練ノ授業ヲ受ケシムヘシ
- 三、普通學科及職業科
- 一、實業補習學校後期以上ノ修了者及尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トシテ實業教育ヲ施ス中等學校第三學年修了程度（高等小學校第一學年修了程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第二學年以下之ニ做フ）以上ノ學力アル者ニ對シテハ普通學科及職業科ハ之ヲ課セサルコトヲ得
 - 二、前號ニ掲クルモノヲ除ク外中等學校第三學年修了程度以上ノ學力アル者ニ對シテハ普通學科ハ之ヲ課セサルコトヲ得

各青年訓練所規則（準則）

第一章 目的、名稱及訓練期間

- 第一條 本訓練所ハ青年訓練所令ニ依リ青年ノ心身ヲ鍛鍊シテ國民タル資質ヲ向上セシムルヲ以テ目的トス
- 第二條 本訓練所ハ岡山縣何那何村（市、町）立何訓練ト稱ス
- 第三條 訓練期間ハ四年トス
- 第二章 訓練ノ項目時數及訓練季節
- 第四條 訓練項目ハ修身及公民科教練普通學科職業科トス
- 第五條 訓練時數ハ四年ヲ通シテ修身及公民科百時教練四百時普通學科二百時職業科百時トス
- 第六條 訓練項目ノ課程左表ノ如シ

項目及科目	年次			
	第一年次	第二年次	第三年次	第四年次
修身及公民科				
教練				
普通				
國語				
數學				
歷史				

社會教育

四六〇

第十四條 他ノ青年訓練所ヨリ轉所シタル者ハ本訓練所ニ青年訓練手帳ヲ提出スヘシ
第十五條 本訓練所ヲ退所セムトスルトキハ其ノ事由ヲ述ヘ且青年訓練手帳ヲ提出シ出席時數其ノ他必要ナル事
項ノ記入證明ヲ受クヘシ

第十六條 訓練ヲ受クル者ニシテ居住所身分等ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ
第十七條 所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ左記様式ノ修了證ヲ授與ス

第 號

修了證

氏

生年月日

右者本青年訓練所ノ課程ヲ修了シタルコトヲ證ス

年 月 日

岡山縣何部何村(市町)立
何青年訓練所主事

氏

名 印

第十八條 本訓練所主事ハ必要ニ應シ訓練ヲ受クル者ニ對シテ賞罰ヲ加フルコトアルヘシ
第十九條 本訓練所ニ於テハ訓練ヲ受クル者ヨリ費用ヲ徵收セス

○社會教育施設獎勵ノ件 縣訓四(六一三三)

願フニ教育ノ振興ハ戰後經營ノ第一義ニシテ之ヲ達成ハ學校教育ト社會教育トノ完備ニ俟タサルヘカラス熟々現
下ノ情勢ヲ見ルニ學校教育ニ於テハ各種ニ機關略々備ハリ其ノ進歩顯著ナリト雖社會教育ニ至リテハ昨今各種ノ
施設稍々其ノ緒ニ就カントスル機運ニ向ヒタルニ過キス之ヲ施設ヲ完成シ其ノ實績ヲ收ムルハ前途尙遠ニシテ
之ヲ振興ヲ圖ルハ眞ニ刻下急務ナリト信ス
抑モ社會教育ハ學校教育ノ足ラサル所ヲ補ヒ更ニ之ヲ擴充シテ社會生活ノ改善ヲ圖リ國民文化ノ理想ヲ實現セン
トスルモノニシテ其ノ内容頗ル廣汎複雜ナリト雖之ヲ見スルニ一般民衆ニ對シテ其ノ思想ヲ善導シ健全ナル國民
精神ヲ涵養シ美風良俗ヲ助長シ處生上須要ノ智識技能ヲ修得セシメ體育衛生ノ改善進歩ト趣味ノ向上トヲ圖リ以
テ文化生活ノ完成ヲ期スルニ在リ局ニ當ルモノ宜シク地方ノ實情ニ鑑ミ適當ナル施設方針ヲ定メ學校團體及篤志
家等ト策應シテ其ノ施設ヲ獎勵シ且ツ相互ノ連絡ヲ圖リ以テ教育ノ振興ヲ期スヘシ
特ニ學校ニ在リテハ其ノ設備ヲ利用シテ適當ノ施設ヲナシ以テ學校ヲシテ社會教化ノ中心タラシムルト共ニ學校
教育ノ効果ヲシテ益々大ナラシメンコトヲ要ス

社會教育

四六一

○青年團體指導督勵ニ關スル件

縣訓一五(六七、六)

青年團體ハ青年修養ノ機關タリ其ノ本旨ノ存スル所ニ關シテハ曩ニ通牒ヲ發セシメ更ニ青年團體ノ設置並指導ニ關スル準則ヲ示シ其ノ依違スヘキ所ヲ訓令シタリ爾來時勢ノ進展ハ益々之カ振興ノ機運ヲ促進シ經營並指導亦漸ク眞摯ヲ加ヘタリト雖組織ノ井然タルモノアルニ比シ内容往々ニシテ之ニ伴ハス其ノ多クハ尙點睛ヲ缺クノ憾ナシトセス

今ヤ世界戰亂ノ衝動ハ汎ク精神上並經濟上ノ各方面ヲ掀盪シ殊ニ國民思想上ノ刺戟ニ至リテハ一層深甚ナルモノアラムトス願フニ此ノ曠古ノ變局ニ處シテ獨フ所ヲ誤ラズ更ニ戰後激甚ナラムトスル國際ノ競爭ニ應ジテ帝國ノ基礎ヲ堅實ニシ毅然トシテ其ノ重キヲ中外ニ爲サシムルモ國家活力ノ源泉タル青年ノ努力ニ待ツ所多シ之ヲシテ益國體ノ精華ヲ尊重シ心身ヲ研磨シテ將來更ニ規模ノ大ヲ加フヘキ實務ノ負擔ニ堪フルノ力ヲ涵養セシムルハ刻下最要ノ先務タリ青年團體ノ指導ヲ以テ任ト爲ス者ハ宜シク立國ノ本義ト世界ノ大勢トニ徴シテ其ノ適應スル所ヲ闡明シ能ク青年ノ心理ヲ瞭解シテ理之ヲ誨ヘ情之ヲ掖ケ身ヲ以テ範ヲ示シ苟モ其ノ歸趨ヲ誤ラシメサラムコトヲ期スヘシ若シ夫レ經濟ノ變調ニ伴ヒテ弊障頗唐漸ク其ノ風ヲ成ス力如キニ至リテハ國家ノ健全ナル進運ヲ茶毒スルコト夥シトセス青年ノ教養亦宜シク此ニ留意シテ其ノ操守ヲ堅ウセシメ益篤實剛健ノ氣風ヲ興サシムルニ務ムヘシ

今青年團體ノ現狀ニ顧ミ之カ健全ナル發達ニ資ムヘキ當今ノ要項ヲ左ニ條舉シ以テ地方ノ實況ニ照シ參酌其ノ宜シキヲ制セシムコトヲ期ス

- 一、青年ヲシテ實地活用ノ智徳ヲ進メシムルハ補習教育ニ待ツモノ多シ之カ施設ニ勉メ相率井テ學ニ就カシメ以テ其ノ普及ト徹底ヲ圖ラムコトヲ要ス
 - 一、公共ノ精神ヲ養ヒ公民タルノ性格ヲ陶冶スルハ青年ノ數ニ於テ關クヘカラサル要綱タリ補習教育ノ施設其ノ他適切ナル方法ヲ講シ以テ其ノ目的ヲ達成セムコトヲ要ス
 - 一、方今圖書ノ刊行セラルルモノ多ク之ニ伴ウテ青年ノ讀書趣味ヲ増進スモノ夥シトセス能ク其ノ選擇ヲ慎ミ青年ヲシテ健全ナル識見ヲ廣ウセシムコトヲ要ス
 - 一、青年ノ身体ヲ鍛鍊シテ其ノ体力ヲ増進スルハ國家ノ活力ヲ養フノ要素タリ心身共ニ堅實ナル素質ヲ大成セシメ平時並有事ノ秋ニ處シテ其ノ本分ヲ盡スニ於テ遺憾ナカラシムコトヲ要ス
 - 一、青年ノ修養ハ各自ノ自覺ヲ以テ本トス而モ之カ指導ノ任ニ當ル者並其ノ中心タル者ノ力ニ待ツ所殊ニ大ナルモノアルヲ以テ適切ナル方法ニ依リ之カ善導ト養成トニ勉ムコトヲ要ス
 - 一、青年團體ハ指導方法ニ關シ先進者ノ所見時ニ抵牾矛盾ニ涉リ之カ實行爲ニ阻碍ヲ見ルコトナキニアラズ能ク其ノ間ノ聯絡ヲ圖リ其ノ果ヲ成シ實ヲ收ムルニ於テ遺憾ナカラムコトヲ要ス
- 方今内外ノ情勢ヲ稽フニ根柢アリ活力アル青年團體ハ帝國殊ニ要求シテ己マサル所ナリ都市當局者ハ深ク此ニ顧ミ今後一段ノ精彩ヲ加ヘテ之カ啓發策進ニ努力シ各團體ヲシテ其ノ目標ヲ齊ウシ其ノ步調ヲ一ニシ相互ニ督勵シテ能ク其ノ形体實質共ニ一貫セル鍛成ノ美ヲ濟サシムヘシ

○青年團體ノ發達助成ニ關スル件

縣訓三(六九、二)

社會教育

四六四

青年團體ノ實績近來漸ク見ルヘキモノアルハ邦家ノ爲洵ニ喜フヘキ所ナリ然レトモ益其ノ内容ヲ整理シ實質ヲ改善シテ健全ナル發達ヲ遂ケシムルニハ今後尙施設スヘキ事項夥シトセス特ニ自立以テ大ニ其ノ力ヲ展ヘシムル團體ノ本旨ニ順ミテ頗ル緊要ノ事ニ屬ス隨ツテ其ノ組織ハ之ヲ自治的ナラシムルニ努メ團體ノ事ヲ統フル者ハ之ヲ團體員ノ中ヨリ推舉セシムルヲ本則トスヘク其ノ官公署學校等トノ關係ニ至リテハ互ニ氣脈ヲ通シ連絡ヲ圖リ相提携シテ之カ發達ヲ助成セムコトヲ要ス平和克復シテ大詔煥發セラレ國家正ニ重要ノ時機ナリ此時ニ際シテ國民ノ奮勵努力ヲ要スル殊ニ切ナルモノアリ青年團體ハ思テ茲ニ致シ益堅實ノ俗ヲ興シ剛健ノ風ヲ養ヒ其ノ使命ノ重キニ副ハムコトヲ要ス各位能ク此ノ趣旨ヲ体シ地方ノ實情ニ鑑ミテ策勵宜シキヲ制シ以テ其ノ貫徹ヲ期セムコトヲ望ム

○青年團獎勵規程

縣令二七(六一二、四)

- 第一條 縣部市聯合青年團ニシテ獎勵ノ必要アリト認ムルモノニ對シテハ本令ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金額ハ當該年度ニ於ケル其ノ團事業費豫算額ニ準シテ之ヲ定ム
- 第三條 獎勵金ヲ受ケムトスル青年團ハ其ノ代表者ヨリ左ノ事項ヲ具シ其ノ年五月底迄ニ知事ニ申請スヘシ
 - 一、其ノ年度ニ於ケル歳入歳出豫算書
 - 二、經營事業ノ概要
 - 三、所屬團體及所屬團員ノ負担額

四、基本財産ノ總額並利殖狀況

- 第四條 獎勵金ヲ受クル青年團ハ其ノ年度間經費支出ノ義務アルモノトス
- 第五條 獎勵金ヲ受クル青年團ニシテ其ノ豫算額ニ比シ實支出少額ナルトキハ其ノ支出額ニ準シテ獎勵金額減少シ又ハ其ノ既ニ交付シタル獎勵金ノ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ
- 第六條 獎勵金ヲ受クル青年團ニシテ豫算ヲ變更シ又ハ定款團則等ヲ制定改廢セムトスルトキハ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第七條 獎勵金ヲ受クル青年團ハ左ノ事項ニ關シテハ其ノ代表者ヨリ遲滞ナク知事ニ報告スヘシ
 - 一、代表者ノ異動
 - 二、收支決算
 - 三、事業執行ノ概況

第八條 獎勵金ヲ受クル青年團ニシテ本規程ニ違背シタルトキハ獎勵金ヲ取消シ又ハ獎勵金ヲ減少シ其ノ既ニ交付シタル金額ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第九條 知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ獎勵金ヲ受クル青年團ニ就キ其ノ帳簿書類等ノ検査ヲ行フコトアルヘシ

○青年團體ノ設置並指導ニ關スル事項目的等ニ關スル件

縣訓七(大五、五)

明治三十八年七月十四日付學乙第二〇四一號ヲ以テ青年團組織條項ノ大要ヲ公布スルヤ縣下各青年團體ハ概ネ該

條項ニ準據シテ組織セラレ逐年穩健ナル發達ヲ遂ケテ其ノ成績モ亦見ルヘキモノアリ然レドモ其ノ内容施設ニ至リテハ尙考慮スヘキモノアルヲ認メ客年九月二十一日付學甲第一五八四號ヲ以テ内務、文部兩大臣ノ訓令並兩次官通牒ノ趣旨ヲ移譯シ以テ其ノ改善ヲ促シタリ惟フニ青年ハ心身兩ナカラ發育ノ過渡期ニ屬シ其ノ思想感情ハ動搖極リナク動モスレハ微細ノ刺激モ能ク感受シテ意外ノ結果ヲ來スアリ苟モ其ノ指導ヲ誤リ其ノ施設ニ缺クルアラシカ餘弊遂ニ測リ知ルヘカラス加フ今ヤ内外多事日進ノ世ニハ一般國民ノ自覺ト奮勵トヲ要望スルノ秋ニ方リ我力青年ヲ指導誘掖シテ大ニ其ノ心身ヲ修練セシメ以テ國家活力ノ源泉國運伸暢ノ根柢ヲ培養スルハ洵ニ緊要事タリ青年團ヲ設ケ其ノ規則ヲ編成スルモノ地方各々情況ヲ異ニシ細目ノ相違素ヨリ當然ナリト雖凡ソ左ニ列記シタル事項ハ團員ノ指導ト訓練トニ必要ナリト信ス宜シク其ノ趣旨ヲ參酌シ適當ノ規則ヲ設ケ夙夜淬厲實踐ノ發揚ヲ期スヘシ

青年團ノ設置並指導ニ關スル事項目的及綱領

- 一、青年團體ハ青年ヲシテ健全ナル國民善良ナル公民タルノ修養ヲ爲サシムルヲ以テ本旨トス
- 一、青年團體ノ綱領概ネ左ノ如シ
 - (一) 團體ノ尊嚴ヲ自覺シ敬神崇祖及忠孝ノ志操ヲ鞏固ニシ其ノ實ヲ顯クヘシ
 - (二) 武勇勞働及衛生ノ力ニ依リ大ニ體力ノ増進ヲ圖ルヘシ
 - (三) 勤勉力行樂ンテ自己ノ本務ヲ遂行スル美風ヲ養成スヘシ
 - (四) 實質、剛健ノ氣象ヲ鼓舞シテ自助自營ノ基礎ヲ定メ他ニ對シテハ推讓ヲ重シテ團體的精神ヲ養成スヘシ

(五) 立憲自治ノ思想ヲ涵養スヘシ

(六) 日常必須ノ知能ヲ練磨シテ時勢ノ進展ニ伴フヘシ

組織

- 一、青年團體ハ市町村内ニ於ケル義務教育ヲ修了シタル者及學齡ヲ超エタル者ヲ以テ組織ス
- 一、團員ノ最高年齡ハ二十年ヲ常例トス但土地ノ狀況ニヨリ三十年マテ之ヲ延長スルコトヲ得
- 一、二十年ヲ超エタル團員ヲ含ム青年團體ニ於テハ團員ヲ二部ニ分ツヘシ
 - 前項ノ場合ニ於テハ二十歳未満ノ團員ヲ第一部トシ二十歳ヲ超エタル團員ヲ第二部トス

設置

- 一、青年團體ハ市町村ヲ區域トシテ組織スヘシ但土地ノ狀況ニ依リ部落又ハ小學校通學區域等ヲ區域トシテ組織シ又ハ之ニ支部ヲ置クコトヲ得
- 一、數個ノ青年團ヲ設置セル市町村ニ於テハ聯合青年會ヲ組織シ其内青年團體ノ連絡並統一ヲ圖ルヘシ
- 一、郡又ハ縣市ニ於テハ弊害ノ生セサル限度ニ於テ聯合會ヲ組織スルコトヲ得

事業

- 一、青年團體ノ主要ナル事業左ノ如シ
 - (一) 心身ノ修練
 - (二) 補習教育
 - (三) 實業振作

(四) 公共事業

- 一、二十歳未満ノ團員ハ專ラ前條第一號及第二號ノ修養ニカメ兼テ第三號及第四號ノ實行ニ留意スヘキモノトス
- 一、二十歳ヲ超エタル團員ハ前條第三號及第四號ノ實行ヲ眼目トシ兼テ第一號及第二號ノ完成ニ留意スヘキモノトス
- 一、心身ノ鍛鍊ニ關シテ留意スヘキ事項左ノ如シ
 - (一) 精神講話、修養會、武術會其他ノ方法ニ依リ眞摯、剛健、敢爲、禮節、進取、向上、廉耻ノ精神ヲ涵養スヘシ
 - (二) 遠足、旅行、運動會、相撲、水泳、勞働、競争等ヲ獎勵シテ大ニ體力ヲ充實シ持久勤勞ノ要素ヲ確立スヘシ
- 一、補習教育ニ關シテ留意スヘキ事項左ノ如シ
 - (一) 二十歳未満ノ團員ハ補習學校若クハ夜學會等ニ於テ準義務的ニ補習教育ヲ受ケシムヘシ但二十歳ヲ超エタル團員ト雖モカノ補習教育ヲ受ケシムヘシ
 - (二) 教授ノ季節、場所、時間、學科、教材、及學級編制等ニ關シテハ明治三十五年三月六日岡山縣訓令第十號實業補習學校ノ趣旨及施設順序方法ノ精神ヲ參酌シ土地ノ情況ニ應シ夫々適切ナル措置ヲ取ルヘシ
 - (三) 團體ノ尊嚴、國民性ノ啓發、公務思想ノ養成、殖産興業時勢ノ進運、青年ノ責務等ニ關スル事項ハ特ニ注意シテ教授スルヲ要ス

- (四) 社會一般ヲシテ補習教育ノ必要ヲ感知セシメ其ノ振興ヲ援助セシムヘシ
 - (五) 教授ヲ實際的ナラシメ大ニ青年ノ向學心ヲ喚起スヘシ
 - (六) 青年ノ心理並身體ノ情況ニ適應シタル施設ヲナシ妄ニ其ノ自由ヲ拘束スヘカラス
 - (七) 適切ナル獎勵的施設ヲ振作スヘシ
 - (八) 教師ニハ相當ノ手當ヲ給スヘシ
 - (九) 教師ノ學力補充ニ關シテハカノ便宜ヲ與フヘシ
 - (一〇) 隨時高德ノ士ヲ聘シテ通俗講話會ヲ開催スヘシ
 - (一一) 講習會ヲ開催シ土地ノ狀況ニ須要ナル知能ヲ啓發スヘシ
 - (一二) 時宜ニ應シ部落巡迴講話若クハ他郡市町村教員等ノ相互講演ヲ行フヘシ
 - (一三) 地方年中行事其ノ他適當ノ機會ヲ利用シ隨時適切ナル教育施設ヲ爲スヘシ
 - (一四) 財政ノ許ス限リ巡迴文庫、簡易圖書館等ヲ設置スヘシ
 - (一五) 健全ナル娛樂的施設ヲナシ高尚ナル品性ヲ陶冶スヘシ
 - (一六) 隨時見學旅行ヲ行ヒ見聞ヲ弘カラシムヘシ
- 一、實業振作及公共事業ニ關シテ留意スヘキ事項左ノ如シ
- (一) 時勢ノ進運ニ伴ヒ實業振作ノ帝國隆昌ノ一大要件ナル所以ヲ覺知セシメ至誠勤勉家事ヲ樂マシムヘシ
 - (二) 實業ニ關スル知識技能ノ練磨ニカメ恒ニ研究的趣味ヲ向上セシムヘシ
 - (三) 公共事業ハ須ラク土地ノ情況ニ鑑ミ最モ適切ナルモノヲ選フヘシ

(四) 公共事業ハ團員各自ノ家業ニ精勵シタル餘力ヲ以テ之ニ當ラシムヘシ
 (五) 二十歳未満ノ團員ヲシテ實業ノ振作並公共事業ニ從業セシムルハ其ノ修養ニ資スル目的ヲ超エサル限度ニ於テ爲スコトヲ要ス

指導

一、青年團體ノ指導者ニハ小學校長及職員又ハ市町村長及市町村吏員其ノ他名望アル者ノ中ニ就キ最モ適當ト認ムルモノヲシテ之ニ當ラシメ警察官、在郷軍人、神官、僧侶其ノ他篤志者中適當ナルモノヲシテ協力指導ノ任ニ當ラシムヘシ
 一、團體員タルノ年齢ニ過キタル者ハ團體ノ援助者トシテ其ノ力ヲ竭サシムヘシ

維持

一、青年團體ニ要スル經費ハ力メテ團體員ノ共同勤勞ニ依ル收入ヲ以テ之ヲ支辨セシムヘシ會費ヲ徴收スル場合ニ於テモ亦力メテ團員各自ノ勤勞ニ依ル收入ヲ以テ之ニ充テシメ且ツ可成負擔ヲ輕カラシムヘシ
 前項ノ勤勞ハ團員各自ノ家業ヲ妨ケサル範圍ニ於テ之ヲ行ハシムヘシ
 一、團體ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル爲メ漸次基本財産ノ蓄積ヲ圖ルヘシ

事務

一、青年團體ノ狀況ヲ明確ナラシムル爲メ沿革誌、團員名簿、會計簿、行事録、文書綴其ノ他必要ナル帳簿ヲ備フヘシ

一、前條ノ帳簿ハ團員分擔シテ其ノ整理ニ任スルモノトス

聯絡

一、青年團體ハ小學校ト密接ナル聯絡ヲ保チテ其ノ指導誘掖ヲ受ケ兼テ普通教育ノ振興ヲ援助スヘシ
 一、青年團體ハ在郷軍人會、農會其ノ他ノ公共團體ト聯絡ヲ保チ心身ノ修練及興業ニ關スル知能啓發ニ勉ムヘシ
 一、青年團體ハ警察官ニ助力シ消防衛生及風紀ニ關スル實績ヲ發揚スヘシ

○學校教練及青年訓練修了者檢定規程 陸省二(昭三)一〇

第一章 學校教練

第一條 配屬將校(陸軍現役將校學校配屬)又ハ大正十四年勅令第二百四十六號ニ依リ學校ニ配屬シタル現役將校ヲ謂フ以下同シ)ハ當該學校又ハ大學學部ノ最終學年ニ於テ成ルヘク卒業期ニ近ク其ノ年卒業スヘキ者(大學學部ニ在リテハ教練ヲ受ケタル者ニ限ル)ニ付教練ノ成績ヲ檢定シ卒業ノ際其ノ合否ヲ決定スヘシ但シ卒業期ニ近ク檢定ヲ行ヒ離キ已ムヲ得サル事情アル學校ニ於テハ其ノ檢定ノ時期ニ付別ニ指定スルコトアルヘシ
 陸軍補充令第五十三條第一項第三號(ロ)號又ハ(ハ)號ニ該當スル者ニシテ當該學校ヲ中途退學スル者ニ對シテハ其ノ際教練ノ成績ヲ檢定シ其ノ合否ヲ決定スヘシ但シ當該學校ニ入校前既ニ前項ノ檢定ニ合格シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
 身體ノ故障ニ因リ當該學校ニ在學中教練ヲ課セラレサル者ニ付テハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第二條

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教練ノ檢定ニ於テ之ヲ合格ト爲スコトヲ得ス

(イ) 正當ノ事由ナクシテ屢教練ニ闕席シ其ノ他教練實施ニ於テ怠慢ニシテ訓戒ヲ受クルモ改悛セサル者

(ロ) 前學校ニ於ケル檢定ニ合格セザリシ者ニシテ尙其ノ成績擧ラサル者

(ハ) 前各號ニ掲クル者ノ外教練ノ成績不良ナル者

前條ノ規定ニ依リ合否ヲ決定スルニハ最終學年以前ノ學年(前條第二項ノ規定ニ依リ合否ヲ決定スル者ニ付テハ前學校又ハ前學年)ニ於ケル教練ノ成績ヲ參酌スルコトヲ要ス

第三條

配屬將校ヲ附シタル學校又ハ大學學部ニ在學シ同校ヲ卒業スヘキ者ニシテ當該學校又ハ大學學部ニ入校スル前配屬將校ニ依リ教練ヲ受クルコトヲ得ザリシ者ト雖モ前條第一項(イ)號又ハ(ハ)號ノ規定ニ該當セサル限り合格ト爲スコトヲ妨ケス

第四條

配屬將校ハ教練ノ檢定ヲ行ヒ其ノ合否ヲ決定シタルトキハ其ノ結果ヲ記錄シタル原簿正副二本ヲ調製シ正本ハ配屬將校之ヲ保管シ副本ハ所管師團長ニ提出スヘシ

師團長前項ノ副本ヲ受ケタルトキハ之ヲ保管スヘシ

第五條

配屬將校(師範學校ノ配屬將校ヲ除ク)ハ第一條ニ規定スル教練ノ檢定ニ合格シタル者ニシテ幹部候補生タルコトヲ志願スル爲又ハ一般現役兵トシテ入營スル爲若ハ歩兵隊ノ教育召集ニ應スル爲教練檢定ノ合格ニ關スル證明書ノ下付ヲ願出ツル者アルトキハ前條ノ原簿ニ基キ教練檢定合格證明書(附錄第一號様式)ヲ調製シテ之ヲ下付シ其ノ本籍地及氏名ヲ本人本籍地ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

師範學校ノ配屬將校ハ其ノ年當該學校ヲ卒業スヘキ者ニシテ教練檢定ニ不合格見込ノ者ノ本籍地及氏名ヲ二月末日迄ニ到著スル如ク本人本籍地ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

師範學校ノ配屬將校ハ短期現役兵トシテ服役スル者ニシテ教練ノ檢定ニ合格シタル者ニ對シテハ第一項ノ教練檢定合格證明書ヲ下付シ、教練ノ檢定ニ合格セサル者ニ對シテハ其ノ本籍地及氏名ヲ本人本籍地ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ但シ前項ノ通知ト相違ナキトキハ其ノ旨通知スルコトヲ以テ足ル

配屬將校ハ第一項又ハ前項ニ規定スル場合ノ外教練檢定ノ合格ニ關スル證明書ノ下付ヲ願出ツル者アルトキハ之ヲ下付スルコトヲ得

第六條 配屬將校ハ當該學校ニ於テ教練ヲ受クル者ニシテ兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依リ青年訓練所ノ訓練ト同等以上ノ訓練ヲ受ケタル者ト認定セラレタル者(前條ニ規定スル教練檢定合格證明書ヲ下付シタル者ヲ除ク)ニ對シテハ本人ノ申出ニ依リ教練證明書(附錄第二様式)ヲ下付スヘシ

第七條 配屬將校ハ第一條ノ規定ニ依リ教練ノ檢定ヲ行ヒタルトキハ其ノ結果ヲ附錄第三様式ニ依リ五月三十一日迄ニ到著スル如ク所管長官ニ報告スヘシ

所管長官前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ六月三十日迄ニ到著スル如ク陸軍大臣ニ提出スヘシ

第八條 配屬將校ハ當該學校又ハ大學學部ヲ卒業又ハ中途退學シ入營スル者ニ付入營後ノ教育上特ニ必要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ入營前本人本籍地ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

聯隊區司令官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ本人ノ入營スル部隊長ニ通知ヘスシ

第九條 配屬將校ハ當該學校又ハ大學學部ニ入學又ハ他校ヨリ轉校シタル者アルトキハ入學又ハ轉校前ノ學校配屬將校ニ其ノ旨ヲ通知スベシ但シ大學學部ニ在リテハ教練ヲ受クル者ニ限ル
前項ノ通知ヲ受ケタル配屬將校ハ本人ノ教練ノ檢定ノ合否又ハ成績其ノ他必要ト認ムル事項ヲ當該學校配屬將校ニ通知スヘシ

第二章 青年訓練

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者現役歩兵（戰車兵ヲ除ク）トシテ歩兵聯隊ニ入營シタルトキハ入營後（滿洲駐節師團駐節隊ニ屬スル者ニ在リテハ駐節地ニ到着後以下同シ）成ルヘク速ニ所屬中隊長ニ於テ檢定ヲ行ヒ其ノ結果ニ付聯隊長ノ認可ヲ受ケ合否ヲ決定スヘシ

一、青年訓練所ノ課程ヲ修了シ其ノ修了證又ハ證明書ヲ有スル者

二、青年訓練所規程第八條ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ修了シ其ノ證明書ヲ有スル者

三、第六條ニ規定スル教練證明書ヲ有スル者

第十一條 師團長（臺灣ニ在リテハ軍司令官以下同シ）ハ前條ニ規定スル檢定ト關シ必要ト認ムル事項ヲ豫メ歩兵聯隊長ニ指示スルコトヲ得

第十二條 歩兵聯隊長ハ各中隊ニ於ケル檢定實施ヲ統一スル爲必要ナル處置ヲ講スヘシ

第十三條 歩兵聯隊長（滿洲駐節師團ニ在リテハ留守部隊ノ分ヲ取纏メ以下同シ）ハ檢定實施ノ期日ヲ定メ其ノ

期日二十日前迄ニ到着スル如ク師團長ニ報告シ師團長ハ之ヲ取纏メ檢定實施期日十日前迄ニ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第十四條 檢定ノ合否ヲ決定スルニ當リテハ一般ニ受檢者ノ徳性ニ重キヲ置キ尙之ニ教練ノ成績ヲ參酌スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ合格ト爲スコトヲ得ス

一、青年訓練ヲ受ケタル間ノ徳性並ニ隊後ノ狀況ニ依リ將來進步ノ見込渺シト認メタル者

二、教練ノ成績不良ナル者

中隊長檢定ノ合否ヲ決定シタルトキハ之ヲ本人ニ通告スヘシ

第十五條 檢定ノ課目ハ概ネ左ノ各號ニ依リ其程度ハ附表ニ依ル

一、教練術科中適宜ノ課目

二、教練ニ關スル試問應答出シ必要ニ應シテ一部ヲ筆記答解セシムルコトヲ得

第十六條 歩兵聯隊長ハ每年初年兵入營後五十日以内ニ左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ師團長ニ提出シ且ツ

同一ノ事項ヲ關係聯隊區司令官ニ通知スヘシ

一、檢定ノ方法

二、青年訓練修了者檢定調査表（附錄第四樣式）

三、青年訓練修了者檢定結果表（附錄第五樣式）

四、將來ニ關スル意見

社會教育

五、其ノ他必要ト認ムル事項
 第十七條 師團長ハ每年初年兵入營後六十日（第十九師團滿洲駐師團及臺灣軍ニ在リテハ七十日）以内ニ到者
 スル如ク左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ調製シテ陸軍大臣ニ提出シ且前條ノ檢定結果表ヲ關係ノ地方長官
 ニ送付スヘシ
 一、第十一條ノ規定ニ依リ指示シタル事項
 二、前條ノ規定ニ依リ檢定ニ關シ各聯隊長ヨリ提出シタル報告書（檢定結果表ヲ除ク）
 三、將來ニ關スル意見
 四、其ノ他必要ト認ムル事項
 第十八條 本章ノ規定ハ教育ノ爲步兵隊ニ召集セラレタル者ニシテ第十條各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ準用ス
 第十九條 歩兵（戰車兵ヲ除ク）、衛生部兵卒及輜重輸卒以外ノ陸軍兵トシテ徵集セラレタル者ニシテ第十條各號
 ノ一ニ該當スル者ニ付テハ同條ニ規定スル檢定ニ合格シタル者ト看做ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 大正十五年陸軍省令第二十五號青年訓練修了者檢定規程ハ之ヲ廢止ス
 從前ノ學校教練ノ檢定ニ關スル規定ニ依リ檢定ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ本令ニ依リ檢定ヲ受ケ合格シタルモノ
 ト看做ス
 兵役法附則第四項ノ規定ニ依リ入營ヲ延期セラレタル者ニ對シ當該學校ノ配屬將校ニ於テ教練ノ檢定ヲ行ヒ合否
 ヲ決定シタルトキハ其ノ者ノ教練檢定ノ合否ニ付其ノ年八月三十一日（昭和三年四月入營スル者ニ限リ二月末日）
 迄ニ本人本籍地ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ
 大正十五年陸軍省令第二十五號青年訓練修了者檢定規程ニ依リ甲又ハ乙ト判定シタル者ハ本令ニ依リ合格又ハ不
 合格ト決定シタル者ト看做ス

附表

教練程度表

教材	程度
各個教練	一徒手各個教練ハ略完全ニ收得シ居ルコト
部隊教練	二射撃ノ姿勢ハ徒手ニ於ケル各種ノ姿勢ヲ略完全ニ修得シ居ルコト 三部隊教練ハ密集及疎開ノ動作ニ付分隊教練ニ在リテハ略確實ニ、小隊教練ニ在リテハ其ノ概要 ヲ會得シ居ルコト
陣中勤務	四陣中勤務ハ搜索及警戒ニ關シ各個ノ動作ノ要領ヲ會得シ居ルコト
距離測量	五距離測量ハ步測及目測ニ付略正確ニ測量シ得其ノ他ハ概要ヲ會得シ居ルコト
旗信號	六旗信號ハ簡單ナル通信ノ要領ヲ會得シ居ルコト
軍事講話	七軍事講話ハ平時團隊ノ配置、編制ノ大要、各兵種ノ職能、階級、服制、勳章、記章、軍隊生活 服役ノ大意、典令範中必要ノ事項等ニ付其ノ概要ヲ得會シ居ルコト
備考	過渡期ニ於テハ本表ノ教材及其ノ程度ニ應ジ適宜之ヲ定ムルモノトス

附錄第一樣式

教練檢定合格證明書

（用紙適宜）

本籍地 府縣都市區町村字番地

氏名

社會教育

四七一ノ七

社會教育

四七一ノ八

右ハ當校(大學令ニ依ル大學學部)卒業ノ際行ヒタル教練ノ檢定ニ合格シタルコトヲ證ス

何學校(所在地府縣郡市區町村)

配屬將校 官氏

名(同前)

年 月 日

註記

- 一、中途退學ノ際檢定ヲ行ヒタル者ノ教練檢定合格證明書ハ本様式ニ準ズ
- 二、當校ノ下括弧中ニハ學校ノ種類ヲ記載スルモノニシテ本様式ハ其ノ一例ヲ示ス

附錄第二様式

(用紙適宜)

教練證明書

本籍地 府縣郡市區町村字番地

氏 名

右ハ當校(大學令ニ依ル大學學部)第 學年ヨリ第 學年ニ至ル間學校教練ヲ受ケタルコトヲ證ス

何學校(所在地府縣郡市區町村)

配屬將校 官氏

名(同前)

年 月 日

註記

當校ノ下括弧中ニハ學校ノ種類ヲ記載スルモノニシテ本様式ハ其ノ一例ヲ示ス

附錄第三様式

學校教練檢定結果表

年 月 日

何學校配屬將校 官氏

名(同前)

受檢生徒總人員	檢定合格人員	檢定不合格人員	第一條第三項該當人員
備考			

註記

- 一、大學學部ニ在リテハ卒業學生總數ヲ備考中ニ記載スベシ
- 二、第一條第二項ノ規定ニ依リ檢定ヲ行ヒタルトキハ其ノ結果ヲ本表ニ準ジ調製スベシ
- 三、檢定ニ於テ不合格ト爲リタル者ニ付テハ其ノ事由別人員ヲ備考中ニ記載シ且理由中特ニ必要ト認ムル事項ハ其ノ概要ヲ備考中又ハ別紙ニ記載スベシ

社會教育

四七一ノ九

青年訓練所指導員並入所生ニ對シテハ國有鐵道旅客及荷物運送規則第三十一條第五十二條及第七十八條ニ依ル學生定期乘車券ノ發賣及學校職員學生生徒ニ對スル運賃ノ割引並學生團體ノ特別割引ノ規定ヲ適用セザル義ニ有之(下略)

○徵兵検査ニ際シ青年訓練所生徒ノ出席證明

方ニ關スル件 教第三二五號學務部長通牒(昭二、三、二五)

青年訓練所充當實業補習學校長宛 (阿哲支應管内及岡山市ヲ除ク)
 (全) (上)

從來徵兵検査ニ際シ行ヒ來リタル壯丁教育成績調査ニ就テハ青年訓練所實施後ノ情況ニ顧ミ其ノ訓練ノ効果ヲモ參考ニ資スルノ目的ニ基キ壯丁教育調査要項改正相成候ニ就テハ各壯丁ニ關シ其ノ既往ノ學歷及現ニ青年訓練所ノ訓練ヲ受ケ且ツ其ノ出席優良ナルヤ否ヤヲ調査致スコトニ相成居ルヲ以テ右優良出席ニ就キテハ左記標準ニ依リ青年訓練所主事充當實業補習學校長及青年訓練所規程第八條ノ學校長ニ於テ本人ノ所持セル青年訓練手帳ノ備考欄ニ夫々出席優良ナル旨記入證明ノ上徵兵検査ノ際本人ヲシテ持參セシムル様取計相成度此段通牒候也

記

青年訓練所優良出席者標準時數

年次別	標準時數		備考
	教練	其ノ他ノ訓練項目	
昭和二年徵兵検査ヲ受クル者	一〇〇 <small>時</small>	五 <small>時</small>	昭和元年十二月末日迄ニ受ケタル訓練時數ヲ標準トス
昭和三年徵兵検査ヲ受クル者	二〇〇	一五〇	前年末日迄ニ受ケタル訓練時數ヲ標準トス
昭和四年徵兵検査ヲ受クル者	三〇〇	二五〇	以下同シ
昭和五年徵兵検査ヲ受クル者	三〇〇	三〇〇	
全 六年以降徵兵検査ヲ受クル者	以下同前	以下同前	

備考

- 一、充當實業補習學校、青年訓練所規程第八條ノ學校在學者ニシテ徵兵検査ヲ受クル者ニ就テモ前表ノ標準ニ依ルコト
 - 一、前表ノ標準時數中ニハ所定ノ條件ニ依リ免除シタル訓練時數ヲ含ムコト
- 社會教育

社會教育

四七一ノ一四

○青年訓練所認可書類ニ關スル件 教第八六五號學務部長通牒(昭二、四、一三)

市町村長宛
青年訓練所ニ關シ知事ノ認可ヲ要スル書類ハ自今三通宛御提出相成度

○青年訓練所費補助ニ關スル件 教第三〇七六號學務部長依命通牒(昭二、二、二六)

阿西支廳管内ヲ除ク
青年訓練所管理者 宛
青年訓練所充當實業補習學校管理者 宛
青年訓練所費補助金ハ自今青年訓練所管理者又ハ青年訓練所充當實業補習學校管理者ノ申請ニ依リ審査ノ上市町村市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ交付可相成ニ付左記様式ノ申請書ヲ毎年一月十日限り御提出相成度此段依命通牒候也

申請記

岡山縣何郡(市)何青年訓練所
又ハ岡山縣何郡(市)青年訓練所充當何實業補習學校
管理者 氏 名 宛

岡山縣知事 宛
年 月 日

○青年訓練所費補助金下附ニ關スル件

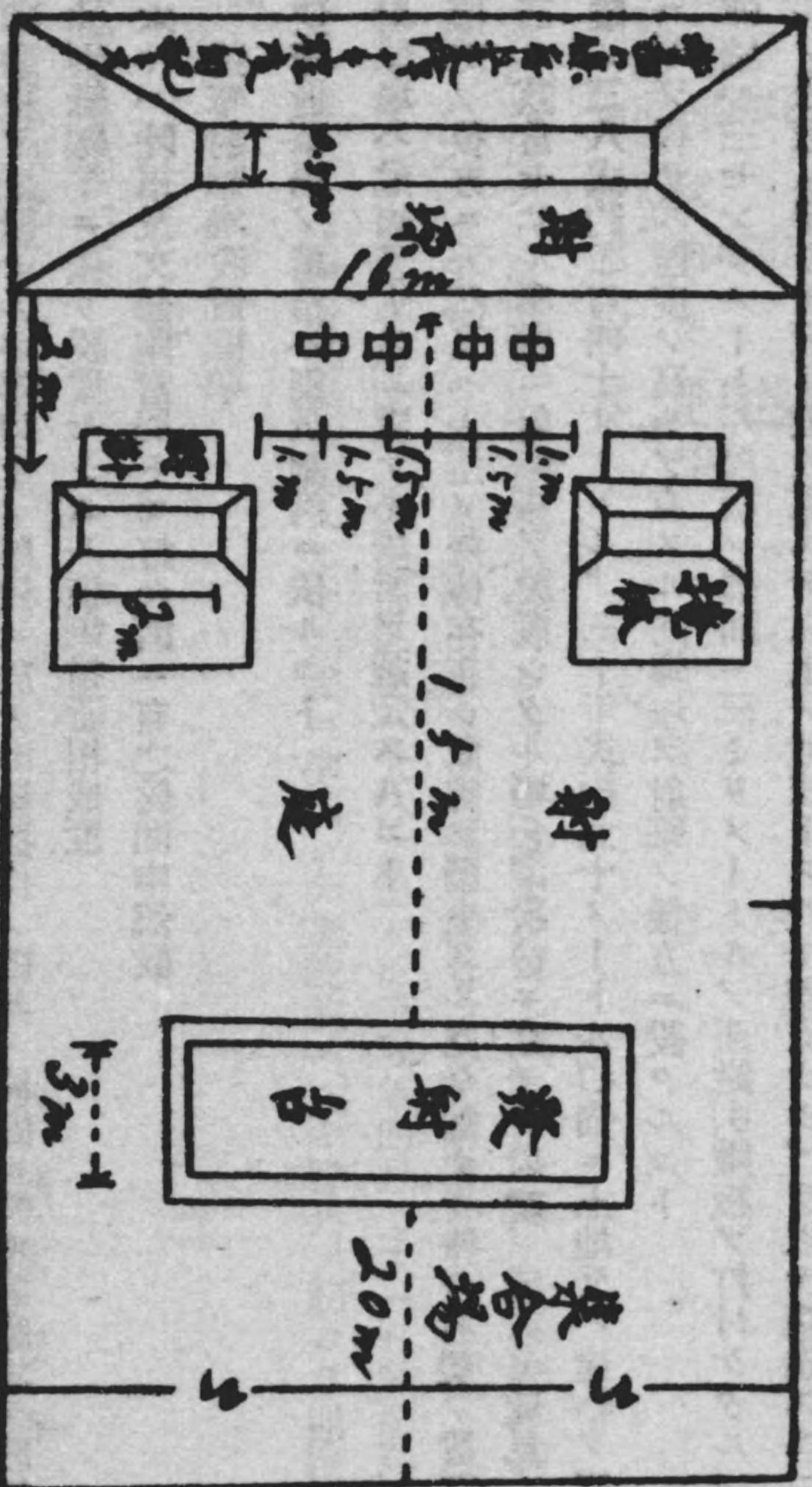
昭和二年十二月二十六日依命通牒相成候首標ノ件ニ關シ別紙關係書類ヲ添付シ申請候也
(別紙)
主事指導員手當支給狀況

職名	擔當訓練項目	氏名	年手當額	支拂		計額
				自四月至三月支拂精算額	自一月至三月支拂見込額	
主事						
指導員						
全						
全						
計						

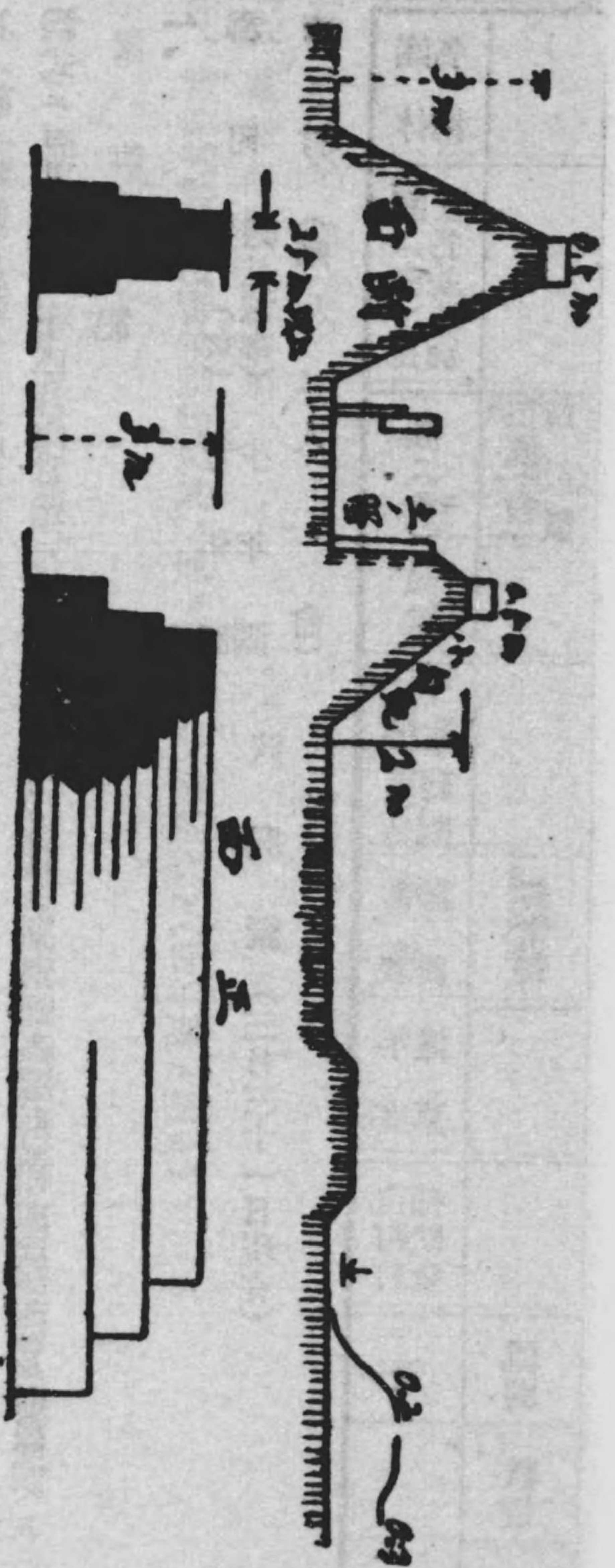
備考
青年訓練所規程第六條ニ依リ青年訓練所ニ充當シタル實業補習學校ニ在リテハ青年訓練ヲ實施スル爲ニ支給セル職員ノ手當額ニ就キ記入スルコト
社會教育

四七一ノ一五

八、兩監的場掩体ノ間ニ設クル標的(大体九十センチメートル方形トスルコト)數ハ最大限四個ト爲スコト
九、監的所ニ交通スル時ハ一時射撃ヲ中止スルコト



狹窄射撃場構造要領圖1
100



左圖ハ射撃台土表又ハ土囊ヲ以テ
築造スル場合ノ構造 圖ノ示ス

○青年訓練ニ於ケル危害豫防ニ關スル件 教第三三四五號學務部長通牒(昭三、一一、六)

阿 哲 支 廳 長
市 青 年 訓 練 所 主 事 長
青 年 訓 練 所 充 當
實 業 補 習 學 校 長
宛 (阿哲支廳管内及岡山)
(市、倉敷市内ヲ除ク)
(全 上)

青年訓練振興ノ目的ヲ以テ近時演習ヲ計劃實施セラルモノ多キハ喜フヘキコトニ有之候ヘ共之ニ伴フ不慮ノ危
社 會 教 育

社會教育

四七一ノ二〇

書ヲ豫防スルコトニ細心ノ注意ヲ要スルハ言フ俟タサル義ニ有之候條自今危害ヲ未然ニ防止候様特ニ御留意相成度

○男女青年團少年團婦人會等調査ニ關スル件

教第一三四五號學務部長通牒(昭二、四、三三)

市 町 村 長 宛 (阿哲支應管内ヲ除ク)

其ノ筋ニ報告ノ必要有之從來郡市役所ニ於テ取纏メ報告シ來リ候首標ノ調査ハ自今毎年三月末日現在ヲ以テ別記様式ニヨリ調査ノ上四月末日迄ニ當應ニ到達候様御報告(用紙美濃形)相成度此段及通牒候

記

一、 郡 町 男 男 (女) 少年 青年 團 團
市 村 (婦 人) 會 會
狀 況 調 査 (三月三十一日現在)

團體名稱	團(會)長氏名並種別	團(會)員數	正團(會)員年齡範圍	當該年度豫算經常費	市町村補助金	資 產	備 考
		正團(會)員數				種別 數量 見積價額	
		合計					
				臨時費			
		合計					

沿 革 ノ 大 要	其(他)ノ團(會)員數	臨時費
二、沿革ノ大要		
三、當該年度施設事項		
四、實業補習學校青年訓練所其ノ他ノ團體トノ聯絡狀況(青年團ニ限ル)		
備 考		

- 一、團(會)長氏名並種別欄ニハ團(會)員市町村長小學校長名望家等ノ種別ニヨリ掲記スルコト
- 二、團(會)員欄ニハ正團(會)員ト其ノ他ノ團(會)員トヲ區別シテ各々其ノ員數ヲ掲クルコト
- 三、資産ノ欄ニハ現金有價証券土地建物植樹等ノ種別ニ依リ其ノ數量ヲ記載シ尙現金有價証券以外ノモノハ該數量ノ下見積價額欄ニ其ノ見積價額ヲ掲記スルコト
- 四、青年團女子青年團男、女少年團婦人會別ニ夫々別紙ヲ以テ報告スルコト

○男女青年團體ノ狀況調査ニ關スル件 教第二〇四七號學務部長照會(昭三、六、六)

市 町 村 長 宛 (阿哲支應管内ヲ除ク)
社 會 教 育

四七二ノ二二

社會教育

- 一、成人教育ニ關スル事項
- 二、公民教育ニ關スル事項
- 三、社會體育ニ關スル事項
- 四、其ノ他社會教育ニ關スル事項

第三條 分區ニ左ノ職員ヲ置ク
 委員長 若干名
 委員 若干名
 書記 若干名
 委員長及委員ハ中等學校職員、實業補習學校長、小學校長其ノ他學識經驗アル者ノ中ニ就キ知事之ヲ命シ又ハ囑託ス

第四條 委員長ハ知事ノ命ヲ承ケ分區ノ事務ヲ掌理ス

委員ハ委員長ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス書記ハ委員長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

(別表)

名	稱	區	域
第一分區		岡 津 山	市
		御 津	郡
		吉 備	郡

社會教育

第 二 分 區	第 三 分 區	第 四 分 區	第 五 分 區	第 六 分 區	第 七 分 區	第 八 分 區	第 九 分 區
日 氣	上 邑	菰 兒	淺 小 後	上 川 阿	真	久 苦	英 勝
警 氣	久 道	島 窪	口 田 月	房 上 哲	庭	田 米	田 田
郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡	郡

第十二編 雜

○圖書館令 勅令二七八(明四三、六)

- 第一條 北海道府縣郡市町村北海道及沖繩ニ於テハ圖書ヲ蒐集シ公衆ノ閱覽ニ供セムカ爲メ圖書館ヲ設置スルコトヲ得
- 第二條 明治二十六條勅令第三十三號ノ規定ハ圖書館ニ關シ之ヲ準用ス
- 第三條 私人ハ本令ノ規定ニ依リ圖書館ヲ設置スルコトヲ得
- 第四條 圖書館ハ公立學校又ハ私立學校ニ附設スルコトヲ得
- 第五條 圖書館ノ設置廢止ハ其ノ道府縣立ニ係ルモノハ文部大臣其他ノ公立ニ係ルモノハ地方長官ノ認可ヲ受ケ其ノ私立ニ係ルモノハ地方長官ニ開申スヘシ
- 第六條 公立圖書館ニ於テハ圖書閱覽料ヲ徵收スルコトヲ得

○圖書館令施行規則 文省一八(明四三、六)

- 第一條 圖書館令第五條ニ依リ公立圖書館ヲ設置セントスルトキハ管理者ヨリ左ノ事項ヲ具シ道府縣圖書館ニアリテハ文部大臣其ノ他ノ公立圖書館ニアリテハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

一、名 稱

二、位 置

三、經費及維持ノ方法

四、敷地建物ノ坪數及圖面

五、開館年月日

六、館 則

私立圖書館ニ在リテハ設立者ヨリ前項ノ事項ヲ地方長官ニ開申スヘシ

第二條 名稱、位置、敷地、建物又ハ館則ノ變更ハ道府縣圖書館ニアリテハ文部大臣ニ其他ノ圖書館ニアリテハ地方長官ニ開申スヘシ

第三條 道府縣圖書館ノ經費豫算ハ文部大臣ニ其他ノ公立圖書館ノ經費豫算ハ地方長官ニ每會計年度開始前ニ開申スヘシ

○圖書館費補助規程 縣令六一(六一、九)

第一條 圖書館事業ノ普及發達ヲ期セムカ爲メ明治三十二年勅令第四百二十九號圖書館令ニ基ツキ設置シタル圖書館ニシテ之ヲ補助ヲ必要トスルモノニハ審査ノ上毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 本規程ニヨリ補助金ヲ受ケムトスルモノハ左ノ事項ヲ具シ毎年七月末日迄ニ知事ニ申請スヘシ

一、名 稱

雜

- 二、位置
 - 三、管理者若ハ設置者ノ住所氏名
 - 四、創立年月日
 - 五、當該年度經常豫算
 - 六、維持方法
 - 七、當該年度施設計劃ノ概要
 - 八、前年度ニ於ケル施設及利用ノ狀況、藏書冊數、特設文庫ノ種類及敷並附帶事業ノ狀況、開館日數閱覽人員
圖覽冊數等
 - 九、其ノ他參考トナル可キ事項
- 第三條 補助金ヲ受クルモノニシテ前條一、二、三、五、六ノ各號ノ事項ヲ變更シタルトキハ其ノ都度直ニ知事ニ報告スヘシ
- 第四條 本規程ニヨル補助金額ハ當該圖書館ノ圖書購入費其ノ他ノ事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム
- 第五條 左ノ名號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ既ニ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ
- 一、成績不良ナルモノ
 - 二、本規程ニ違背シタルモノ
 - 三、其ノ他不都合ノ点アリシモノ

第六條 補助金ノ交付ヲ受ケタル圖書館ハ其ノ會計年度末後二箇月以内ニ當該年度ノ決算書並購入圖書目錄(著者名及價格ヲ記入セルモノ)ヲ知事ニ報告ス可シ

第七條 本規程ニヨリ知事ニ差出ス書類ハ凡テ所轄郡市役所ヲ經由ス可シ

○教育會補助規程 縣令八(六一二、二)

- 第一條 教育會ニシテ補助ノ必要アリ、認ムルモノニ對シテハ本會ニ據リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
- 第二條 補助金額ハ當該年度ニ於ケル其ノ會事業豫算額ニ準シテ之ヲ定ム前項ノ外特ニ使途ヲ指定シテ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ
- 第三條 補助金ヲ受ケムトスル教育會ハ其ノ代表者ヨリ左ノ事項ヲ具シ其ノ年五月末日迄ニ知事ニ申請スヘシ
- 一、其ノ年度ニ於ケル歳入歳出豫算書
 - 二、經營事業ノ概要
 - 三、現在會員ノ種類別員數並一人當會費
 - 四、基本財産ノ總額並利殖狀況
- 第四條 補助金ヲ受クル教育會ハ其ノ年度間經費支出ノ義務アルモノトス
- 第五條 補助金ヲ受クル教育會ニシテ其ノ豫算額ニ比シ實支出額少額ナルトキハ其ノ支出額ニ準シテ補助金額ヲ減少シ又ハ其ノ既ニ交付シタル補助金ノ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第六條 補助金ヲ受クル教育會ニシテ豫算ヲ變更シ又ハ諸規則ヲ制定改廢セムトスルトキハ知事 認可ヲ受クヘシ但シ文部大臣ノ認可ヲ要スル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 補助金ヲ受クル教育會ハ左ノ事項ニ關シテハ其ノ代表者ヨリ選出ナク知事ニ報告スヘシ

一、代表者ノ異動

二、收支決算

三、指定補助事業執行ノ概況

第八條 補助金ヲ受クル教育會ニシテ本規程ニ違背シタルトキハ取消シ又ハ補助金ヲ減少シ其ノ既ニ交付シタル金額ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第九條 知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ補助金ヲ受クル教育會ニ就キ其ノ書類帳簿等ノ検査ヲ行フコトアルヘシ

○盲學校及聾啞學校令

勅令三七五(六一二、八)

第一條 盲學校ハ盲人ニ、聾啞學校ハ聾啞者ニ普通教育ヲ施シ其ノ生活ニ須要ナル特殊ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ涵養ニカラムヘキモノトス

第二條 北海道及府縣ニ於テハ盲學校及聾啞學校ヲ設置スヘシ

第三條 前條ノ盲學校及聾啞學校ノ經費ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第四條 市町村、市町村學校組合及町村學校組合、盲學校及聾啞學校ヲ設置スルコトヲ得

第五條 私人ハ本令ニ依リ盲學校及聾啞學校ヲ設置スルコトヲ得

第六條 公立又ハ私立ノ盲學校及聾啞學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 盲學校及聾啞學校ニ初等部及中等部ヲ置ク但シ土地ノ情況ニ依リ必要アル場合ニ於テハ初等部又ハ中等部ノミヲ置クコトヲ得

盲學校及聾啞學校ニ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立ノ盲學校及聾啞學校ノ修業年限、入學資格、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ盲學校及聾啞學校ノ設置廢止、修業年限、入學資格、學科、學科目及其ノ程度、豫科、研究科、別科、教員資格、編制並設備ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第九條 公立又ハ私立ノ盲學校及聾啞學校ノ教科書ハ學校長ニ於テ地方長官ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十條 公立ノ盲學校及聾啞學校ノ初等部及其ノ豫科ニ在リテハ授業料入學料等ヲ徵收スルコトヲ得ス

前項ニ規定スル場合ヲ除クノ外盲學校及聾啞學校ニ於テ授業料入學料等ヲ徵收セムトスルトキハ公立學校ニ在リテハ地方長官ニ於テ、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ其ノ額ヲ定ムヘシ

附 則

本令ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

北海道及府縣ニ於テ特別ノ事情アルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ當分ノ内道府縣立以外ノ公立又ハ私立ノ盲學校又ハ聾啞學校ヲ以テ第二條ノ盲學校又ハ聾啞學校ニ代用スルコトヲ得
前項ニ規定スル代用ヲ爲スコト能ハサルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令施行後七年以内第二條ノ盲學校又ハ聾

聾學校ノ設置ヲ延期スルコトヲ得
 盲分ノ内盲學校ノ學科ト聾啞學校ノ學科トヲ併置スル學校ヲ設クルコトヲ得
 前項ノ學校ハ之ヲ盲學校及聾啞學校ト看做ス

○公立私立盲學校及聾啞學校規程

文省三四(六一二、八)

- 第一條 盲學校ノ修業年限ハ初等部六年、中等部四年ヲ常例トス
- 聾啞學校ノ修業年限ハ初等部六年、中等部五年ヲ常例トス
- 第二條 盲學校及聾啞學校ニ入ズルコトヲ得ル者ハ初等部ニ在リテハ年滿六年以上ノモノ、中等部ニ在リテハ初等部ヲ卒業シタルモノ又ハ之ニ準スヘキモノタルヘシ但シ中等部ノ普通科以外ノ學科ヲ修メントスル者ハ初等部第五學年ヨリ技藝ニ關スル學科目ヲ兼修スルコトヲ得
- 第三條 相當年齡ニ達シ相當ノ學力アリト認メタル者ハ第二學年以上ニ入學ヲ許シ又ハ一學年ノ課程ヲ修了セザルモ其ノ學年ヲ進ムルコトヲ得
- 第四條 盲學校ノ中等部ヲ分チテ普通科、音樂科及鍼灸科トシ聾啞學校ノ中等部ヲ分チテ普通科、圖畫科、裁縫科及工藝科トス
- 前項ノ外土地ノ情況ニ依リ必要ナル學科ヲ置クコトヲ得
- 第五條 盲學校ノ學科目左ノ如シ
- 一、初等部ニ在リテハ修身、國語、算術、歷史、地理、理科、唱歌、手工及體操トス

- 二、中等部ノ普通科ニ在リテハ修身、國語、外國語、數學、歷史、地理、理科、音樂及體操トシ女子ノ爲ニハ家事及裁縫ヲ加フ
- 三、中等部ノ普通科以外ノ學科ニ在リテハ修身、國語、體操及技藝ニ關スル學科目トス
- 前項ノ學科目中土地ノ情況ニ依リ其ノ一科目又ハ數科目ヲ關キ若ハ必要ナル學科目ヲ加フルコトヲ得
- 第六條 聾啞學校ノ學科目左ノ如シ
- 一、初等部ニ在リテハ修身、國語、算術、歷史、地理、理科、圖畫、手工及體操トス
- 二、中等部ノ普通科ニ在リテハ修身、國語、外國語、數學、歷史、地理、理科、圖畫及體操トシ女子ノ爲ニハ家事及裁縫ヲ加フ
- 三、中等部ノ普通科以外ノ學科ニ在リテハ修身、國語、圖畫、體操及技藝ニ關スル學科目トシ女子ノ爲ニハ家事及裁縫ヲ加フ但シ圖畫科ニハ圖畫ヲ裁縫科ニハ裁縫ヲ關ク
- 前項ノ學科目中土地ノ情況ニ依リ其ノ一科目又ハ數科目ヲ關キ若ハ必要ナル學科目ヲ加フルコトヲ得
- 第七條 盲學校及聾啞學校ノ每週教授時數ハ初等部ニ在リテハ尋常小學校ニ、中等部ニ在リテハ學科ノ種類ニ應ジ中學校、高等女學校又ハ實業學校ニ準シ之ヲ定ムヘシ
- 第八條 盲學校及聾啞學校ノ豫科、別科、研究科及選科生ニ關シテハ公立學校ニ在リテハ地方長官ニ於テ、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第九條 盲學校及聾啞學校ニ於テハ學科目、教授時數及學級數ニ應シ相當員數ノ教員ヲ置クコトヲ要ス
- 第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ盲學校ノ教員タルコトヲ得

- 一、東京盲學校ノ師範部甲種ヲ卒業シタル者
 - 二、文部大臣ノ指定シタル者
 - 三、文部大臣ノ認可シタル者
- 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ盲學校ノ初等部ノ教員タルコトヲ得
- 一、東京盲學校ノ師範部乙種ヲ卒業シタル者
 - 二、文部大臣ノ認可シタル者
- 第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ雙啞學校ノ教員タルコトヲ得
- 一、東京雙啞學校ノ師範部甲種ヲ卒業シタル者
 - 二、文部大臣ノ指定シタル者
 - 三、文部大臣ノ認可シタル者
- 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ雙啞學校ノ初等部ノ教員タルコトヲ得
- 一、東京雙啞學校ノ師範部乙種ヲ卒業シタル者
 - 二、文部大臣ノ認可シタル者
- 第十二條 前二條ノ認可ヲ受ケントスル者ハ其ノ從事セントスル學校ノ種類、程度、學科及擔任ノ學科目ヲ記シシタル願書ニ履歷書ヲ添ヘ文部大臣ニ申請スヘシ
- 第十三條 特別ノ必要アル場合ニ於テハ公立學校ニ在リテハ地方官ニ於テ、私立學校ニ在リテハ管理者ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第十條及第十一條ノ資格ヲ有セサル者ヲ教員トシテ採用スルコトヲ得

- 前項ニ依リ採用シタル教員ハ公立學校ニ在リテハ教諭、助教諭、訓導又ハ保姆ト稱スルコトヲ得ス
- 第十四條 第十條及第十一條ノ資格ヲ有セサル教員數之ヲ有スル教員數ノ二分ノ一ヲ超過スル場合ニ於テハ公立學校ニ在リテハ地方官ニ於テ、私立學校ニ在リテハ管理者ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 前項ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ當該學校現在教員ノ氏名、履歷、資格、從事ノ學科、擔任ノ學科目及詳細ナル事由ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
- 第十五條 盲學校及雙啞學校ニ於テハ校地、校舍、寄宿舎、體操場及校具ヲ備フヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ寄宿舎ヲ設ケサルコトヲ得
- 第十六條 校地、校舍、寄宿舎、體操場及校具ハ學校ノ規模ニ適應スルヲ要ス
- 校地ハ道徳上及衛生上害ナキ所タルヘシ
- 校舍ハ教授上、管理上及衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナルコトヲ要ス
- 校具ハ圖書、機械、器具、標本、模型及表簿等トス
- 第十七條 土地ノ情況ニ依リ學校長、舎監及教員ノ住宅ヲ設クヘシ
- 第十八條 盲學校又ハ雙啞學校ヲ設置セントスルトキハ公立學校ニアリテハ管理者ニ於テ、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ
- 一、名 稱
 - 二、位 置
 - 三、學 則

- 四、各教科ノ生徒定員
- 五、開校ノ期日
- 六、經費及維持ノ方法
- 前項第一號、第二號、第四號及第五號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第一項第二號ノ位置ニ關スル申請ニハ敷地ノ面積、地質並附近ノ情況及建物ノ配置ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添付スヘシ
- 第十九條 位置ノ變更ニアラサル敷地ノ變更、建物ノ建設又ハ變更ハ道府縣立學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ文部大臣ニ開申シ其ノ他ノ學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
- 前項ニ依リ地方長官ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ圖面ヲ具シ文部大臣ニ開申スヘシ
- 第二十條 盲學校及聾啞學校ハ小學校其ノ他ノ學校ニ併設スルコトヲ得
- 第二十一條 土地ノ情況ニ依リ分敷場ヲ設クルコトヲ得
- 第二十二條 盲學校及聾啞學校ノ學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
 - 一、學校ノ目的
 - 二、修業年限及入學資格ニ關スル事項
 - 三、學科課程及毎週教授時數ニ關スル事項
 - 四、學年、學期及休業日ニ關スル事項
 - 五、課程ノ修了及卒業ニ關スル事項

- 六、入學、退學及賞罰ニ關スル事項
- 七、授業料、入學料等ニ關スル事項
- 八、寄宿舎ニ關スル事項
- 前項第二號及第三號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ第一號、第四號乃至第八號ノ變更ハ文部大臣ニ開申スヘシ
- 第二十三條 盲學校及聾啞學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由並生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ
- 第二十四條 公立若ハ私立ノ盲學校又ハ聾啞學校ノ設立者ノ變更ニ付テハ第十八條ノ規定ヲ準用ス
- 第二十五條 道府縣立以外ノ盲學校及聾啞學校ニ關シ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ但シ其ノ設置廢止ノ申請ニ關シテハ地方長官ハ其ノ意見ヲ具スヘシ

附 則
本令ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○實業學校令 (抄錄) 勅令二九(明三二、二)

- 第一條 實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニ力ムヘシ
- 第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校農業學校商業學校商船學校水産學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス
- 獸醫學校ハ農學校ト看做ス

第三條 北海道及府縣ニ於テハ實業學校ヲ設置スルコトヲ得

文部大臣ハ土地ノ情況ニ應ジ必要ナル實業學校ノ設置ヲ北海道又ハ府縣ニ命スルコトヲ得

第四條 郡市町村、北海道沖繩縣ノ區、北海道ノ一級町村二級町村、市町村學校組合及町村學校組合ハ實業學校

ヲ設置スルコトヲ得但シ實業補習學校以外ノ實業學校ニ付テハ土地ノ情況ニ依リ須要ニシテ其ノ區域内小學教
育ノ施設上妨ナキ場合ニ限ル

市町村、市町村學校組合及町村學校組合ハ前項ノ規定ニ依リ實業學校ヲ設置スル場合ニ於テ費用ノ負擔ノ爲學
區ヲ設クルコトヲ得

第七條 公立又ハ私立ノ實業學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ實業補習學校ニ在リテハ道府縣立
ニ係ルモノヲ除クノ外地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

公立又ハ私立ノ實業學校ノ設置廢止ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第九條 實業學校ノ教科書ハ公立學校ニ在リテハ學校長ニ於テ私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ地方長官ノ認可
ヲ經テ之ヲ定ム

第十條 公立又ハ私立ノ實業學校教員ノ資格ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

○實業學校設置廢止規則 文省一二(明三二、三三)

第一條 實業學校ヲ設置セントストキハ公立學校ニ在リテハ其管理者ニ於テ私立學校ニ在リテハ其設立者ニ於
テ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ稟申スヘシ、但實業學校令第三條ニ依リ設置スル場合ニハ第九號ノ事項ヲ具スル

ヲ要セス

一、名 稱

二、位 置

三、學 則

四、生徒 定員

五、開 校 年 月

六、(削除)

七、收入支出豫算表

八、職員數及俸給額ノ豫定

九、設置區域内ニ於ケル當該實業ノ情況

十、設立者ノ履歷法人又ハ組合ノ設立ニ係ルモノハ其定款、寄附行爲ハ組合契約及其沿革但定款又ハ寄附行爲

ニシテ文部大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ添付ヲ要セス

前項第一號第二號第四號及第五號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ第十號ノ變更ハ文部大臣ニ開申スヘシ

第一項第二號ノ位置ニ關スル稟申ニハ敷地ノ面積地質並附近ノ情況及建物ノ配置ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ

定性分析表ヲ添付スヘシ

第二條 位置ノ變更ニアラサル敷地ノ變更、建物ノ建設又ハ變更又ハ道府縣立實業學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ文

部大臣ニ開申シ其ノ他ノ實業學校ニ在リテハ圖面ヲ具シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ依リ地方長官ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ圖面ヲ具シ文部大臣ニ開申スヘシ

- 第三條 實業學校ノ學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
 - 一、學校ノ目的
 - 二、修業年限及入學資格ニ關スル事項
 - 三、學科課程及每週教授時數ニ關スル事項
 - 四、學年、學期及休業日ニ關スル事項
 - 五、課程ノ修了及卒業ニ關スル事項
 - 六、入學、退學、賞罰ニ關スル事項
 - 七、授業料等ニ關スル事項
 - 八、寄宿舎ニ關スル事項

前項第二號及第三號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ第一號、第四乃至第八號ノ變更ハ文部大臣ニ開申スヘシ

第四條 實業學校ヲ廢止セントスルトキハ其事由並生徒ノ處分方法ヲ具シテ文部大臣ニ稟申スヘシ

第五條 第二條及第三條ノ規定ハ道府縣立實業補習學校ニ關シ之ヲ適用セス

第五條ノ二 第一條ノ規定ハ實業學校ノ設立者又ハ種類ノ變更ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 道府縣立ニアラサル實業學校ニ關シ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ但其設置廢止ノ稟申ニ關シテハ地方長官ハ其意見ヲ具スヘシ

○公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程 (抄録) 文省二八(明四〇、九)

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ實業學校ノ教員タルコトヲ得

一、學位ヲ有スル者

二、大學ヲ卒業シタル者、大學ニ於テ試験ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得ル者又ハ官立學校ノ卒業生ニシテ學士ト稱スルコトヲ得ル者

三、文部大臣ノ指定シタル者

四、教員免許令ニ依リ教員免許狀ヲ有スル者

第二條 一般ノ實業學校ノ教員タルコトヲ得ル資格ヲ有スル者ノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ實業補習學校ノ教員タルコトヲ得

一、實業補習學校教員養成所卒業生

二、小學校本科正教員又ハ小學校專科正教員ノ免許狀ヲ有スル者

三、文部大臣ノ指定シタル者

第二條ノ二 實業ニ關スル特別ノ知識經驗ヲ有スル者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ實業補習學校ノ教員タルコトヲ得

第三條 第二條ノ二ノ認可ヲ受ケントスル者ハ其ノ從事セントスル學校ノ種類、程度、學科並担任ノ學科目ヲ記載シタル願書ニ履歷書ヲ添ヘ當該官廳ニ申請スヘシ